

# 使用説明書

## 〈コピー機能 / ドキュメントボックス 機能編〉



- 
- ① 原稿をセットする
  - ② コピーする
  - ③ ドキュメントボックスの操作
  - ④ 付録

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機のご利用にあたって』『安全上のご注意』をお読みください。



## はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載しております。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。



## 複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

### 1) 複製、印刷することが禁止されているもの

(見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)

- ・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- ・日本や外国の郵便切手、印紙

#### (関係法律)

- ・紙幣類似証券取締法
- ・通貨及証券模造取締法
- ・郵便切手類模造等取締法
- ・印紙等模造取締法
- ・(刑法 第148条 第162条)

### 2) 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- ・外国の紙幣、貨幣、銀行券
- ・株券、手形、小切手などの有価証券
- ・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- ・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

#### (関係法律)

- ・刑法 第149条 第155条 第159条 第162条
- ・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

### 3) 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

\* 画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

# 使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

## ★重要

- ・本機の使用説明書は、紙マニュアルと電子マニュアル（PDF形式）が用意されています。
- ・電子マニュアルは、付属のCD-ROMに収録されています。
- ・提供される形態は使用説明書により異なります。詳しくは、「マニュアル一覧表」を参照してください。
- ・PDF形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。

## ◆本機のご利用にあたって

「安全上のご注意」について記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。また、本機で使用できる機能の概要、機械を使うための準備、操作部の説明、文字入力方法、付属CDのインストール方法などについても説明しています。

## ◆初期設定編

本機を使うための各機能の初期設定方法、アドレス帳の登録方法、機器の接続方法などについて説明しています。

## ◆こんなときには

困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。

## ◆セキュリティ編

管理者向けの説明書です。本機を不正な使用やデータの改ざんといった脅威から守るために、各管理者の設定方法、ユーザー認証の設定方法などについて説明しています。セキュリティ強化機能や認証の設定を行う前に必ずお読みください。

## ◆コピー機能 / ドキュメントボックス機能編

コピーを使うための設定、機能と操作方法、原稿の設定方法について説明しています。また、ドキュメントボックスの使用方法についても説明しています。

## ◆プリンター機能編

プリンターを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

## ◆スキャナー機能編

スキャナーを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

## ◆ネットワークガイド

ネットワーク環境で使う方法、付属のソフトウェアを使う方法について説明しています。

## ◆RP-GL/2編

RP-GL/2エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

## ◆RTIFF編

RTIFFエミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

## ◆その他の使用説明書

- ・クイックガイド
- ・PostScript3編

補足

- RPDL エミュレーションについては、販売店にご確認ください。

## マニュアル一覧表

分冊名	紙マニュアル	電子マニュアル (PDF 形式)
本機のご利用にあたって	あり	なし
初期設定編	なし	あり
こんなときには	あり	なし
セキュリティ編	あり	なし
コピー機能 / ドキュメントボックス機能編	なし	あり
プリンター機能編	なし	あり
スキャナー機能編	なし	あり
ネットワークガイド	なし	あり
RP-GL/2 編	なし	あり
RTIFF 編	なし	あり
PostScript 3 編	なし	あり
クイックガイド	あり	なし

# やりたいこと目次

機種やオプションによって、使用できる機能が異なります。

参照

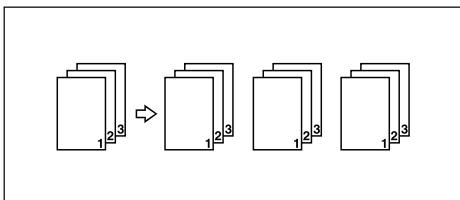
- P.20 「オプションが必要な機能一覧」

## 1部ずつページ順にそろえてコピーする

### ◆ ソート

1部ずつページ順にそろえてコピーします。

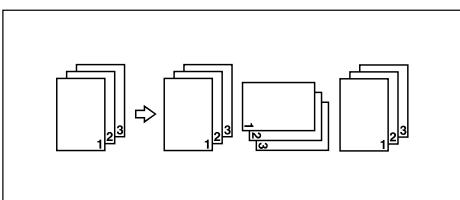
P.132 「ソート」



### ◆ 回転ソート

1部ずつの向きを変えてコピーします。

P.132 「ソート」

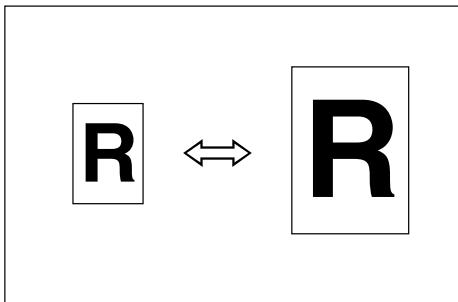


## 変倍のいろいろ

### ◆ 拡大／縮小コピー

画像を拡大または縮小してコピーします。

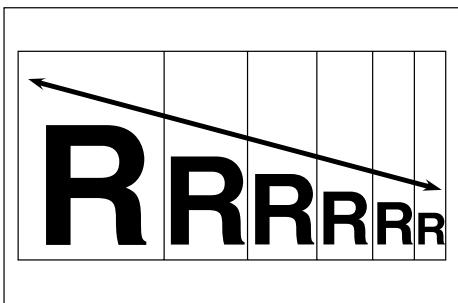
P.73 「拡大／縮小コピー」



### ◆ ズーム

0.1% 刻みで画像を拡大または縮小してコピーします。

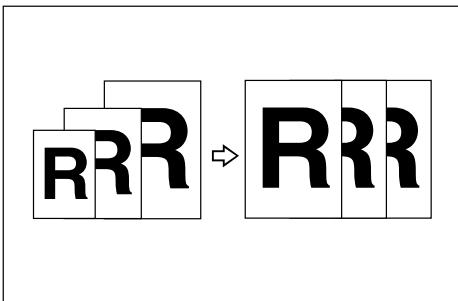
P.75 「ズーム」



### ◆ 用紙指定変倍

指定した用紙サイズに合わせ、自動的に拡大または縮小してコピーします。

P.77 「用紙指定変倍」



### ◆ オートモード変倍

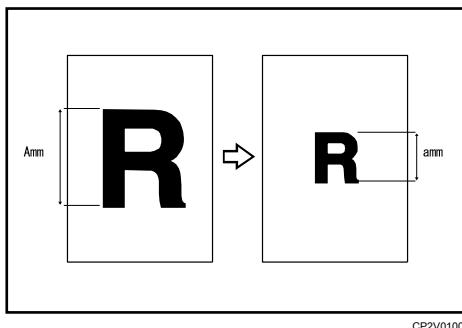
原稿をセットすると、あらかじめ設定されている用紙サイズに、自動的に拡大または縮小してコピーします。

P.79 「オートモード変倍」

#### ◆ 寸法変倍

原稿とコピーの画像の長さを指定し、拡大または縮小してコピーします。

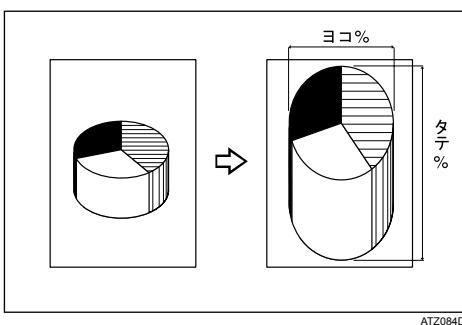
P.80 「寸法変倍」



#### ◆ 独立変倍%

原稿のタテとヨコを、それぞれ異なる倍率でコピーします。

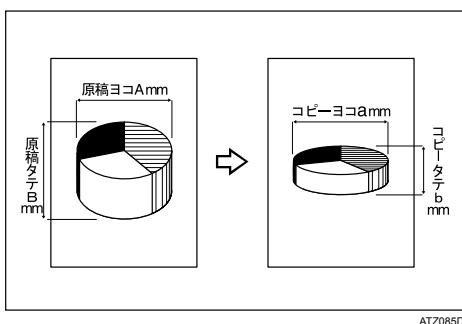
P.81 「独立変倍%」



#### ◆ 独立変倍 mm

原稿のタテとヨコを、それぞれ異なる倍率でコピーします。

P.84 「独立変倍 mm」



#### ◆ 微調変倍

画像のタテとヨコの倍率を補正し、等倍精度の高いコピーをとります。

P.85 「微調変倍」

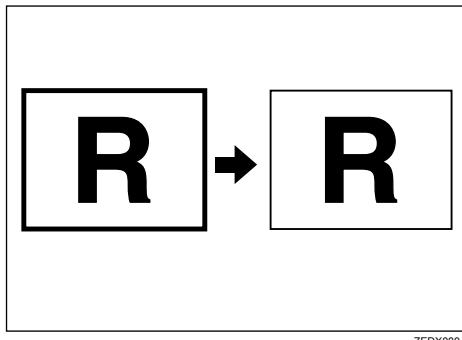
# 移動／消去のいろいろ

## ◆ 枠消去

原稿周囲の影を消してコピーします。

P.89 「枠消去（同じ幅）」

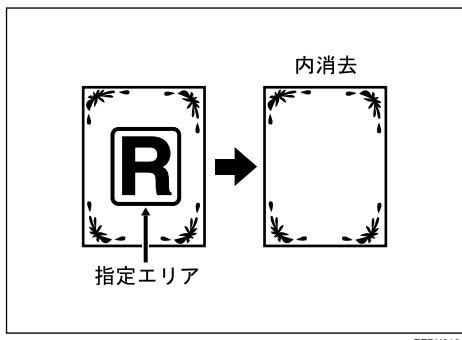
P.90 「枠消去（異なる幅）」



## ◆ 内消去

指定した範囲の内側を消してコピーします。

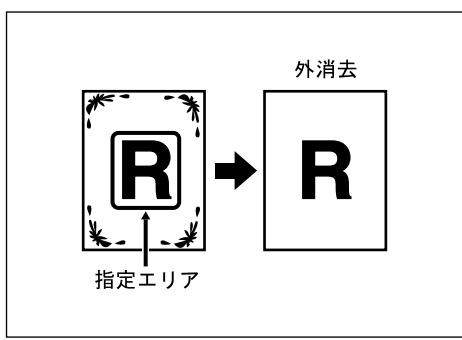
P.92 「内消去」



## ◆ 外消去

指定した範囲の外側を消してコピーします。

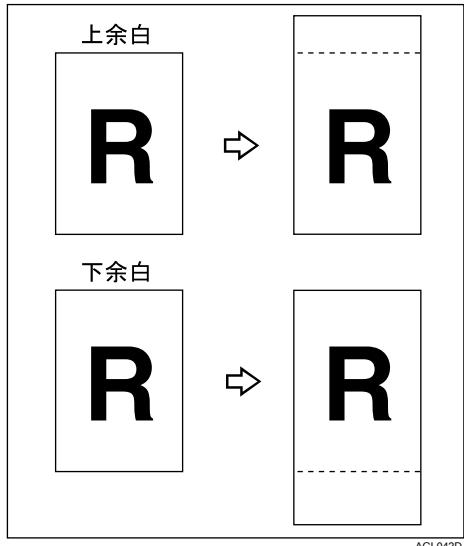
P.94 「外消去」



---

### ◆余白

シンクロカットを選択したときに、原稿の先端または後端に余白を作つてコピーします。  
P.96 「余白」



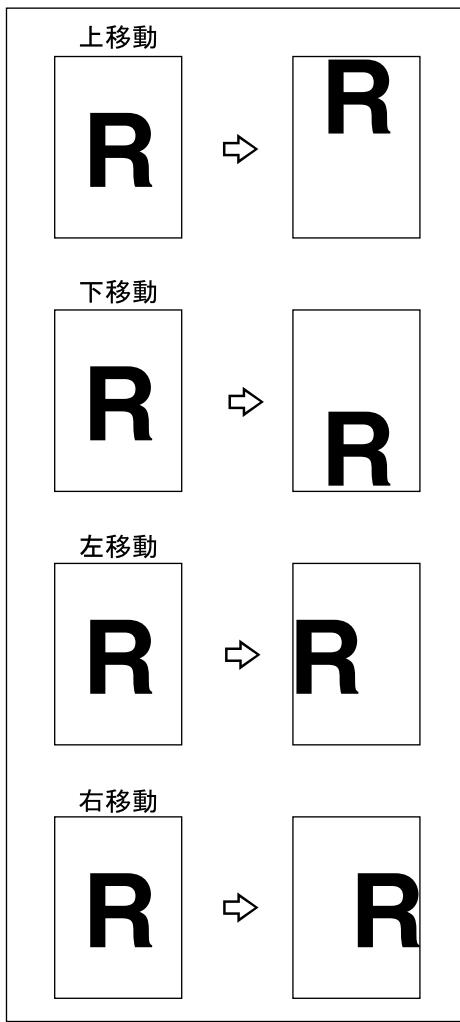
AGL042D

---

#### ◆ 印刷位置調整

画像を上下または左右にシフトしてコピーします。

P.130 「印刷位置調整」

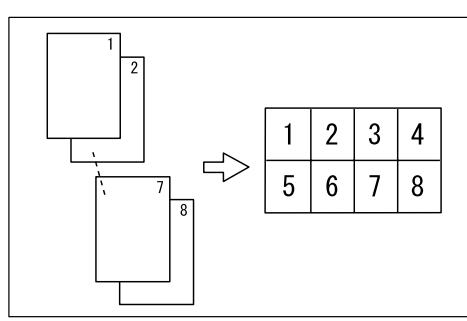
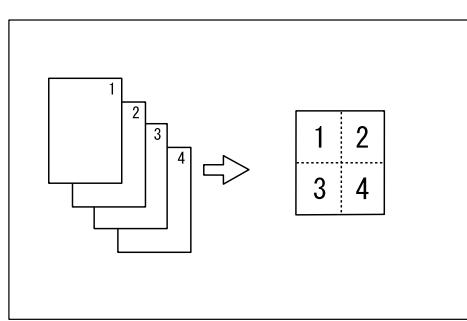
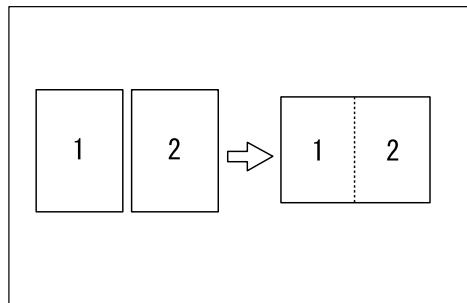


ZEDG110J

## 集約のいろいろ

複数枚の原稿を用紙の片面1枚にまとめてコピーします。

P.87 「集約」

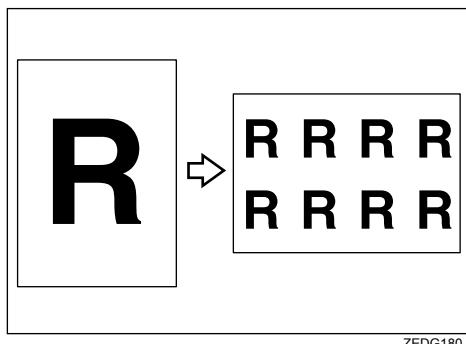


## 編集のいろいろ

### ◆ リピート

画像を1枚の用紙に繰り返してコピーします。

P.119 「リピート」

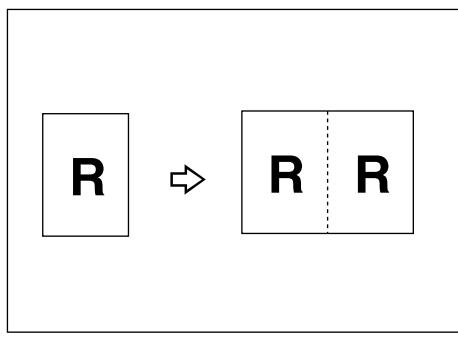


ZEDG180J

### ◆ ダブルコピー

1枚の原稿を用紙の左右、または上下に2つコピーします。

P.120 「ダブルコピー」

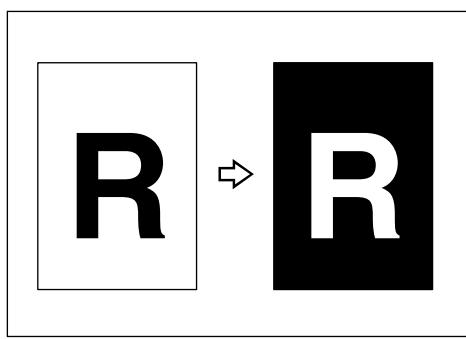


ZEDG170J

### ◆ 白黒反転

画像の白黒を反転してコピーします。

P.121 「白黒反転」

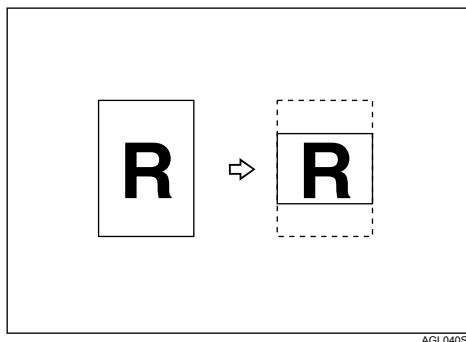


ZEDG150J

#### ◆部分コピー

原稿の指定した部分のみコピーします。

P.122 「部分コピー」

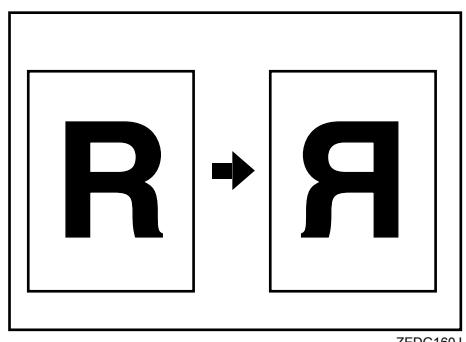


AGL040S

#### ◆ミラー

画像を鏡に映したように左右に反転させてコピーします。

P.123 「ミラー」

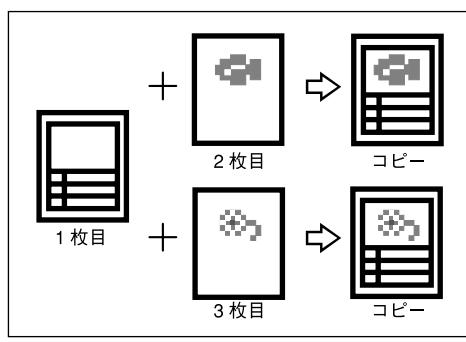


ZEDG160J

#### ◆フォーマット合成

1枚目の原稿をフォーマット原稿にして、2枚目以降の原稿と重ね合わせてコピーします。

P.124 「フォーマット合成」



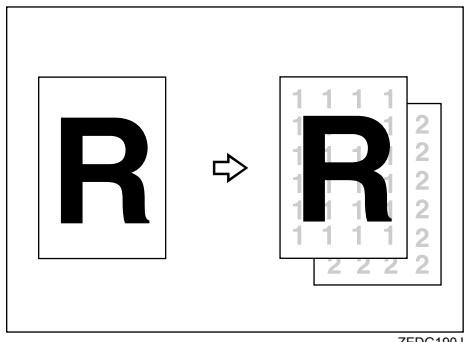
ATZ070D

## 印字のいろいろ

### ◆ 機密管理ナンバリング

原稿にナンバーの地紋を付けてコピーします。

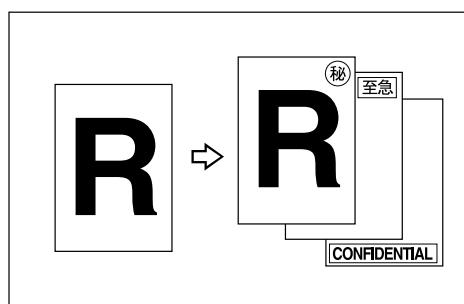
P.98 「機密管理ナンバリング」



### ◆ スタンプ印字

「マル秘」などのスタンプを付けてコピーします。

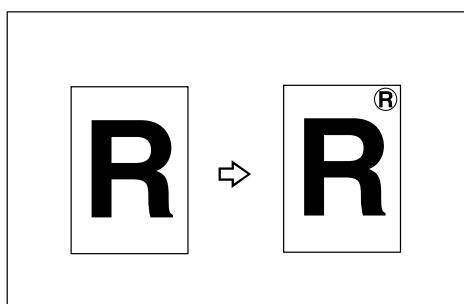
P.100 「スタンプ印字」



### ◆ ユーザースタンプ印字

読み取った画像をスタンプとして付けてコピーします。

P.103 「ユーザースタンプ印字」

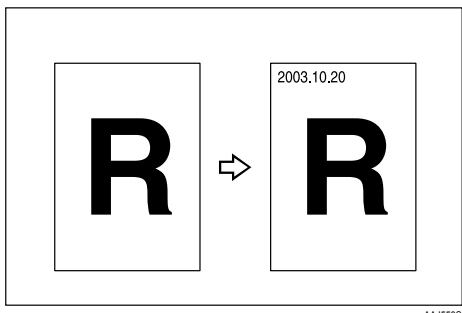


---

◆ 日付印字

日付をつけてコピーします。

P.109 「日付印字」

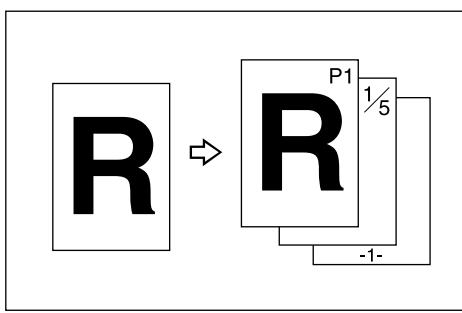


AAJ53S

◆ ページ印字

ページをつけてコピーします。

P.112 「ページ印字」



CP2G0100

---

# 目次

---

使用説明書の分冊構成 .....	1
マニュアル一覧表 .....	2
やりたいこと目次 .....	3
1部ずつページ順にそろえてコピーする .....	3
変倍のいろいろ .....	4
移動／消去のいろいろ .....	6
集約のいろいろ .....	9
編集のいろいろ .....	10
印字のいろいろ .....	12
この本の読みかた .....	18
マークについて .....	18
おもなオプションと略称 .....	19
オプションが必要な機能一覧 .....	20
画面について .....	21
簡単画面について .....	22
コピー／ドキュメントボックス初期設定一覧 .....	23

## 1. 原稿をセットする

---

原稿と出力紙の排出先を指定する .....	27
原稿の排出先 .....	27
原稿上排紙 .....	27
原稿後方排紙 .....	28
出力紙の排出先 .....	30
上排紙 .....	31
下排紙 .....	32
原稿について .....	34
セットできる原稿のサイズと紙厚 .....	34
キャリアシート（オプション）を使用する原稿 .....	34
使用できない原稿 .....	35
画像欠け範囲 .....	36
原稿のセット .....	37
原稿をセットする .....	38
原稿の搬送を中止する .....	39
原稿のセット方向 .....	40
不定形原稿 .....	41
最大幅読み取り .....	42
キャリアシートのセット .....	44
折って保管しているような原稿をセットする（原稿切り替えレバー） .....	45
ロール状の原稿をセットする .....	45
原稿プレスタッカーのセット .....	46

---

## 2. コピーする

---

基本的なコピーのとりかた	47
設定確認	49
原稿枚数のカウント／リセット	50
原稿枚数をリセットする	50
オートスタート	50
割り込みコピー	51
予約コピー	52
ジョブ一覧	52
ジョブ一覧画面について	53
予約内容を確認する	54
順序を入れ替える	55
印刷を保留する	56
ジョブを削除する	56
ジョブ履歴を確認する	57
手差しコピー	58
定形サイズにコピーする	60
不定形サイズにコピーする	61
設定した不定形サイズを登録する	62
登録した不定形サイズを呼び出す	62
トレーシングペーパー、フィルムにコピーする	63
コピー機能	64
原稿種類選択	64
コピー濃度調整	66
自動濃度を選択する	66
濃度を調整する	67
組み合わせて濃度を調整する	67
用紙選択	68
自動用紙選択	68
用紙を選択する	69
回転コピー	69
ロール紙のカット長さを設定する	70
シンクロカット	70
定寸カット	71
フリーカット	72
拡大／縮小コピー	73
ズーム	75
ズームを [-] [+] で指定する	75
ズームをテンキーで指定する	76
用紙指定変倍	77
オートモード変倍	79
寸法変倍	80
独立変倍%	81
独立変倍%をテンキーで指定する	81
独立変倍%を [-] [+] で指定する	82
独立変倍 mm	84
微調変倍	85
集約	87
枠消去（同じ幅）	89
枠消去（異なる幅）	90
内消去	92
外消去	94
余白	96
機密管理ナンバリング	98

---

スタンプ印字	100
スタンプの印字する位置、サイズ、透かしの種類を変更する	102
ユーザースタンプ印字	103
ユーザースタンプの印字位置を変更する	105
ユーザースタンプを登録する	106
ユーザースタンプを削除する	108
日付印字	109
日付の書式を変更する	111
日付の印字する位置を変更する	111
ページ印字	112
ページの印字する位置を変更する	114
印字を開始するページ、数字を変更する (「P1、P2...」「-1、-2...」「P1、P2...」「1、2...」「1ページ、2ページ...」を選択したとき)	115
印字を開始するページ、数字を変更する（「1/5、2/5...」を選択したとき）	116
印字を開始するページ、数字を変更する（「1-1,1-2...」を選択したとき）	118
リピート	119
ダブルコピー	120
白黒反転	121
部分コピー	122
ミラー	123
フォーマット合成	124
フォーマット合成	125
登録フォーマット合成	126
フォーマットを登録する	127
登録したフォーマットを変更する	128
登録したフォーマットを削除する	129
印刷位置調整	130
ソート	132
試しコピー	134
部数変更	135
ドキュメントボックスに原稿を蓄積する	136
プログラム	138
よく使う機能を登録する	138
登録した内容を変更する	140
登録した内容を消去する	140
登録した内容を呼び出す	141
初期画面の初期値を登録する	142

---

### 3. ドキュメントボックスの操作

---

各機能とドキュメントボックスの関係	143
ドキュメントボックス画面について	144
簡単画面について	145
プレビュー画面について	146
ドキュメントボックスを使う	148
文書を蓄積する	148
ユーザー名を登録/変更する (アドレス帳に登録されているユーザー名を使うとき)	151
ユーザー名を登録/変更する (アドレス帳に登録されていないユーザー名を使うとき)	151
ユーザー名を登録/変更する (アドレス帳にユーザー名が1件も登録されていないとき)	152
文書名を変更する	152
パスワードを設定/変更する	153
蓄積文書のユーザー名、文書名、パスワードを変更する	154
蓄積文書の詳細を表示する	155
蓄積文書を検索する	156
文書名で検索する	156
ユーザー名で検索する	157
蓄積文書を印刷する	158
印刷を中止する	160
印刷中に印刷部数を変更する	160
試し印刷	161
先頭ページ印刷	162
指定ページ印刷	162
範囲指定印刷	163
蓄積文書を消去する	164
蓄積文書を Web Image Monitor で表示する	165
蓄積文書をダウンロードする	166

---

### 4. 付録

---

仕様	167
機能組み合わせ一覧	168
各機能の仕様補足	169
機能別読み取りサイズ一覧	173
登録控えフォーマット	174
倍率表	177
索引	178

# この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

## ▼補足

- ・正しくお使いいただくために、はじめに『本機のご利用にあたって』をお読みください。
- ・コピー機能の詳細な補足情報は、「各機能の仕様補足」にまとめて記載しています。

## ■参照

- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・『本機のご利用にあたって』

## マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

### △警告

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。『本機のご利用にあたって』「安全上のご注意」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

### △注意

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。『本機のご利用にあたって』「安全上のご注意」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

## ★重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

## ▼補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを示しています。

## ■参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を記載しています。各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

## おもなオプションと略称

コピー機能に関連するおもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
ロール給紙ユニット 1段 WG2/WG3	給紙ユニット 1段
ロール給紙ユニット 2段 WG2/WG3	給紙ユニット 2段
カセット CT6500	カセット
原稿プレスタッカー W5	原稿プレスタッカー
後方排紙スタッカー W5	後方排紙スタッカー
専用テーブル TB6500	専用テーブル
キャリアシート タイプT	キャリアシート
拡張データ変換ボード TG3	拡張データ変換ボード

 **補足**

- ・その他のオプションについては、『本機のご利用にあたって』「おもなオプションの名称とはたらき」を参照してください。

 **参照**

- ・『本機のご利用にあたって』「おもなオプションの名称とはたらき」

# オプションが必要な機能一覧

いくつかの機能では、オプションが必要になります。

自動用紙選択：給紙ユニット1段、給紙ユニット2段、カセット

オートモード変倍：給紙ユニット1段、給紙ユニット2段、カセット

下排紙：給紙ユニット1段、給紙ユニット2段、専用テーブル

回転ソート：給紙ユニット1段、給紙ユニット2段、カセット

シンクロカット：給紙ユニット1段、給紙ユニット2段

定寸カット：給紙ユニット1段、給紙ユニット2段

フリーカット：給紙ユニット1段、給紙ユニット2段

## 補足

・機種によってはオプションが標準装備されているものもあります。詳しくは『本機のご利用にあたって』「標準装備されるオプション」を参照してください。

・カセットを装着するには、給紙ユニット1段または給紙ユニット2段が必要です。

## 参照

- ・P.32 「下排紙」
- ・P.68 「自動用紙選択」
- ・P.70 「シンクロカット」
- ・P.71 「定寸カット」
- ・P.72 「フリーカット」
- ・P.79 「オートモード変倍」
- ・P.132 「ソート」
- ・『本機のご利用にあたって』「標準装備されるオプション」

# 画面について

画面には、操作の状態、メッセージ、または機能のメニューが表示されます。

工場出荷時の設定では、電源を入れたときにコピーの操作画面が表示されます。

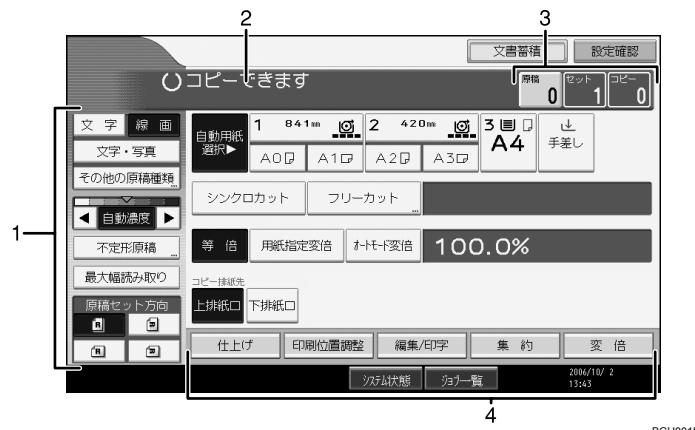
表示されているそれぞれの機能項目は、選択キーになっています。軽く押すことによって、項目を選んだり、指定したりすることができます。

機能項目が選択、または指定されたときは、用紙指定変倍のように反転表示されます。機能項目が選択、または指定できないときは、用紙指定変倍のようにうすく表示されます。

## ★ 重要

- ・画面に強い衝撃や力を加えないでください。破損の原因になります。約 30N (約 3kgf) が限界です。

## ◆ コピー初期画面



BGU001D

- 1 原稿の種類、コピー濃度、原稿セット方向などの設定ができます。
- 2 操作の状態やメッセージを表示します。
- 3 読み取った原稿枚数、セットした枚数(部数)、コピーした枚数(部数)を表示します。
- 4 使用する機能項目の設定ができます。機能項目の1つを押すと、その項目の設定画面が表示されます。

## ↓ 補足

- ・画面は、フルオプション装着時のものです。

## 参考

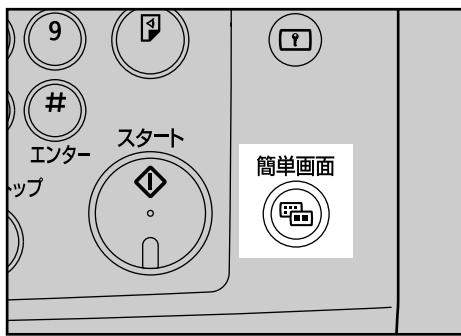
- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-周辺設定」

## 簡単画面について

簡単画面への切り替え方法や、表示されるキーについて説明します。

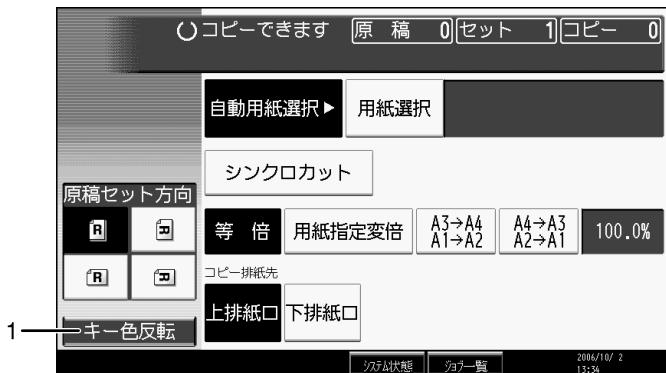
[簡単画面] キーを押すと、コピー初期画面からコピー簡単画面に切り替わります。

簡単画面とは、主な機能のみを表示した画面です。文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作することができます。



ATZ048D

### ◆ コピー簡単画面



ATZ014D

#### 1 [キー色反転]

画面のコントラストを強めたいときに押します。

コピー初期画面には適用されません。

#### 補足

- ・コピー初期画面に切り替えたいときは、再度 [簡単画面] キーを押してください。
- ・簡単画面では表示されないキーがあります。

# コピー / ドキュメントボックス初期設定一覧

コピー / ドキュメントボックス初期設定で設定できる各種項目について説明します。

コピー / ドキュメントボックス初期設定画面は【初期設定 / カウンター / 問合せ情報】キーを押して表示させます。詳しい設定方法については『初期設定編』を参照してください。

## 基本コピー設定

初期設定値の項目名	概要
自動濃度優先	電源を入れた直後やオートクリアされたとき、リセットしたときに、自動濃度が設定されるようにするかしないかを設定します。
画質調整	原稿種類（「文字」「線画」「文字・写真」「写真」「ケイ線消去」「切り張り原稿」）ごとにコピーの仕上がり画質を調整します。
濃度調整	原稿種類（「文字」「線画」「文字・写真」「写真」「ケイ線消去」「切り張り原稿」「複写原稿」）ごとに濃度調整の7段階のレベルを濃い目にするか薄い目にするか設定します。
コピーセット枚数制限設定	セットできるコピー枚数の上限を設定します。
リミットレス給紙	コピー中に用紙がなくなったとき、同じサイズの用紙が他の給紙トレイにセットされていれば、用紙方向にかかわらず自動的にその給紙トレイから続けて給紙することができます（自動用紙選択時）。これを「リミットレス給紙」といいます。リミットレス給紙をするかしないかを設定します。
ジョブ終了お知らせ	コピーが終了したときに“ビー”というブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

## 変倍率設定

初期設定値の項目名	概要
任意変倍率設定	固定倍率以外でよく使う倍率を3つまで登録し、基本画面に表示させることができます。また登録した倍率を変更することもできます。
変倍率設定	コピー機能画面で【変倍】を押したときに表示される変倍率を設定します。
優先変倍率設定	コピー機能画面で【変倍】を押したときに優先される変倍率を設定します。
オートモード変倍：A0	オートモード変倍でコピーするときの各原稿サイズの変倍率を設定します。
オートモード変倍：A1	オートモード変倍でコピーするときの各原稿サイズの変倍率を設定します。
オートモード変倍：A2	オートモード変倍でコピーするときの各原稿サイズの変倍率を設定します。

初期設定値の項目名	概要
オートモード変倍：A3	オートモード変倍でコピーするときの各原稿サイズの変倍率を設定します。
オートモード変倍：A4	オートモード変倍でコピーするときの各原稿サイズの変倍率を設定します。
オートモード変倍：B1	オートモード変倍でコピーするときの各原稿サイズの変倍率を設定します。
オートモード変倍：B2	オートモード変倍でコピーするときの各原稿サイズの変倍率を設定します。
オートモード変倍：B3	オートモード変倍でコピーするときの各原稿サイズの変倍率を設定します。
オートモード変倍：B4	オートモード変倍でコピーするときの各原稿サイズの変倍率を設定します。

### 基本編集設定

初期設定値の項目名	概要
印刷位置調整	「印刷位置調整」を設定するときに表示する初期値を設定します。
枠消去幅設定	コピー機能画面で優先的に表示される枠消去の幅を設定します。
集約コピー時枠消去	集約コピーをするとき、原稿の周辺3mmを消去するかしないかを設定します。
リピート仕切り線	リピートの仕切線の種類を設定します。
ダブルコピー仕切り線	ダブルコピーの仕切線の種類を設定します。
集約コピー仕切り線	集約コピーの仕切線の種類を設定します。
集約時並び順	片面1面への集約コピーのコピーされる順を設定します。
フォーマット登録／削除	「フォーマット合成」を使用するときのフォーマット画像（背景画像）を登録します。 4つまでフォーマットを登録することができます。
余白長さ設定	「余白」を設定するときに表示する初期値を設定します。 「余白」は上余白、下余白ごとに設定できます。
部分コピーサイズ設定	「部分コピー」機能を指定した時に表示される開始位置（Y1）、コピーサイズ（Y2）の寸法の初期値を設定します。

### 印字編集設定

初期設定値の項目名	概要
機密管理印字	
管理番号印字サイズ設定	印刷する機密管理番号の大きさを設定します。
管理番号印字濃度設定	印刷する機密管理番号の濃度を設定します。
スタンプ印字	
スタンプ言語切り替え	スタンプ印字をする言語を設定します。
スタンプ種類優先設定	【スタンプ印字】を押したとき、どのスタンプの画面を優先して表示するかを設定します。

初期設定値の項目名	概要
スタンプ条件設定	スタンプ（「マル秘」「回収」「複製厳禁」「至急」「マル仮」「回覧」「CONFIDENTIAL」「DRAFT」）の印字の仕上がりを調整します。
<b>ユーザースタンプ</b>	
スタンプ登録／消去	お好みのデザインをユーザースタンプとして登録・変更・削除できます。
スタンプ条件：設定 1	ユーザースタンプ 1 に登録したユーザースタンプの印字の仕上がりを調整します。
スタンプ条件：設定 2	ユーザースタンプ 2 に登録したユーザースタンプの印字の仕上がりを調整します。
スタンプ条件：設定 3	ユーザースタンプ 3 に登録したユーザースタンプの印字の仕上がりを調整します。
スタンプ条件：設定 4	ユーザースタンプ 4 に登録したユーザースタンプの印字の仕上がりを調整します。
<b>日付印字</b>	
印字種類設定	日付印字の種類を変更します。
印字フォント設定	日付を印字するフォントを設定します。
印字サイズ設定	日付を印字するサイズを設定します。
自動白黒反転印字	日付が黒い画像に重なったとき、白黒反転して印字するように設定します。
印字条件設定	日付の印字の仕上がりを調整します。
<b>ページ印字</b>	
印字種類優先設定	[ページ印字] を押したとき、優先して選択されるページ印字の種類を設定します。
印字フォント設定	ページを印字するフォントを設定します。
印字サイズ設定	ページを印字するサイズを設定します。
集約時ページ印字設定	集約とページ印字を組み合わせたとき、ページの割り振りかたを設定します。
印字位置設定：P1,P2,...	ページ印字（P1,P2,...）の位置を設定します。
印字位置設定：1/5,2/5,...	ページ印字（「1/5,2/5,...」）の位置を設定します。
印字位置設定：-1,-2,...	ページ印字（-1,-2,...）の位置を設定します。
印字位置設定：P1,P2,...	ページ印字（「P1,P2,...」）の位置を設定します。
印字位置設定：1,2,...	ページ印字（「1,2,...」）の位置を設定します。
印字位置設定：1-1,1-2,...	ページ印字（1-1,1-2,...）の位置を設定します。
印字位置設定：1 ページ, 2 ページ, ...	ページ印字（「1 ページ, 2 ページ, ...」）の位置を設定します。
自動白黒反転印字	ページが黒い画像に重なったとき、白黒反転して印字するように設定します。

---

## 周辺設定

初期設定値の項目名	概要
回転ソート：回転給紙継続設定	回転ソートしているときに縦横どちらかの給紙トレイの用紙がなくなったとき、コピーの継続をするかしないかを設定します。

## 管理者用設定

初期設定値の項目名	概要
メニュープロテクト設定	管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に対して、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。

# 1. 原稿をセットする

1

原稿と出力紙の排出先の指定方法、およびセットできる原稿の種類とセット方法を説明します。

## 原稿と出力紙の排出先を指定する

コピーする前に、原稿と出力紙の排紙先を指定します。

### 原稿の排出先

原稿の排出先には「原稿上排紙」と「原稿後方排紙」があります。

#### ◆ 原稿上排紙

基本的な原稿の排紙方向です。原稿スタッカーに排出されます。

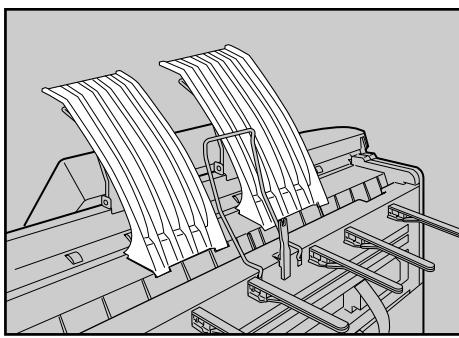
#### ◆ 原稿後方排紙

原稿排紙ガイドにまっすぐ排出されます。厚手の原稿や硬い原稿は、原稿後方排紙を指定します。

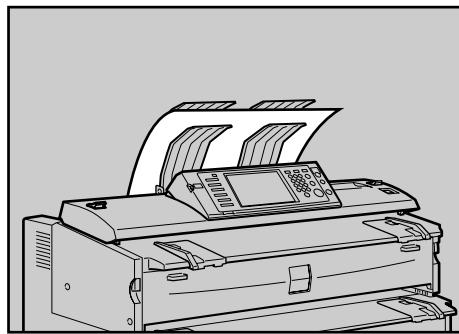
### 原稿上排紙

原稿を、原稿スタッカーに排出します。

1 上排紙スタッカーが本体上部に装着されていることを確認します。



原稿は、原稿スタッカーに排紙されます。



1

原稿スタッカーに排出できる原稿は 1 枚です。排出されるたびに原稿の先端を持って取り除いてください。

▼ 補足

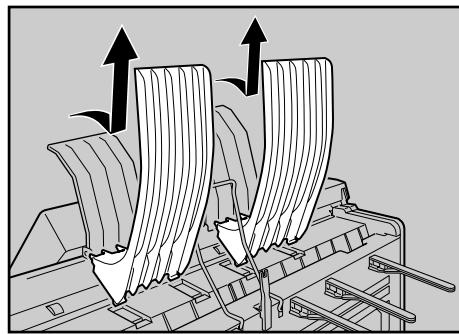
- ・原稿上排紙ができる原稿の大きさは、A1 口までです。それ以上大きい原稿は、原稿後方排紙を指定してください。
- ・原稿上排紙ができる原稿の厚さは、 $157\text{g}/\text{m}^2$  (135kg) までです。それ以上厚い原稿は、原稿後方排紙を指定してください。
- ・ $52.3\text{g}/\text{m}^2$  (45kg) 以下の普通紙、または  $80\text{g}/\text{m}^2$  (70kg) 以下のトレーシングペーパーなどの腰のない原稿は、原稿後方排紙を指定してください。
- ・ロール状の原稿をコピーするときは、排出された原稿の先端を持って排出を補助してください。原稿が原稿スタッカーの上で丸まらないようにしてください。

## 原稿後方排紙

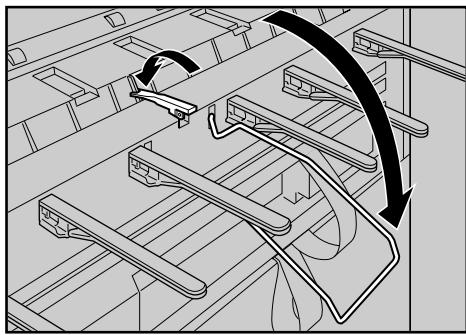
---

原稿を、原稿排紙ガイドに排出します。

### 1 上排紙スタッカーをはずします。



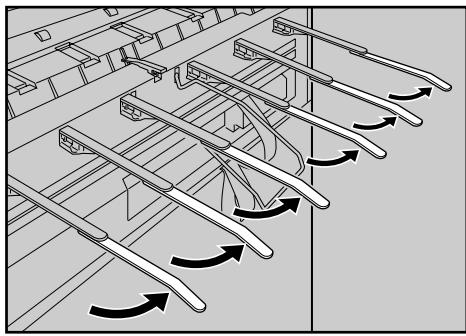
- 2 本体背面の中央にある上排紙ガイドと排紙方向切り替えレバーを、それぞれ横に倒します。



1

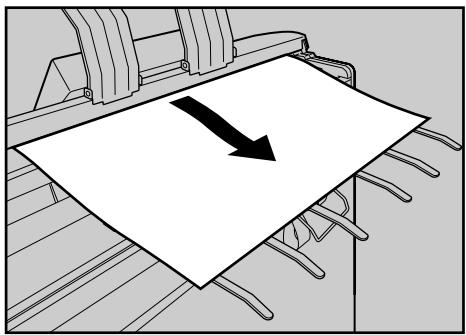
AAJ503S

- 3 原稿排紙ガイドを伸ばします。



AAJ504S

原稿は、原稿排紙ガイドの上に排紙されます。



ATZ023S

## 出力紙の排出先

出力紙の排出先には「上排紙」と「下排紙」があります。

1

### ◆上排紙

出力紙は、本体上部にある上排紙スタッカーと上排紙ガイドの間に排出されます。

出力紙が A1口より小さい場合は、上排紙をおすすめします。

### ◆下排紙

出力紙は、本体の背面にある下排紙口から下排紙トレイを通って、下排紙スタッカーに排出されます。

出力紙が A1口、または A0口の場合は下排紙に設定してください。

排紙先ごとのスタックできるコピー枚数は下記のとおりです。

	普通紙	トレーシングペーパー
上排紙 (A1口以下)	50 枚	10 枚
下排紙 (A1口または A0口)	40 枚	1 枚
後方排紙 * (A1口または A0口)	10 枚	1 枚

\* 後方排紙には、オプションの後方排紙スタッカーが必要です。

### 補足

- ・スタック可能枚数を超える場合は、スタッカーに残っている用紙を取り除いてください。紙づまりの原因となります。
- ・フィルムにコピーするときは、一枚ごとに排出されたフィルムの先端を持ってスタッカーから取り出し、平らなところに置いてください。

### 参考

- ・P.20 「オプションが必要な機能一覧」

## 上排紙

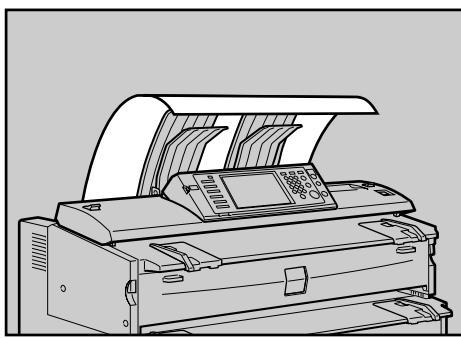
出力紙を、上排紙スタッカーと上排紙ガイドの間に排出します。

- 1 コピー排紙先で【上排紙口】が選択されていることを確認します。



1

出力紙は、上排紙スタッカーと上排紙ガイドの間に排出されます。

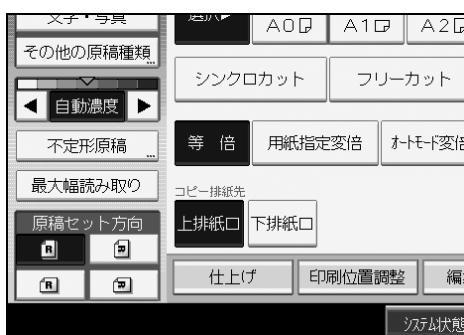


## 下排紙

出力紙を、下排紙スタッカーに排出します。

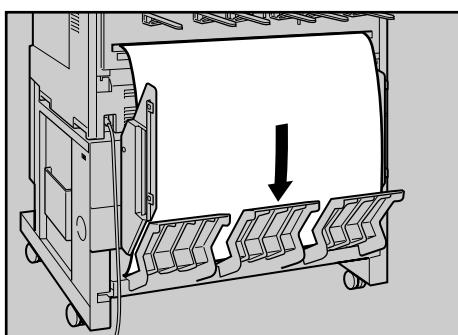
### 1 コピー排紙先で【下排紙口】を選択します。

1

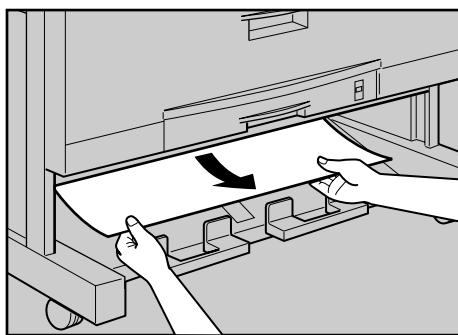


#### 補足

- ・長尺原稿のロール部を下排紙補助ガイドにのせてコピーするとき、出力紙の排出先に「下排紙」を指定すると、下排紙補助ガイドにのせた原稿と下に排紙される出力紙がぶつかり、原稿を痛めたり、用紙がつまたりする場合があります。その場合には、シンクロカットを選択してください。
- ・出力紙は下排紙口から下排紙トレイに入り、前面下部の下排紙スタッカーに送られます。下排紙スタッカーから用紙を取り出してください。

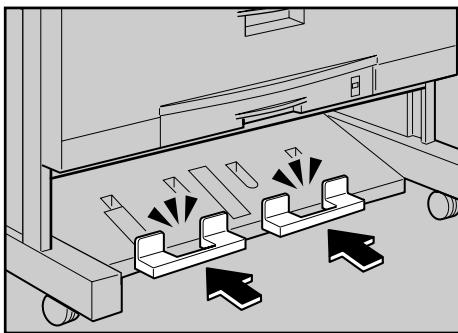


ATZ083S



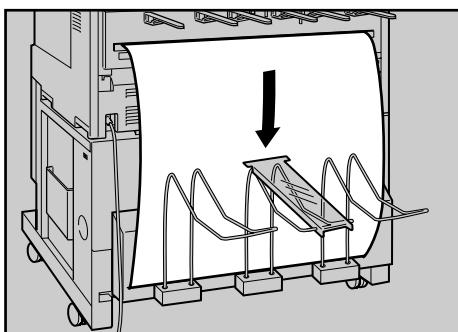
ATZ091S

- ・A0口またはA1口を下排紙するときは、下排紙ガイドを装着してください。
- ・A0口とA1口の用紙を混在して排出することはできません。用紙サイズを変更する場合には、あらかじめ下排紙スタッカーから排出されたコピーを取り除いてください。
- ・厚手の用紙は、最後に排出された用紙の後端が排紙口に残ることがあります。その場合は、排出口から用紙を取り除いてください。
- ・下排紙スタッカーの手前にある下排紙補助ガイドは、閉じた状態で使用してください。引き出した状態で使用すると用紙がきちんとスタッツクされません。排紙後に用紙を取り出しにくいときは、手前に引き出してください。



ATZ079S

- ・下排紙トレイのかわりに後方排紙スタッカー（オプション）を装着して「下排紙」を指定した場合は、出力紙の排紙先は本体のスタッカー背面（後方排紙）になります。



ATZ025S

● 参照

- ・P.45 「ロール状の原稿をセットする」
- ・P.70 「シンクロカット」

# 原稿について

---

セットできる原稿の種類と画像の欠け範囲を説明します。

1

## セットできる原稿のサイズと紙厚

---

セットできる原稿とできない原稿について説明します。また、キャリアシートが必要な原稿についても説明します。

原稿セット先	原稿サイズ	原稿紙厚（四六判）
原稿テーブル	定形サイズ： A0口、A1口、A2口、A3口、A4口、B1口、 B2口、B3口、B4口 不定形サイズ： 長さ：210-15000mm 幅：210-914mm (最大通紙可能幅 960mm)	20.9-157g/m <sup>2</sup> (18-135kg) および 0.03-1mm 紙厚

## キャリアシート（オプション）を使用する原稿

---

次のような原稿はキャリアシートにはさんでご使用ください。また、特に大切な原稿や繰り返しコピーする原稿にも使用されることをおすすめします。

- ・2枚以上重ねた原稿
- ・折り目のついた原稿
- ・しわ、破れなどのある原稿
- ・波打ちの多い原稿
- ・穴あき原稿
- ・粘着テープや糊のついた原稿
- ・はり合わせた原稿
- ・先端部の真直度の悪い原稿
- ・写真などガラスに張りつきやすい原稿
- ・鉛筆書きの原稿

目 参照

- ・P.44 「キャリアシートのセット」

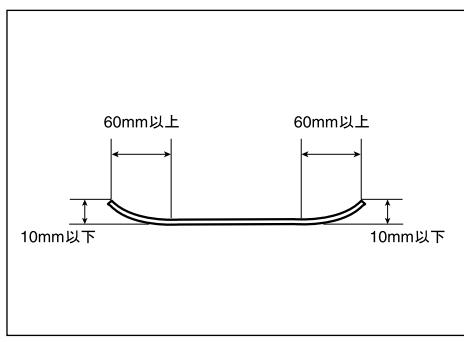
## 使用できない原稿

次のような原稿は紙づまり、原稿破損の原因となります。

- ・「セットできる原稿のサイズと紙厚」以外の原稿
- ・ステープラーの針やクリップのついた原稿
- ・穴、破れのある原稿
- ・そり、折れ、しわのある原稿
- ・はり合わせた原稿
- ・感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された原稿
- ・インデックスや付せんなど、突き出した部分のある原稿
- ・登記簿などのように薄くてやわらかい原稿
- ・本などのようにとじてある原稿
- ・濡れた原稿
- ・カールの大きい原稿
- ・部分的に厚さの異なる原稿
- ・粘着テープ、のりがついた原稿
- ・先端部に厚板をはりつけた原稿
- ・インキや修正液等が乾いていない原稿
- ・裏カーボンのついた原稿
- ・紙以外の原稿（ガラス製品、金属製品など）
- ・巻き径許容（直径 35-110mm）範囲外の原稿

カールのある原稿は、下図の範囲にそりを直してください。

- ・先端および後端カール：R 60mm 以上、高さ 10mm 以下



画像面積比率 20% 以下の原稿を使用してください。コピーが薄くなることがあります。

参照

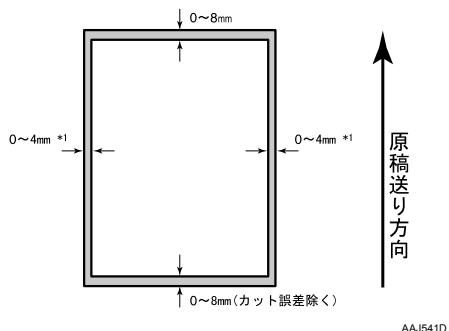
- ・P.34 「セットできる原稿のサイズと紙厚」

1. 原稿をセットする

## 画像欠け範囲

下の図のように、原稿の周囲にはコピーされない部分があります（ロール紙、等倍時）。

1



\*1 左右合わせて 5mm 以下

# 原稿のセット

原稿のセット方法を説明します。

## ★重要

- ・原稿は1枚ずつ挿入してください。
- ・原稿を挿入したら、無理に押し込んだり引っ張ったりしないでください。原稿破損の原因になります。
- ・原稿の後端のカールが強いときは、両手でカールを伸ばしながら引き込まれるようにしてください。丸まつたまま挿入すると、原稿の破損の原因になります。
- ・原稿を挿入するときは、ローラーに軽く突き当ててください。いったん突き当たら、それ以上原稿を押し込まないでください。紙づまりの原因になります。
- ・原稿を挿入するときは、原稿の後端が手差しテーブルの入り口に入らないように注意してください。紙づまりの原因になります。

1

## ↓補足

- ・修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿はセットしないでください。露光ガラスが汚れ、その汚れがコピーされます。
- ・鉛筆で書かれた原稿は、鉛筆の粉が機械の搬送面や露光ガラスを汚し、黒スジの原因になります。キャリアシートのご使用をおすすめします。

## 原稿をセットする

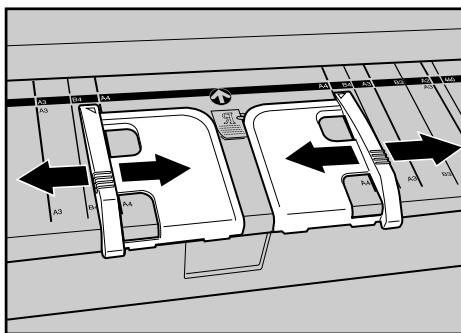
原稿を原稿テーブルにセットする方法を説明します。

1

1 「コピーできます」が画面に表示されていることを確認します。

2 原稿ガイドを原稿の大きさ、方向に合わせてセットします。

原稿ガイドを原稿に強く押し当てるないようにしてください。また、原稿ガイドを原稿の幅より狭くしないでください。



ATZ026S

3 原稿のコピーする面を下向きにし、原稿ガイドにそって静かに挿入口へセットします。

原稿に両手を添え、軽く突き当たるまで挿入してください。原稿が少し引き込まれたら手を離してください。



ATZ027S

### 補足

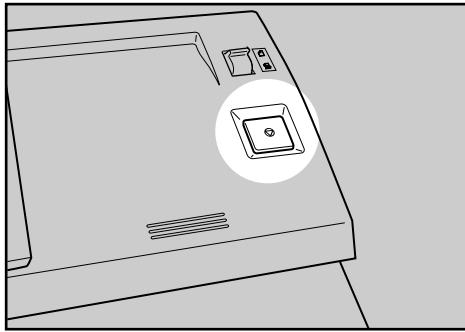
- 原稿を挿入した後は、強く触らないでください。搬送の妨げにならない程度に、必要に応じて補助してください。
- ロール状の原稿をセットするときは、下排紙補助ガイドを利用してください。
- 原稿のななめ送りが繰り返されるときや、原稿種類によっては、原稿送り開始時間を変更することで適切な操作ができるようになります。

### 参照

- P.27 「原稿の排出先」
- P.34 「原稿について」
- P.44 「キャリアシートのセット」
- P.45 「ロール状の原稿をセットする」
- 『初期設定編』「システム初期設定-基本設定」

## 原稿の搬送を中止する

原稿がななめに送られたり、つまつたときなど、原稿の搬送を中止するときは、[原稿ストップ] キーを押します。



### 補足

- 原稿の排出先を原稿後方排紙にしたときは、原稿の後端が排紙口にくわえられます。このとき [原稿ストップ] キーを押すと解除されます。
- [原稿ストップ] キーを押すと、その時点で原稿の搬送を止めるため、原稿がつまることがあります。そのときは、『こんなときには』「用紙や原稿がつまつたとき」を参照して、原稿を取り除いてください。

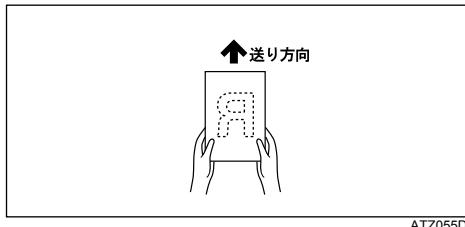
### 参照

- 『こんなときには』「用紙や原稿がつまつたとき」

## 原稿のセット方向

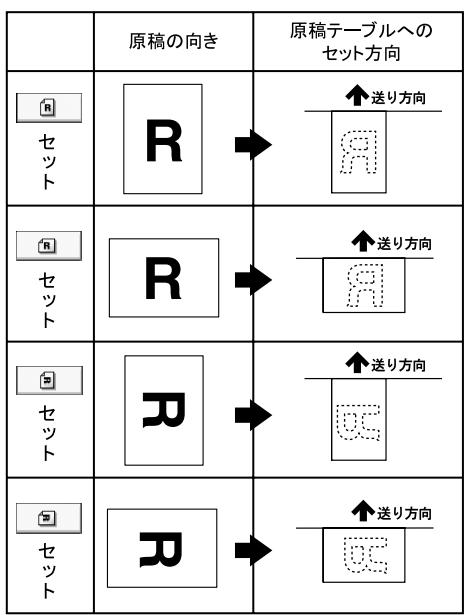
原稿を持ったとき文字が読める状態（方向）のまま、原稿を裏返して原稿テーブルにセットします。

1

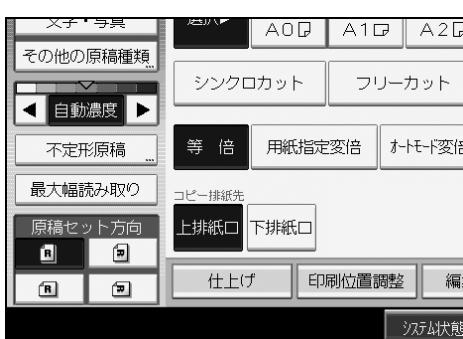


ただし、原稿の状態により上記方向のようにセットができないとき、機能によっては思いどおりの結果が得られません。このようなときには「原稿セット方向」を  または  に変更します。

原稿のセット方向と、実際の原稿の向きの関係は下図のとおりです。



1 [原稿セット方向] で、原稿のセット方向を選択します。



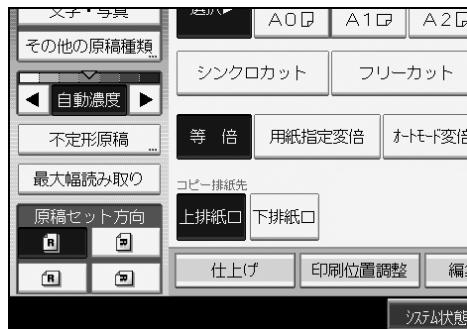
**補足**

- ・「自動用紙選択」または「用紙指定変倍」と組み合わせることをお勧めします。

## 不定形原稿

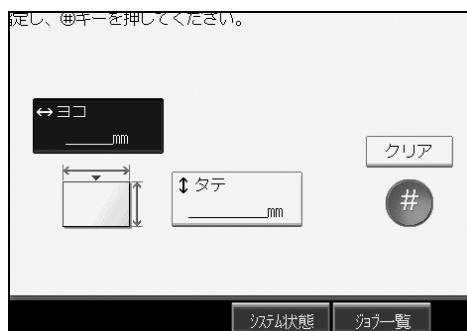
不定形サイズの原稿をセットするときに、原稿のサイズを設定します。

### 1 [不定形原稿] を押します。



1

### 2 [ヨコ] の寸法をテンキーで入力し、[#] を押します。



### 3 [タテ] の寸法をテンキーで入力し、[#] を押します。

### 4 [OK] を押します。

#### 補足

- 設定できる原稿のサイズは、タテ 210-1500mm、ヨコ 210-914mm です。
- 不定形サイズの原稿をセットするときにサイズ設定をしないと、画像が欠けてコピーされます。
- 手順 2 または 3 で入力を間違えたときは、[クリア] を押して入力し直します。
- 不定形原稿の設定をキャンセルするには、[解除] を押します。

## 最大幅読み取り

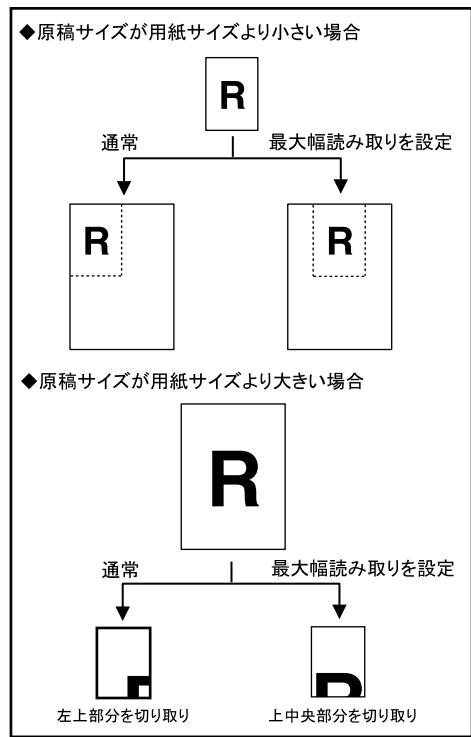
不定形サイズの原稿をセットしたとき、原稿の幅にかかわらず、一定の読み取り幅で原稿を読み取ります。

1

不定形原稿のサイズを設定しなくても、画像が欠けることなくコピーできます。

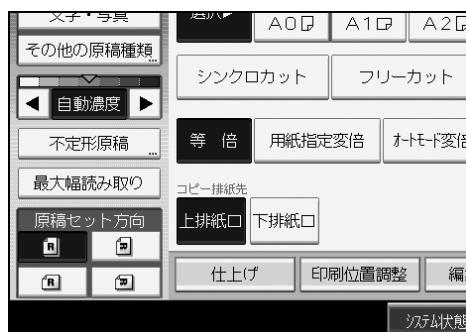
また、コピーしたい用紙が原稿より大きい場合に「最大幅読み取り」を選択すると、画像が用紙の幅方向の上中央に印刷されます。

コピーしたい用紙が原稿より小さい場合に「最大幅読み取り」を選択すると、原稿の画像の幅方向の上中央部分がコピーされます。



ATZ077D

### 1. 【最大幅読み取り】を押します。



**▼ 補足**

- ・「最大幅読み取り」を設定したときの読み取り幅は、用紙の幅に変倍率をかけたものになります。最大幅読み取りの最大値は 914mm です。
- ・原稿をドキュメントボックスに読み込んだ場合には、選択したトレイの用紙サイズで蓄積されます。
- ・選択しているロール紙のカット方法によっては、使用できない機能があります。機能の組み合わせについては、「機能組み合わせ一覧」を参照してください。

**■ 参照**

- ・P.168 「機能組み合わせ一覧」

## キャリアシートのセット

鉛筆書きの原稿や、はり合わせた原稿などをコピーする場合には、キャリアシート（オプション）を使用します。

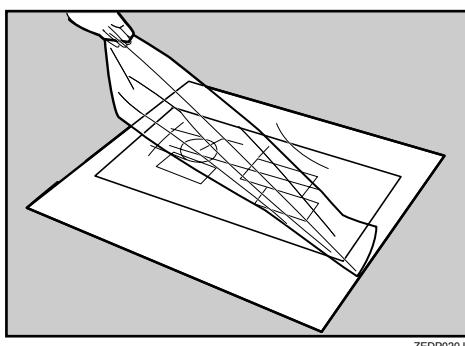
1

### ★ 重要

- ・キャリアシートを使うときは、原稿後方排紙にしてください。上排紙にすると、原稿が破損することがあります。

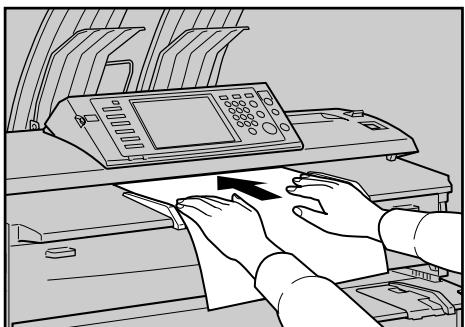
1 キャリアシートを透明な方を上にして開け、原稿のおもてが見えるようにはさみます。

原稿はキャリアシートの折り返し側に合わせてください。



2 コピーする面を下向きにして、原稿ガイドにそってキャリアシートの折り返し側を静かに挿入口へセットします。

キャリアシートを挿入口にセットするときには、両手を添えてください。



### ↓ 補足

- ・キャリアシートを使用しシンクロカットを選択してコピーすると、出力紙はキャリアシートの長さでカットされます。

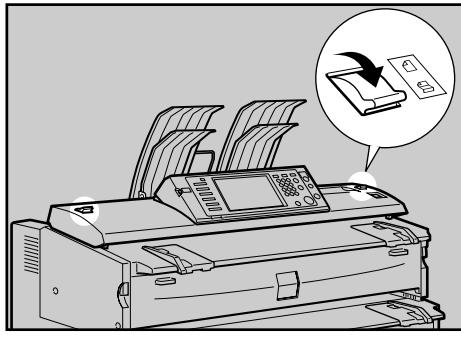
### □ 参照

- ・P.34 「キャリアシート（オプション）を使用する原稿」
- ・P.70 「シンクロカット」

## 折って保管しているような原稿をセットする（原稿切り替えレバー）

図面など折って保管している原稿をセットする場合、原稿の折り目が影にならないようにコピーすることができます。

- 1 本機の左右にある2つの原稿切り替えレバーを手前側に倒します。



ATZ028S

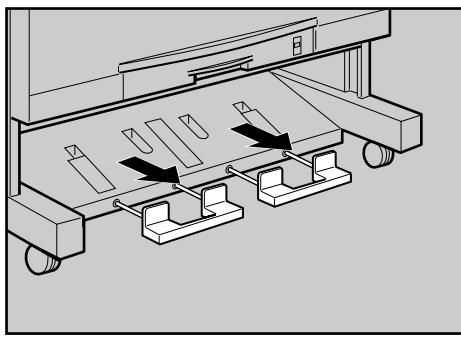
▼ 補足

- ・紙厚が  $157\text{g}/\text{m}^2$  (135kg) 以上の原稿は使用できません。

## ロール状の原稿をセットする

ロール状になっている原稿をセットする場合、下排紙補助ガイドを使用してコピーすることができます。

- 1 下排紙補助ガイドを手前に引き出します。

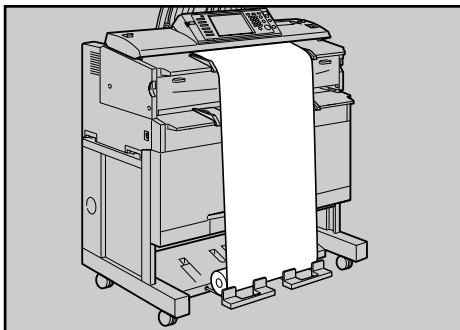


ATZ087S

- 2 引き出した下排紙補助ガイドの上にロール状の原稿を置きます。  
原稿のコピーする面が下向きになるように原稿を置いてください。
- 3 原稿の先端を原稿テーブルに引き上げ、原稿ガイドを原稿の大きさ、方向に合わせてセットします。

**4 原稿に両手を添え、原稿ガイドにそって静かに挿入口へセットします。**

1



ATZ029S

↓ 補足

- ・下排紙補助ガイドに無理な負荷をかけないでください。
- ・使用後は、下排紙補助ガイドを元に戻してください。

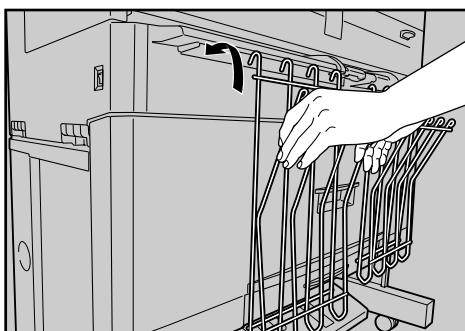
---

## 原稿プレスタッカーのセット

---

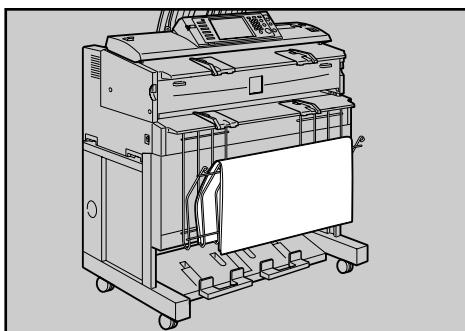
複数枚の原稿を連続して読み取らせる場合には、原稿プレスタッカー（オプション）を使用すると便利です。A0までの原稿を、原稿プレスタッカーに置くことができます。

原稿プレスタッカーは、本体の前面部分に引っ掛けで装着します。



ATZ089S

原稿を置くときは、2つの原稿プレスタッカーの距離を原稿の幅に合わせて調節します。A0やA1のような大きな原稿は、原稿プレスタッカーの先端部分にかぶせるように置きます。



ATZ090S

## 2. コピーする

色々なコピーのとりかたを説明します。

2

### 基本的なコピーのとりかた

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

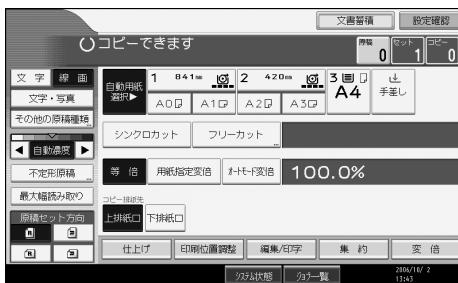
#### ★ 重要

- ユーザーコード認証が設定されているときは、テンキーでユーザーコード（最大 8 衔）を入力して、コピーできる状態にしてください。『初期設定編』「管理者用設定-ユーザー認証管理」を参照してください。
- ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証が設定されているときは、ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、コピーできる状態にしてください。ログインユーザー名、ログインパスワードは、ユーザー管理者に確認してください。『本機のご利用にあたって』「ログイン画面が表示されたとき」を参照してください。

#### 1 「コピーできます」が画面に表示されていることを確認します。

コピー以外の機能が表示されているときは、操作部左側の【コピー】キーを押します。

#### コピー初期画面



#### 2 前の設定が残っていないことを確認します。

前の設定が残っているときは【リセット】キーを押します。

#### 3 原稿とコピーの排出先を設定します。

#### 4 原稿の向きに合わせて、【原稿セット方向】を設定します。

#### 5 機能の設定をします。

#### 6 テンキーでコピーする枚数を入力します。

入力できるコピー枚数は 99 枚までです。

## 7 原稿ガイドを調節し、原稿を下向きにセットします。

原稿が搬送され、コピーが始まります。

システム初期設定の「原稿送り開始方法」で「スタートキー押下」を設定しているときは、[スタート] キーを押します。

### 補足

- ・ログインして操作した後は、他の利用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。
- ・コピーを中止するときは、[クリア／ストップ] キーを押します。
- ・複数枚のコピー中にコピーを中断するときは、原稿の読み取り後に [クリア／ストップ] キーを押します。コピー中の用紙が排出されてからコピーが中断されます。コピーを中止するときは [中止] を、再開するときは [継続] を押します。
- ・設定したコピー機能をすべて取り消して、電源を入れた状態に戻すときは、[リセット] キーを押します。
- ・入力した数値を間違えたときは、[クリア] を押して入力し直します。
- ・原稿の搬送を中止するときは [原稿ストップ] キーを押します。
- ・プログラム機能を使って設定を登録すると、[プログラム] キーで簡単に登録した内容を呼び出すことができます。
- ・画面右上に読み取った原稿枚数が表示されます。
- ・設定した内容を確認するときは、[設定確認] を押します。

### 参照

- ・P.27 「原稿と出力紙の排出先を指定する」
- ・P.38 「原稿をセットする」
- ・P.39 「原稿の搬送を中止する」
- ・P.40 「原稿のセット方向」
- ・P.49 「設定確認」
- ・P.138 「プログラム」
- ・『本機のご利用にあたって』「ログイン画面が表示されたとき」
- ・『初期設定編』「システム初期設定-管理者用設定」
- ・『初期設定編』「システム初期設定-基本設定」

## 設定確認

設定した内容は【設定確認】キーを押して、画面上で確認できます。

1 【設定確認】キーを押します。



【設定確認】画面が表示されます。



2

## 原稿枚数のカウント／リセット

原稿の読み取りが終わると、読み取った原稿枚数がカウントされ、画面の右上に表示されます。

1つのジョブの原稿枚数を確認し、重送や読み取り漏れをチェックしたり、トレイのストック枚数の目安になります。

2



## 原稿枚数をリセットする

カウントした原稿枚数をリセットします。

- 1 [原稿] と表示されている部分（画面右上）を押します。  
表示されていた枚数が「0枚」に戻ります。

## オートスタート

事前に原稿の読み取りを行っておくと、コピーできる状態になったときに自動的にコピーを始めます。

「原稿の読み取りのみ開始できます」と「コピーの内容を設定し、原稿をセットしてください」が画面上に交互に表示されているときに、コピー内容を設定して原稿の読み取りを行います。

コピーのできる状態になったときに、自動的にコピーを始めます。

## 割り込みコピー

コピー中に割り込んで別の原稿をコピーします。

### 1 [割り込み] キーを押します。



2

キーのランプが点灯します。

現在出力中のコピーが排出され、実行中のコピーが止まります。

### 2 割り込むコピーの設定をします。



### 3 原稿ガイドを調整し、原稿を下向きにセットします。

原稿が搬送され、割り込みコピーがスタートします。

### 4 コピー終了後、割り込みコピーの原稿と排出されたコピーを取り除きます。

### 5 もう一度 [割り込み] キーを押します。

キーのランプが消灯します。

### 6 割り込み前のコピーを再開するときは、割り込む前に残っていた原稿をセットし直します。

原稿が搬送され、コピーが再開します。

コピーをそのまま終了するときは、[リセット] キーを押します。

#### 補足

- ・予約コピーは、割り込みコピーに設定できません。
- ・割り込みコピーの原稿枚数は、「1」からカウントされます。

## 予約コピー

コピー中に次のコピー内容や、ドキュメントボックスに読み取る内容を設定しておくことができます。

現在のコピー終了後、自動的に予約したコピーが始まります。

1 「コピー中です」が表示されている間に【新規予約】を押します。



2 「予約できます」と表示されているのを確認し、予約するコピーの内容を設定します。

3 原稿をセットし、読み取りを行います。

予約コピーが終了すると予約受け付け確認の画面が表示されます。

4 【確認】を押します。

コピー画面に戻ります。

コピー終了後、自動的に予約したコピーが始まります。

### 補足

- ・【印刷中画面へ】を押すと先に設定されたコピーの画面へ、また【予約画面へ】を押すと後から予約したコピーの画面に移ります。
- ・予約画面にはジョブ No. で登録されています。
- ・設定中に予約内容を取り消すときは【リセット】キーを押します。

### 参照

- ・P.169 「各機能の仕様補足」

## ジョブ一覧

コピー、ドキュメントボックス、プリンターなどの機能から印刷すると、データは一時的に本機に記憶され、順番に実行されます。ジョブ一覧機能を利用することで、蓄積されたジョブを管理することができます。例えば、設定を間違えたジョブを取り消したい、急ぎの文書を先に印刷したいなど、さまざまな状況に対応できます。

### 補足

- ・ジョブ一覧機能は、割り込みコピー中は使えません。
- ・スキャナー機能から印刷した文書はジョブ一覧で表示されません。

## ジョブ一覧画面について

ジョブ一覧画面で表示される画面とアイコンについて説明します。

システム初期設定「印刷優先機能設定」の「予約順印刷」の設定によって、表示する画面が異なります。

設定方法については『初期設定編』「基本設定-印刷優先機能設定」を参照してください。

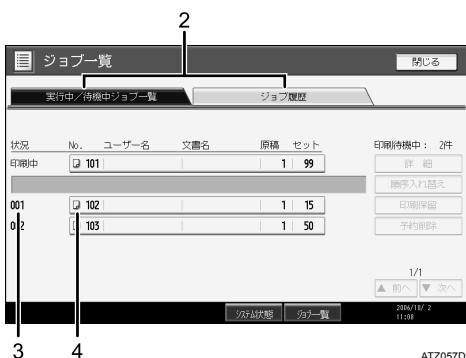
### ◆【予約順印刷】を選択していないとき

機能ごとにジョブ一覧を表示します。



### ◆【予約順印刷】を選択しているとき

全ての機能のジョブ一覧を印刷順に表示します。



- 1) 機能ごとにジョブリストを切り替えます。
- 2) [実行中／待機中ジョブ一覧] と [ジョブ履歴] を切り替えます。
- 3) 予約番号が表示されます。
- 4) 印刷した機能が表示されます。

- : コピー機能で印刷するジョブ
- : プリンター機能で印刷するジョブ
- : ドキュメントボックス機能で印刷するジョブ
- : Web Image Monitor で印刷するジョブ

### 参照

- ・『初期設定編』「システム初期設定-基本設定」

## 予約内容を確認する

ジョブの内容を確認します。

- 1 [ジョブ一覧] を押します。
- 2 内容を確認したいジョブを選択します。
- 3 [詳細] を押し、内容を確認します。

2



- 4 [閉じる] を押します。



## 順序を入れ替える

予約待ちジョブリストの印刷順序を入れ替えます。

- 1 [ジョブ一覧] を押します。
- 2 順序を入れ替えたいジョブを選択します。
- 3 [順序入れ替え] を押します。



- 4 [先頭へ] [前へ] [次へ] [次へ] を押して、入れ替える順序を選択します。



- 5 [OK] を押します。

2

## 印刷を保留する

印刷中、または実行待ちのジョブの印刷を保留します。

- 1 [ジョブ一覧] を押します。
- 2 印刷を保留したいジョブを選択します。
- 3 [印刷保留] を押します。



選択したジョブ以降のジョブがすべて保留となります。印刷が保留中のジョブ No. の前に、「保留中」と表示されます。

### 補足

- ・印刷を再開するには、[印刷再開] を押します。
- ・「予約順印刷」を選択しているときだけ使用できる機能です。

## ジョブを削除する

印刷中、または実行待ちのジョブを削除します。

- 1 [ジョブ一覧] を押します。
- 2 削除したいジョブを選択します。
- 3 [予約削除] を押します。



確認画面が表示されます。

- 4 [削除する] を押します。

### 補足

- ・複数の文書を削除するときは、手順 2 で、削除する文書をすべて選択します。

## ジョブ履歴を確認する

印刷が終了したジョブの履歴を確認します。また、印刷が終了したジョブの内容も確認できます。

- 1 [ジョブ一覧] を押します。
- 2 [ジョブ履歴] を押します。  
今までに実行したジョブの一覧が表示されます。

2



- 3 内容を確認したいジョブを選択します。
- 4 [詳細] を押し、内容を確認します。
- 5 [閉じる] を押します。

## 手差しコピー

給紙ユニット、またはカセットにセットできないサイズの用紙のほか、A4などのカット紙にコピーします。

### ★ 重要

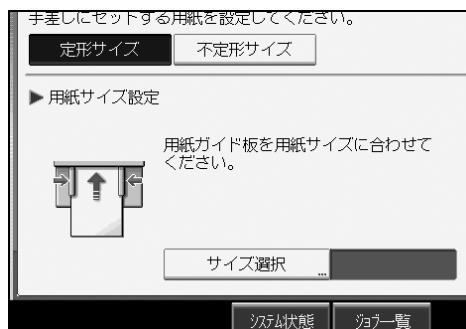
2

- 原稿の長さが長尺のとき、コピーできる用紙の長さは2,000mmまでです。
- 手差しコピーできる用紙サイズは、ヨコ210-914.4mm、タテ257-2000mmです。
- 手差しコピーする用紙は、用紙の搬送方向と同じ目方向になるように縦目（T目）／横目（Y目）を変えてセットしてください。
- A0の用紙をセットするときは、縦目（T目）にセットしてください。

1 用紙選択の【手差し】を押し、[#]キーを押します。



2 用紙のサイズと種類を選択します。

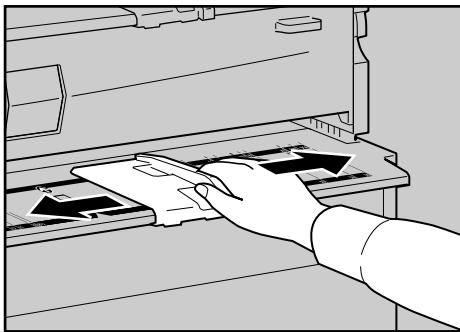


3 [OK]を押します。

4 テンキーで枚数を入力します。

5 原稿をセットして読み込ませます。

## 6 手差しテーブルの用紙ガイドを用紙のサイズに合わせてセットします。



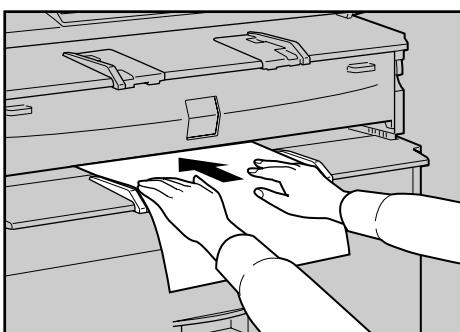
AT2030S

2

## 7 コピーする面を上にして、手差しテーブルに用紙をセットします。

用紙は軽く突き当たるまで、左右均等に挿入してください。また、用紙がローラーに引き込まれるまで、確実に手を添えておいてください。

自動的に用紙が送られ、コピーが始まります。



AT2031S

### 補足

- 用紙はローラーに突き当たるまで、ピッと音がするまで挿入してください。
- 両面コピーはしないでください。
- 一度コピーした用紙を再使用しないでください。
- 用紙を重ねて挿入しないでください。紙づまりや品質低下の原因になります。
- 複数枚のコピーをとるときは、続けて用紙をセットします。
- 手差しテーブルにセットできる用紙の種類や方向については『本機のご利用にあたって』を参照してください。また、手差し用紙の種類をあらかじめ設定しておくこともできます。
- ロール状の用紙をセットする場合は、下排紙補助ガイドを引き出して、その上に用紙を置いてセットします。

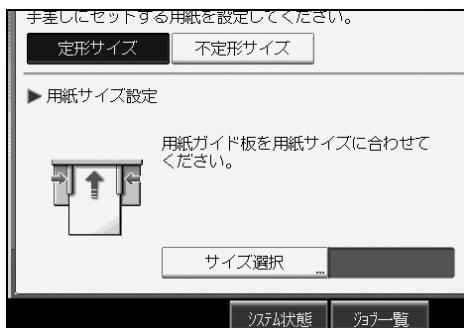
### 参考

- P.37 「原稿のセット」
- P.45 「ロール状の原稿をセットする」
- P.169 「各機能の仕様補足」
- 『本機のご利用にあたって』「用紙について」
- 『初期設定編』「システム初期設定-用紙設定」

## 定形サイズにコピーする

手差しテーブルで定形サイズの用紙にコピーします。

- 1 用紙選択の【手差し】を押し、【#】キーを押します。
- 2 【定形サイズ】が選択されていることを確認します。
- 3 【サイズ選択】を押します。



- 4 用紙のサイズを選択します。



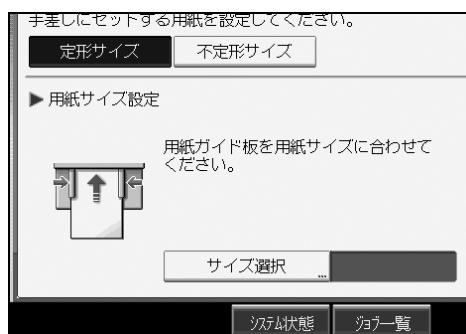
- 5 【OK】を2回押します。
- 6 原稿をセットして読み込みます。
- 7 手差しテーブルの用紙ガイドを用紙のサイズに合わせてセットします。
- 8 コピーする面を上にして、手差しテーブルに用紙をセットします。  
自動的に用紙が送られ、コピーが始まります。

## 不定形サイズにコピーする

手差しテーブルで、不定形サイズの用紙にコピーします。

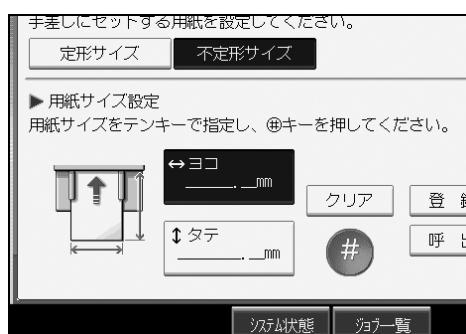
1 用紙選択の【手差し】を押し、【#】キーを押します。

2 【不定形サイズ】を押します。



2

3 「ヨコ」の寸法をテンキーで入力し、【#】を押します。



4 「タテ」の寸法をテンキーで入力し、【#】を押します。

5 [OK]を押します。

6 原稿をセットして読み込みます。

7 手差しテーブルの用紙ガイドを用紙のサイズに合わせてセットします。

8 コピーする面を上にして、手差しテーブルに用紙をセットします。

自動的に用紙が送られ、コピーが始まります。

### 補足

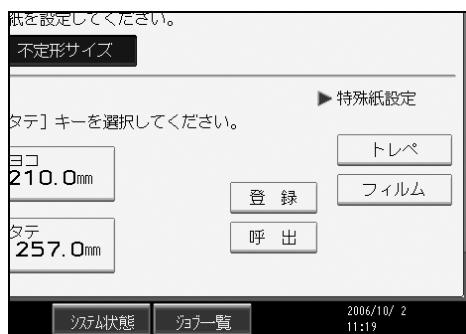
- 手順3、4で入力する数字を間違えたときは、[クリア]を押して入力し直します。

## 設定した不定形サイズを登録する

手差しテーブルに設定した不定形サイズを登録します。

2

- 1 用紙選択の【手差し】を押し、[#]キーを押します。
- 2 【不定形サイズ】を押します。
- 3 【ヨコ】の寸法をテンキーで入力し、[#]キーを押します。
- 4 【タテ】の寸法をテンキーで入力し、[#]キーを押します。
- 5 【登録】を押します。



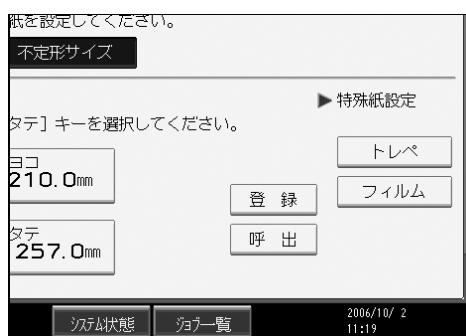
確認画面が表示されます。

- 6 【確認】を押します。
- 不定形サイズが登録されます。

## 登録した不定形サイズを呼び出す

登録した不定形サイズを呼び出します。

- 1 用紙選択の【手差し】を押し、[#]キーを押します。
- 2 【不定形サイズ】を押します。
- 3 【呼出】を押します。



登録した不定形サイズが画面に表示されます。

- 4 【OK】を押します。
- 登録した不定形サイズがセットされます。

## トレーシングペーパー、フィルムにコピーする

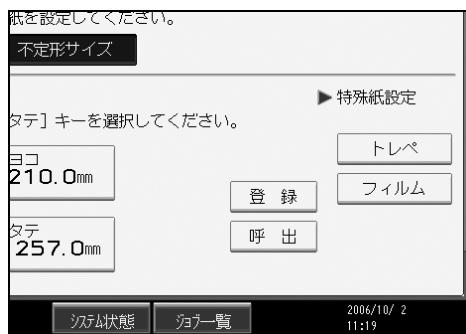
トレーシングペーパーやフィルムにコピーするときは、用紙の種類とサイズを設定します。

### ★ 重要

- ・出てきたコピーを1枚ずつ取り除いてください。

**1** 用紙選択の【手差し】を押し、[#]キーを押します。

**2** 特殊紙設定で用紙の種類（[トレペ] または [フィルム]）を選択します。



**3** 用紙のサイズを設定し、[OK]を押します。

**4** 原稿をセットして読み込ませます。

**5** 手差しテーブルの用紙ガイドを用紙のサイズに合わせてセットします。

**6** コピーする面を上にして、手差しテーブルに用紙をセットします。

自動的に用紙が送られ、コピーが始まります。

### ↓ 補足

- ・トレーシングペーパーやフィルムにコピーするときは、普通紙にコピーするときより印刷速度が遅くなる場合があります。

# コピー機能

コピー機能について説明します。

2

## 原稿種類選択

原稿にあった画質の種類を選択します。  
原稿種類選択には次の7種類があります。

### ◆ 文字

文字が主体の原稿に適した設定で読み取ります。

### ◆ 線画

図面などの線画の原稿に適した設定で読み取ります。とぎれやすい細い線をきれいにコピーします。

### ◆ 文字・写真

写真や絵画と文字が混じった原稿に適した設定で読み取ります。

### ◆ 写真

写真や絵画原稿に適した設定で読み取ります。

### ◆ ケイ線消去

セクションペーパー原稿などに書かれた緑ケイ線を消去してコピーします。青色のケイ線は消えづらいことがあります。

### ◆ 切り張り原稿

地肌の濃さが違う原稿を切り張りしてコピーするとき、地肌の濃い原稿の地肌が出ないようにします。

### ◆ 複写原稿

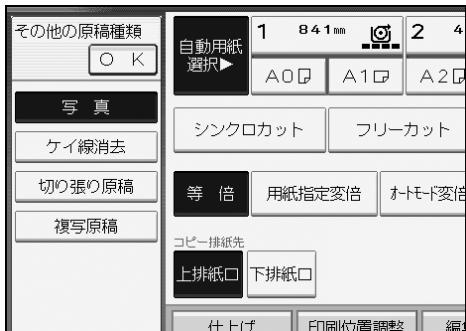
繰り返しコピーした原稿に適した設定で読み取ります。文字の太りやつぶれを抑えてきれいにコピーします。

### ／ 原稿の種類を選択します。



**補足**

- 「写真」、「ケイ線消去」、「切り張り原稿」、「複写原稿」は「その他の原稿種類」から選択します。



2

- 「写真」を選択すると、自動濃度は解除されます。
- 塗りつぶし部分（ベタ）が大きな切り張り原稿では、その部分が地肌と認識されるため、原稿の一部が消去されることがあります。

## コピー濃度調整

コピーの濃度を調整します。

コピー濃度調整には、次の3種類があります。

2

### ◆自動濃度

原稿の濃度を読み取り、自動的に適切な濃度に調整します。新聞や再生紙など地肌の濃い原稿の地肌が出ないようにコピーします。

### ◆濃度調整

原稿全体の濃度を7段階で調整します。

### ◆組み合わせ濃度調整

地肌が濃い原稿のとき、画像の濃度だけを調整します。

## 自動濃度を選択する

原稿の濃度を読み取り、自動的に適切な濃度に調整します。新聞や再生紙など地肌の濃い原稿の地肌が出ないようにコピーします。

「自動濃度」が選択されていることを確認します。

「自動濃度」が選択されていないときは [自動濃度] を押します。



## 濃度を調整する

原稿全体の濃度を7段階で調整します。

- 1 「自動濃度」が選択されているときは【自動濃度】を押して、設定を取り消します。
- 2 [◀] [▶] を押して、濃度を調整します。濃度表示「▽」が移動します。

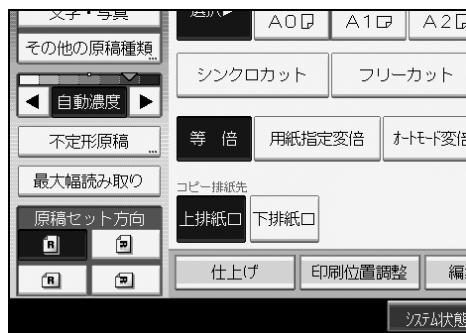


2

## 組み合わせて濃度を調整する

地肌が濃い原稿のとき、画像の濃度だけを調整します。

- 1 「自動濃度」が選択されていることを確認します。  
「自動濃度」が選択されていないときは【自動濃度】を押します。
- 2 [◀] [▶] を押して、濃度を調整します。濃度表示「▽」が移動します。



### 補足

- ・地肌が濃い原稿を読み込ませた場合に、コピーにまだ地肌が出るときには、[◀] キーで濃度を薄くしてください。

### 参照

- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-基本コピー設定」

## 用紙選択

コピーする用紙を選択します。

用紙選択には次の2種類があります。

### ◆自動用紙選択

セットされた原稿のサイズを読み取り、自動的に倍率に合った用紙を選択します。

2

### ◆用紙選択

コピーしたい用紙を、給紙ユニット、カセット、手差しテーブルの中から選択します。

自動用紙選択できる用紙サイズ、方向は次のとおりです。(等倍のとき)

A0□、A1□□、A2□□、A3□□、A4□、B1□、B2□□、B3□□、B4□

#### ▼補足

- ・システム初期設定「用紙設定」の「用紙種類設定：トレイ 1-3」を「表示なし」または「再生紙」に設定し、「自動用紙選択の対象」を「対象」に設定した給紙トレイのみ、自動用紙選択の対象になります。

#### □参照

- ・P.20 「オプションが必要な機能一覧」
- ・P.58 「手差しコピー」
- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・『初期設定編』「システム初期設定-用紙設定」

## 自動用紙選択

セットされた原稿のサイズを読み取り、自動的に倍率に合った用紙を選択します。

### 1 「自動用紙選択」が選択されていることを確認します。

カギマーク ( ) の付いているトレイは自動的には選択されません。



#### ▼補足

- ・設定した用紙サイズと倍率に合う用紙がセットされていないときは、合うサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。または、セットされている用紙に合う変倍率を設定し、原稿をセットし直してください。
- ・特殊用紙サイズの自動用紙選択はできません。

#### □参照

- ・『初期設定編』「システム初期設定-用紙設定」

## 用紙を選択する

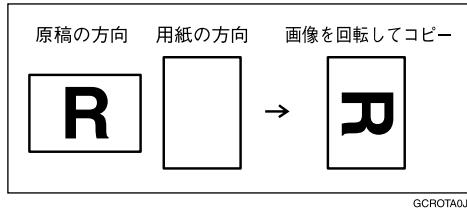
コピーしたい用紙を、給紙ユニット、カセット、または手差しテーブルの中から選択します。

- 1 用紙を給紙ユニット、カセット、または手差しテーブルから選択します。  
選択された用紙トレイの表示が反転表示されます。



## 回転コピー

給紙ユニットにセットされている用紙の幅や、カセットにセットされている用紙の□□方向がセットした原稿と違うときでも、用紙の幅と方向に合わせて自動的に画像を 90° 回転してコピーします。



### 補足

- 回転コピーは、「自動用紙選択」または「用紙指定変倍」を選択しているときにはたらく機能です。「自動用紙選択」「用紙指定変倍」を参照してください。
- 「リミットレス給紙」は、工場出荷時に「回転可能で動作」になっています。「回転不可で動作」または「しない」に変更すると、回転コピーはできません。『初期設定編』「基本コピー設定-リミットレス給紙」を参照してください。
- A0、A4、またはB4 サイズの用紙への回転コピーはできません。A0、A4、またはB4 サイズの用紙へコピーするときは、原稿を□方向にセットしてください。

### 参照

- P.58 「手差しコピー」
- P.68 「自動用紙選択」
- P.77 「用紙指定変倍」
- 『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-基本コピー設定」

## ロール紙のカット長さを設定する

給紙ユニットにセットしたロール紙のカット長さを設定します。

用紙のカット方法は、次の種類があります。

### ◆シンクロカット

原稿と同じ長さに用紙をカットします。変倍を設定すると、その倍率から算出した長さでカットします。

2

### ◆定寸カット

原稿のサイズに関係なく、指定した定形サイズでカットします。長さの異なる複数枚の原稿を同じ長さのコピーに仕上げることができます。

### ◆フリーカット

原稿のサイズに関係なく、指定した長さで用紙をカットします。

#### ▼補足

- ・長尺コピーのとき、コピーできる長さの下限は 280mm です。また、上限は、841mm 幅以上の普通紙 70g/m<sup>2</sup>(60kg) で 15000mm、それ以外の用紙で 3600mm です。上限を超えた長さを指定してコピーすると、用紙のななめ送りが生じ、印字品質が悪化したり、搬送しわが起こる場合があります。
- ・手差し用紙はカットできません。

#### ■参考

- ・P.20 「オプションが必要な機能一覧」

## シンクロカット

原稿と同じ長さに用紙をカットします。変倍を設定すると、その倍率から算出した長さでカットします。

1 紙給ユニット 1 段または 2 段を選択します。

2 [シンクロカット] を押します。



#### ▼補足

- ・原稿や用紙により、カット誤差が生じることがあります。

## 定寸カット

原稿のサイズに関係なく、指定した定寸サイズでカットします。長さの異なる複数枚の原稿を同じ長さのコピーに仕上げることができます。

- 1 紙給ユニット 1段または2段の定形サイズを選択します。



2

補足

- ・ロール紙の種類によりカットできる用紙サイズは異なります。選択できる用紙サイズと定寸サイズは次のとおりです。

ロール紙の幅	定寸タテ	定寸ヨコ
841mm	A0□	A1□
594mm	A1□	A2□
420mm	A2□	A3□
297mm	A3□	—
210mm	A4□	—
728mm	B1□	B2□
515mm	B2□	B3□
364mm	B3□	—
257mm	B4□	—
914mm	1219mm	610mm
880mm	1189mm	594mm
800mm	1189mm	594mm
660mm	841mm	420mm

## フリーカット

原稿のサイズに関係なく、指定した長さで用紙をカットします。

1 [フリーカット] を押します。



2

2 テンキーで長さを入力し、[#] を押します。



3 [OK] を押します。

画面にフリーカットの長さが表示されます。

4 ロール紙ユニット 1段または2段を選択します。

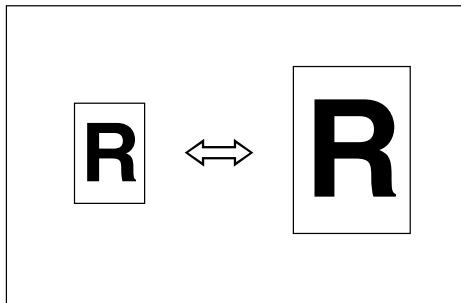
↓ 補足

- ・間違えたときは、[クリア] を押して入力し直します。
- ・フリーカットを取りやめるときには、[解除] を押します。

## 拡大／縮小コピー

画像を拡大または縮小してコピーします。

あらかじめ設定されている倍率から選択します。最大3つまで任意の倍率を登録しておくこともできます。



2

### ◆ 拡大率

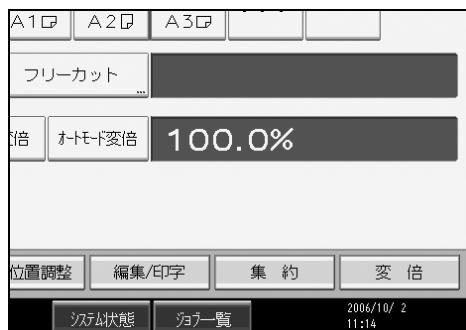
141.4%、200.0%、282.8%、400.0%

### ◆ 縮小率

25.0%、35.4%、50.0%、70.7%

任意倍率には、よく使う倍率を0.1%単位で3つまで登録して表示させることができます。

1 [変倍] を押します。



2 倍率を選択します。



3 [OK] を押します。

設定した倍率が表示されます。

 **補足**

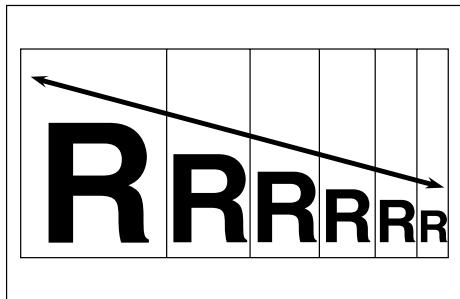
- ・拡大率または縮小率は、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせに準じて決定します。
- ・固定倍率と、原稿サイズと用紙サイズの関係については、「倍率表」を参照してください。

 **参照**

- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・P.177 「倍率表」
- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-変倍率設定」

## ズーム

0.1%刻みで画像を拡大または縮小してコピーします。



2

倍率の指定方法には、次の種類があります。

- ・テンキーで指定する
- ・近い倍率を選択してから [-] [+] で調整する

【参考】

- ・P.169 「各機能の仕様補足」

### ズームを [-] [+] で指定する

ズーム倍率を [-] [+] で指定します。

1 [変倍] を押します。



2 近い倍率を選択します。

3 [-] [+] で倍率を指定します。



[-] または [+] を押すと、0.1%ずつまたは1%ずつ倍率が変わります。

**4 [OK] ボタンを押します。**

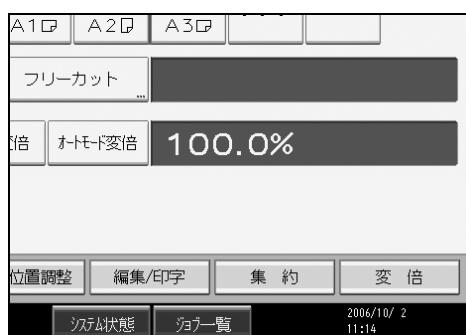
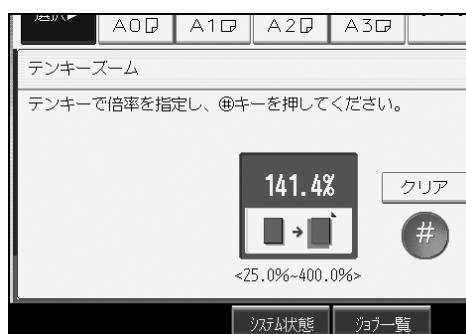
設定した倍率が表示されます。

**↓ 補足**

- 手順 **3** で間違えたときは、[-] [+] で指定し直します。

**ズームをテンキーで指定する****2**

ズーム倍率をテンキーで指定します。

**1 [変倍] を押します。****2 [テンキー] を押します。****3 テンキーで倍率を入力し、[#] を押します。****4 [OK] を2回押します。**

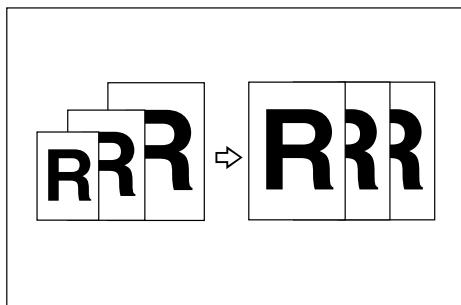
設定した倍率が表示されます。

**↓ 補足**

- 小数点は [・] キーで入力します。
- 間違えたときは [クリア] を押して入力し直します。
- 手順 **3** で設定した値を変更するときは、[変更] を押します。

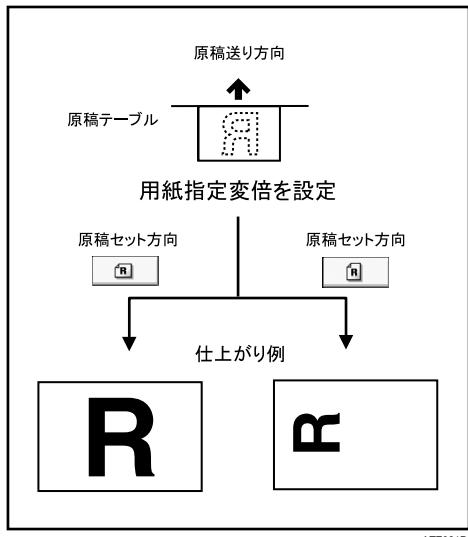
## 用紙指定変倍

指定した用紙サイズに合わせ、自動的に拡大または縮小してコピーします。  
異なる大きさの原稿を同じ大きさの用紙にコピーするときに便利です。



2

用紙指定変倍を使用するときには、原稿セット方向をあらかじめ設定してください。原稿セット方向を正しく設定しないと、思い通りの結果が得られない場合があります。



★ 重要

- 手差しコピーはできません。
- 用紙指定変倍できる用紙のサイズ、方向は次のとおりです。  
A0□、A1□、A2□、A3□、A4□、B1□、B2□、B3□、B4□

1 [用紙指定変倍] を押します。



2

2 用紙を選択します。

補足

- ・倍率は 400.0%、282.8%、200.0%、141.4%、100.0%、70.7%、50.0%、35.4%、25.0% の中から選択されます。
- ・セットする原稿の向きに合わせて、正しく原稿セット方向を指定してください。

## オートモード変倍

原稿をセットすると、あらかじめ設定されている用紙サイズに、自動的に拡大または縮小してコピーします。

初期設定で、原稿サイズごとに拡大または縮小する用紙サイズの組み合わせを設定できます。

設定できる用紙サイズは、A0、A1、A2、A3、A4、B1、B2、B3、B4 です。

2

1 [オートモード変倍] を押します。

2 選択されているオートモード変倍の組み合せを確認します。



↓ 補足

- 初期設定値は、各サイズとも等倍です。組み合せの変更は、コピー / ドキュメントボックス初期設定の「オートモード変倍」で設定します。
- セットする原稿の向きに合わせて、正しく原稿セット方向を指定してください。

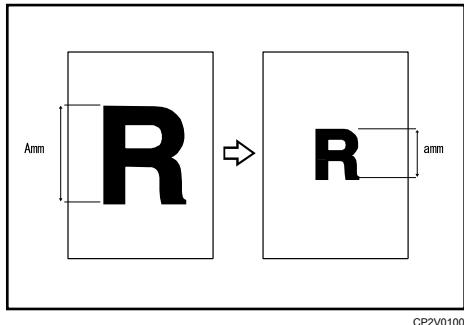
目 参照

- P.20 「オプションが必要な機能一覧」
- P.40 「原稿のセット方向」
- 『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-変倍率設定」

## 寸法変倍

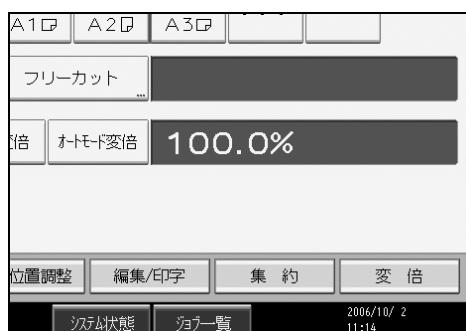
原稿とコピーの画像の長さを指定し、拡大または縮小してコピーします。

2



原稿とコピーの長さを A と a のように対応させて測り、指定します。倍率が自動的に決められ、計算する手間を省くことができます。

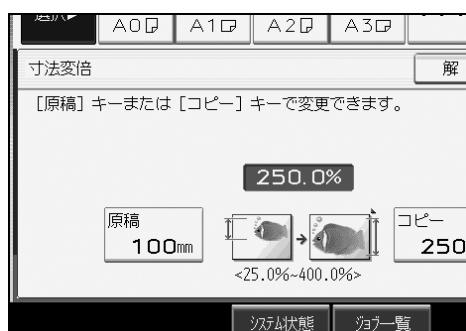
1 [変倍] を押します。



2 [寸法変倍] を押します。

3 テンキーで原稿の長さを入力し、[#] を押します。

入力できる長さは 1-9999mm (1mm 単位) です。



4 テンキーでコピーの長さを入力し、[#] を押します。

5 [OK] を 2 回押します。

**補足**

- 手順 4 で [#] を押した後に長さを変更するときは、[原稿]、または [コピー] を選択してから入力し直します。
- 間違えたときは [クリア] を押して入力し直します。

**参照**

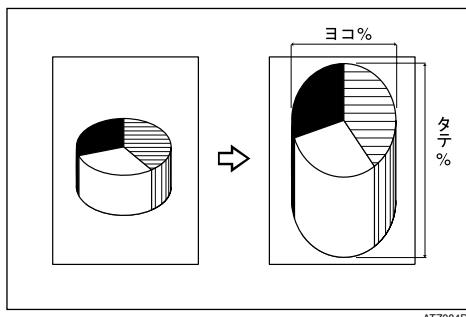
- P.169 「各機能の仕様補足」

2

## 独立変倍%

原稿のタテとヨコを、それぞれ異なる倍率でコピーします。

画像をタテ長またはヨコ長に変形できます。



ATZ084D

**参照**

- P.169 「各機能の仕様補足」

## 独立変倍%をテンキーで指定する

倍率をテンキーで指定します。

1 [変倍] を押します。



2 [独立変倍%] を押します。

3 [ヨコ] を押します。

## 4 テンキーで倍率を入力し [#] を押します。



2

## 5 [タテ] を押します。

## 6 テンキーで倍率を入力し [#] を押します。

## 7 [OK] を2回押します。

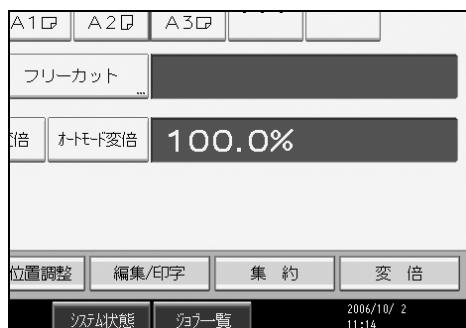
▼ 補足

- ・小数点は [・] キーで入力します。
- ・間違えたときは [クリア] を押して入力し直します。

## 独立変倍%を [-] [+] で指定する

倍率を [-] [+] で指定します。

## 1 [変倍] を押します。



## 2 [独立変倍%] を押します。

## 3 [[+]] [-] キー] を押します。

## 4 [ヨコ] を押します。

**5**  $[+]$   $[-]$  で倍率を指定します。



2

$[+]$  または  $[-]$  を押すと 0.1%ずつ倍率が変わります。押し続けると 1%ずつ変わります。

**6**  $[タテ]$  を押します。

**7**  $[+]$   $[-]$  で倍率を指定します。

**8**  $[OK]$  を 2 回押します。

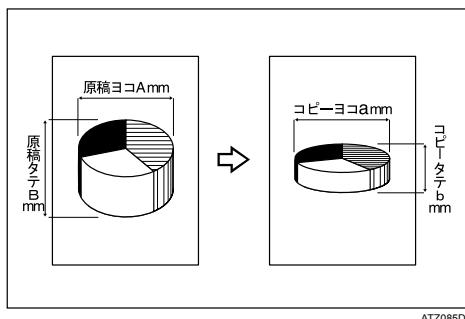
**補足**

- 手順 **5**、**7**で間違えたときは  $[+]$   $[-]$  で指定し直します。

## 独立変倍 mm

原稿のタテとヨコが、それぞれ指定した長さになるようにコピーします。  
画像をタテ長またはヨコ長に変形できます。

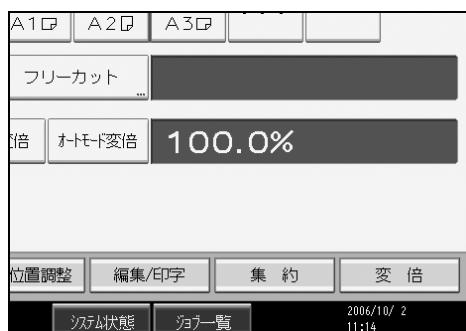
2



ATZ085D

原稿とコピーの長さを A と a、B と b のように対応させて測り、指定します。

1 [変倍] を押します。



2 [独立変倍 mm] を押します。

3 テンキーで原稿のヨコの長さを入力し、[#] を押します。



4 テンキーでコピーのヨコの長さを入力し、[#] を押します。

5 テンキーで原稿のタテの長さを入力し、[#] を押します。

6 テンキーでコピーのタテの長さを入力し、[#] を押します。

## 7 [OK] を2回押します。

### 補足

- 手順 3-6 で長さを変更するときは、変更したい箇所を押して入力し直します。
- 入力できる長さはタテ 1-9999mm、ヨコ 1-9999mm (1mm 単位) です。

### 参考

- P.169 「各機能の仕様補足」

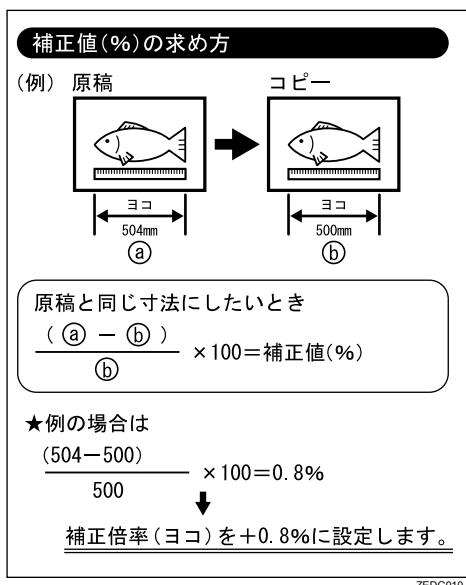
2

## 微調変倍

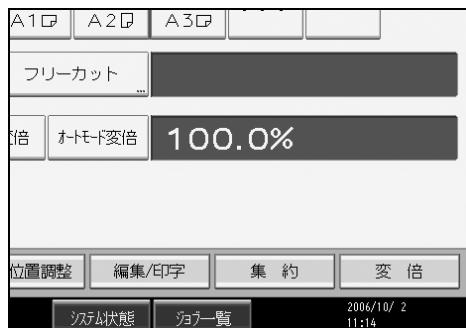
画像のタテとヨコの倍率を補正し、等倍精度の高いコピーをとります。

湿度の影響による用紙の伸縮など、原稿とコピーのサイズが合わないときに、コピーと原稿の画像のタテとヨコの長さをそれぞれ測り、補正する倍率を計算します。計算した補正倍率を設定して、等倍精度の高いコピーをとることができます。

原稿とコピーの画像の長さを、タテ・ヨコそれぞれ測り、補正する倍率を計算してから設定します。

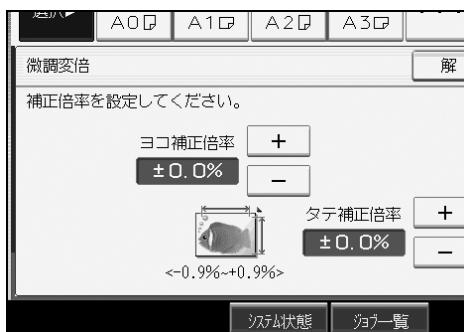


## 1 [変倍] を押します。



**2** [微調変倍] を押します。

**3** [ヨコ補正倍率] を [–] [+] で指定します。



2

**4** [タテ補正倍率] を [–] [+] で指定し、[OK] を押します。

**5** [OK] を押します。

 **補足**

- ・「微調変倍」は、読み取った原稿に対して有効となります。用紙の種類や温湿度など環境の変化による紙の伸び縮みに対し、用紙種類別に、すべてのコピーの等倍率を補正したいときは、システム初期設定「倍率補正：コピー」を設定してください。
- ・微調変倍はシステム初期設定「倍率補正：コピー」にも設定項目があります。システム初期設定の設定と操作画面での設定を両方指定すると、結果として両者の設定値を足した値となります。
- ・手差しコピーを選択したときは、原稿の読み取り後に微調変倍を設定できます。
- ・間違えたときは [クリア] を押して指定し直します。

 **参照**

- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・『初期設定編』「システム初期設定-基本設定」

## 集約

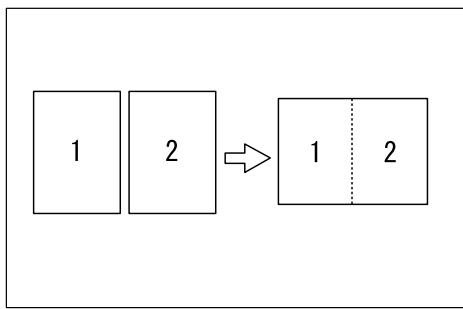
複数枚の原稿を用紙の片面1枚にまとめてコピーします。

★ 重要

- ・手差しコピーはできません。
- 集約には次の3種類があります。

◆ 片面2枚→片面1枚

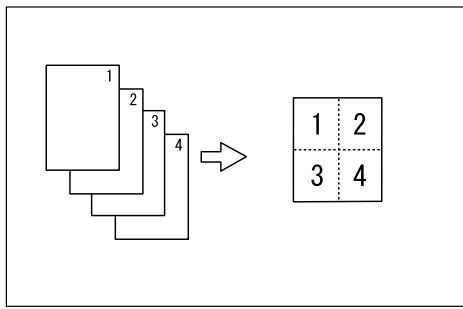
2枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。



GC-SHNY 7J

◆ 片面4枚→片面1枚

4枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

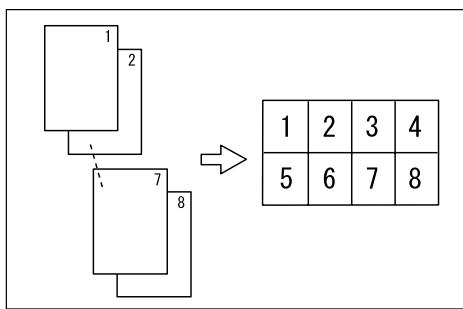


GC-SHNY 6J

2

◆ 片面8枚→片面1枚

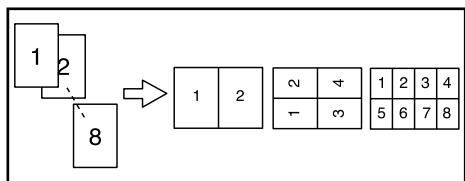
8枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。



GC-SHNY 3J

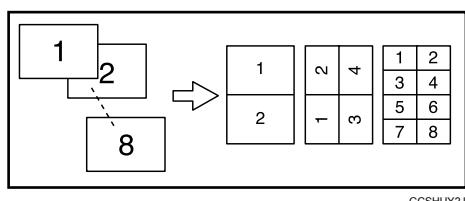
◆原稿の□方向と集約の画像位置

タテ長 (□) 原稿のとき



2

ヨコ長 (□) 原稿のとき



1 [集約] を押します。



2 何ページの原稿をまとめるのか選択します。



3 用紙を選択します。

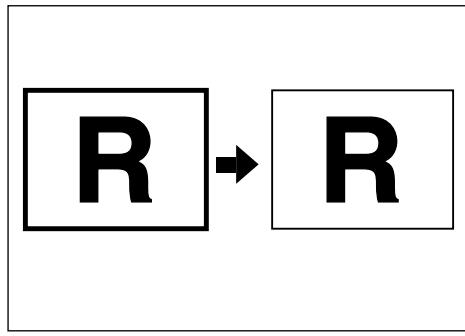
4 [OK] を押します。

目 参照

- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-基本編集設定」

## 枠消去 (同じ幅)

原稿周囲の影を消してコピーします。



ZEDX080J

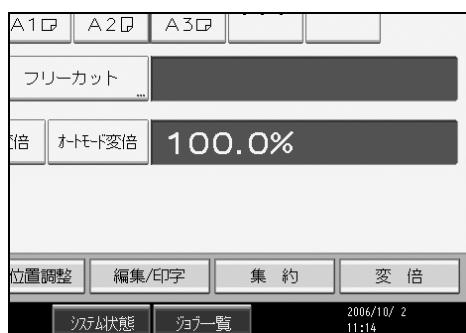
2

上下左右の枠消去幅は、同じ値となります。枠の消去幅の初期設定は 10mm です。

★重要

- ・手差しコピーはできません。

1 [編集 / 印字] を押します。



2 [消去] を押します。

3 [枠消去] を押します。

4 [同一幅] を押します。

5 [+] [-] で枠消去幅を設定します。

[+] または [-] を押すと 1mm ずつ幅が変わります。押し続けると 10mm ずつ変わります。



## 6 [OK] を2回押します。

### 補足

- 手順5で間違えたときは、[+] [-] で設定し直します。
- 枠消去と他の機能を組み合わせたときのコピーサイズ制限については「機能別読み取りサイズ一覧」を参照してください。

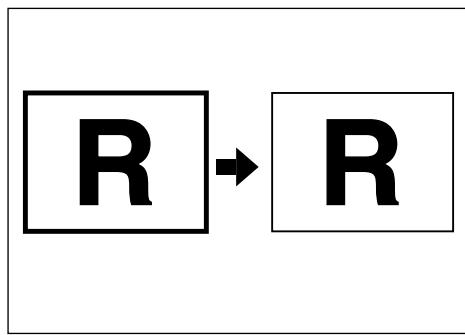
2

### 参考

- P.169 「各機能の仕様補足」
- P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」
- 『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-基本編集設定」

## 枠消去 (異なる幅)

原稿周囲の影を消してコピーします。



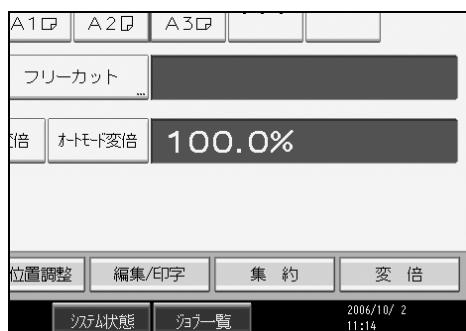
ZEDX080J

上下左右の枠消去幅を、個別に設定します。枠の消去幅の初期設定は10mmです。

### 重要

- 手差しコピーはできません。

## 1 [編集 / 印字] を押します。



## 2 [消去] を押します。

## 3 [枠消去] を押します。

## 4 [個別に設定] を押します。

## 5 変更したい部分のキーを押し、[+] [-] で枠消去幅を設定します。

[+] または [-] を押すと 1mm ずつ幅が変わります。押し続けると 10mm ずつ変わります。



2

## 6 [OK] を 2 回押します。

### 補足

- 手順 5 で間違えたときは、[+] [-] で設定し直します。
- 枠消去と他の機能を組み合わせたときのコピーサイズ制限については「機能別読み取り サイズ一覧」を参照してください。

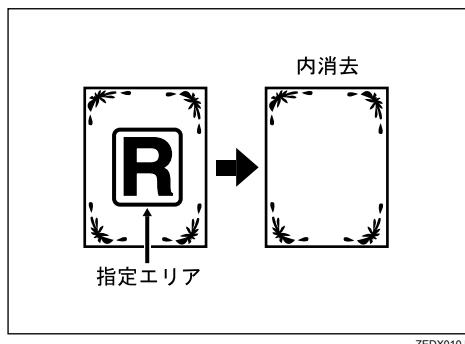
### 参照

- P.169 「各機能の仕様補足」
- P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」
- 『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-基本編集設定」

## 内消去

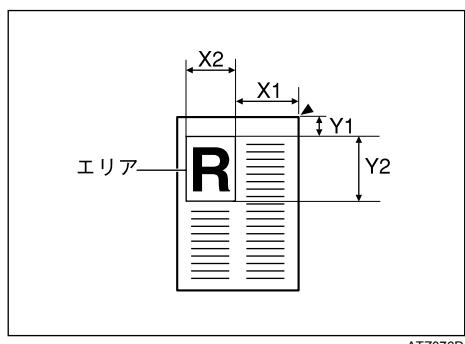
指定した範囲の内側を消してコピーします。  
消去するエリアは、原稿を基準に指定します。

2

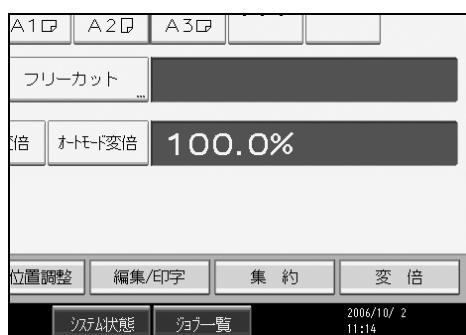


### ★重要

- ・手差しコピーはできません。
- エリアは原稿の右上を基準とする 2 点を示す 2 組の座標 (X1,Y1)、(X2,Y2) で表します。  
エリアを入力する前に、指定するエリアのサイズを計っておきます。



### 1 [編集／印字] を押します。



### 2 [消去] を押します。

### 3 [内消去 1]-[内消去 5] を選択します。

**4** テンキーで [X1] の数値を入力し、[#] を押します。



2

**5** テンキーで [Y1] の数値を入力し、[#] を押します。

**6** テンキーで [X2] の数値を入力し、[#] を押します。

**7** テンキーで [Y2] の数値を入力し、[#] を押します。

**8** 複数のエリアを指定するときは、[内消去 1]-[内消去 5] を選択し手順 **4**-**7** を繰り返します。

**9** [OK] を 2 回押します。

↓ 補足

- ・変倍機能を組み合わせてコピーするときは、指定した値に変倍率をかけた値が、実際の寸法となります。
- ・手順 **4**-**7**で入力を間違えたときは、[クリア] を押して入力し直します。
- ・エリアは、1-5 までの 5ヶ所を指定できます。

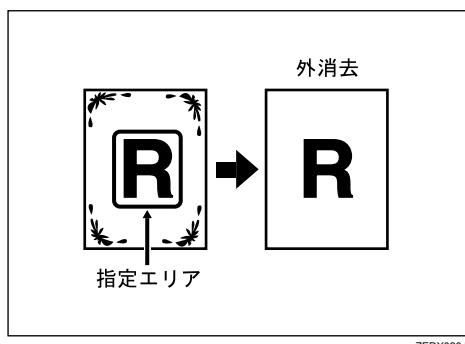
目 参照

- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」

## 外消去

指定した範囲の外側を消してコピーします。  
消去するエリアは、原稿を基準に指定します。

2

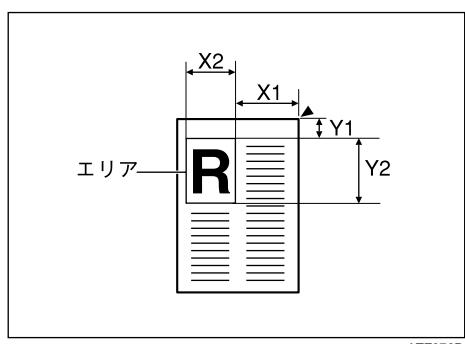


ZEDX020J

★重要

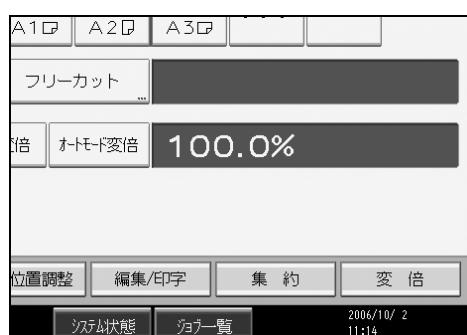
- ・手差しコピーはできません。

エリアは原稿の右上を基準とする 2 点を示す 2 組の座標 (X1,Y1)、(X2,Y2) で表します。  
エリアを入力する前に、指定するエリアのサイズを計っておきます。



ATZ076D

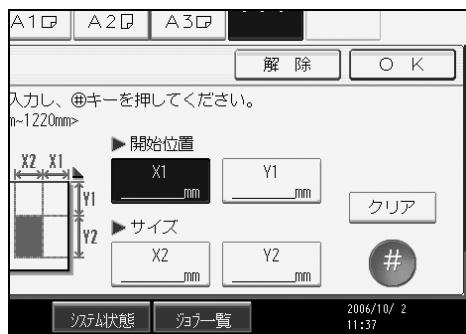
1 [編集／印字] を押します。



2 [消去] を押します。

3 [外消去] を押します。

#### 4 テンキーで [X1] の数値を入力し、[#] を押します。



2

#### 5 テンキーで [Y1] の数値を入力し、[#] を押します。

#### 6 テンキーで [X2] の数値を入力し、[#] を押します。

#### 7 テンキーで [Y2] の数値を入力し、[#] を押します。

#### 8 [OK] を 2 回押します。

##### 補足

- ・変倍機能を組み合わせてコピーするときは、指定した値に変倍率をかけた値が、実際の寸法となります。
- ・手順 4-7 で入力を間違えたときは、[クリア] を押して入力し直します。

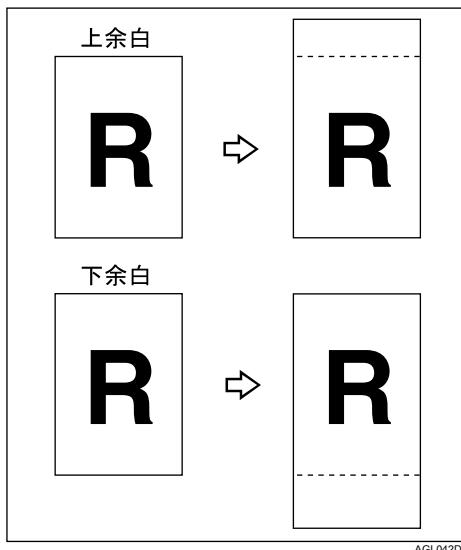
##### 参照

- ・P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」

## 余白

シンクロカットを選択したときに、原稿の先端または原稿の後端に余白を作りこなしてコピーします。

2

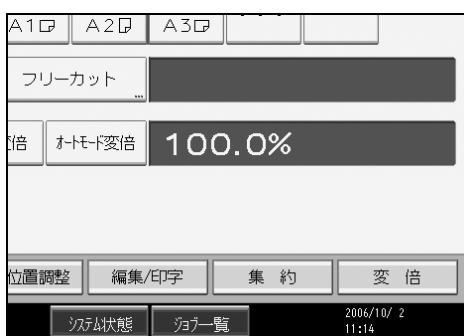


AGL042D

### ★ 重要

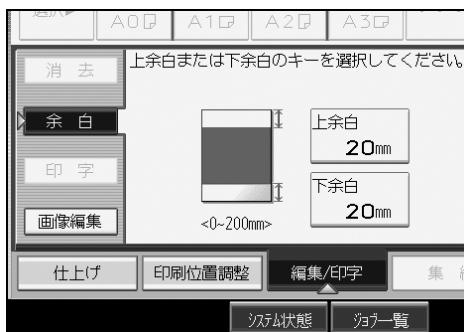
- 手差しコピーはできません。
- この機能では、次の種類の余白が選択できます。
- 上余白：用紙の先端に余白を作ります。
  - 下余白：用紙の後端に余白を作ります。

1 [編集／印字] を押します。



2 [余白] を押します。

**3** [上余白] または [下余白] を押します。



2

**4** [-] [+] で余白の長さを設定します。

**5** [OK] を押します。

自動的に [シンクロカット] が選択されます。

**補足**

- ・余白は、0-200mm の範囲内で 1mm 単位で指定します。初期設定値は 20mm です。
- ・上余白と下余白を組み合わせて指定することもできます。
- ・コピーの長さは、シンクロカットで自動的に設定された長さに余白を加えた長さになります。

**参照**

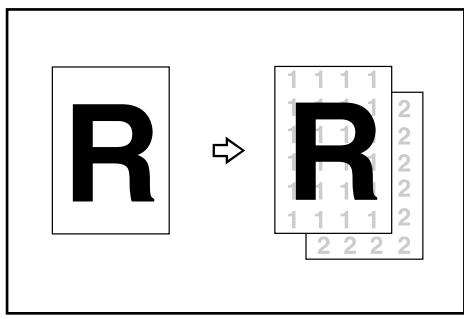
- ・P.70 「シンクロカット」
- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」
- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-基本編集設定」

## 機密管理ナンバリング

原稿にナンバーの地紋を付けてコピーします。

ソートと組み合わせると1部ごとに同じナンバーの地紋が付くため、文書の管理ができます。

2



GCSTMP2J

★重要

- ・手差しコピーはできません。

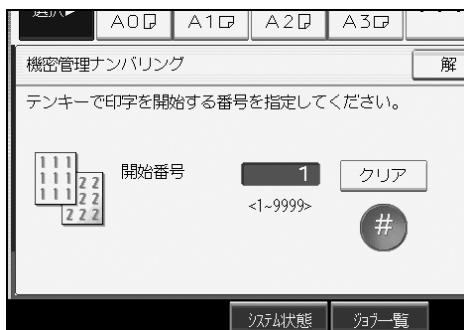
1 [編集 / 印字] を押します。



2 [印字] を押します。

3 [機密管理ナンバリング] を押します。

#### 4 テンキーで開始する番号を入力し、[#] を押します。



2

印字を開始する番号は、1-9999 まで指定できます。

#### 5 [OK] を 2 回押します。

##### 補足

- 手順 4 で間違えたときは、[変更] キーを押して入力し直します。
- 他のスタンプと組み合わせて印字することができます（4 種類まで）。

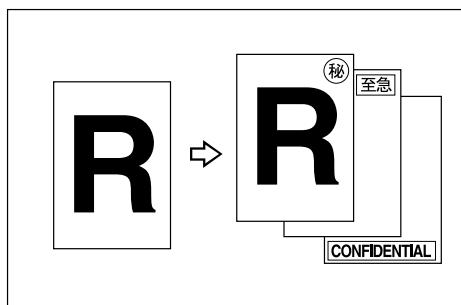
##### 参考

- P.169 「各機能の仕様補足」
- P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」
- 『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-印字編集設定」

## スタンプ印字

あらかじめ登録されている「マル秘」などのスタンプを付けてコピーします。  
印字するスタンプの位置や方向は、変更できます。

2



スタンプには次の 8 種類があります。

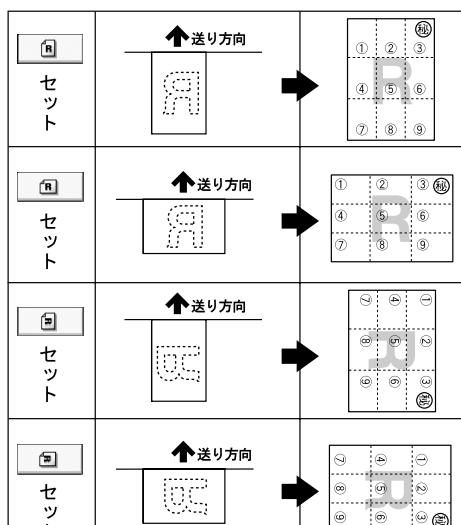
秘	回収	複製厳禁	至急
仮	回覧	CONFIDENTIAL	DRAFT

### ★重要

- 手差しコピーはできません。
- スタンプは 1 度に 1 種類しか印字できません。

#### ◆スタンプの印字位置と原稿のセット方向

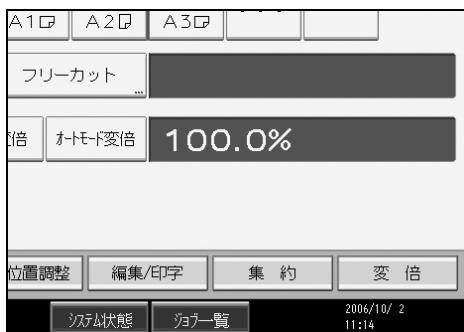
原稿のセット方向によって、スタンプを印字できる位置が違います。



画面内のキー	◀	↑	↗	↙	*	→	↖	↙	↘
印字する位置	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

ATZ058D

1 [編集 / 印字] を押します。



2

2 [印字] を押します。

3 [スタンプ印字] を押します。

4 印字の種類を選択します。

位置、サイズ、透かしの種類を変更できます。

5 印字するページを、[全ページ] または [先頭ページのみ] から選択します。



6 すべての設定が終わったら、[OK] を押します。

7 [OK] を押します。

補足

- 他のスタンプと組み合わせて印字することができます（4種類まで）。
- 優先して選択されるスタンプ種類を変更できます。

参照

- P.169 「各機能の仕様補足」
- P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」
- 『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-印字編集設定」

## スタンプの印字する位置、サイズ、透かしの種類を変更する

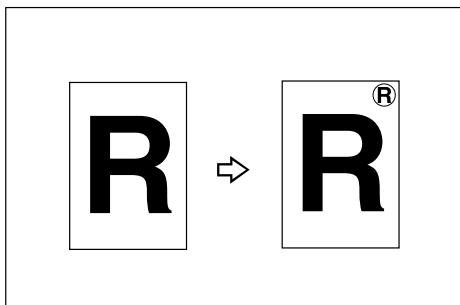
印字の位置、サイズ、透かしの種類を変更します。

- 1 [編集／印字] を押します。
- 2 [印字] を押します。
- 3 [スタンプ印字] を押します。
- 4 [変更] を押します。
- 5 印字する位置、サイズ、透かしの種類を選択し、[OK] を押します。



## ユーザースタンプ印字

読み取った画像をスタンプとして付けてコピーします。  
よく使う文字やマークを登録しておくことができます。



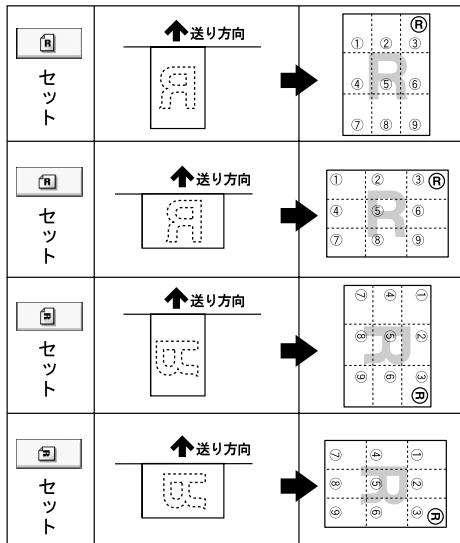
2

### ★ 重要

- ユーザースタンプの登録が必要です。ユーザースタンプの登録方法は、「ユーザースタンプを登録する」を参照してください。
- 手差しコピーはできません。
- スタンプは1度に1種類しか印字できません。

### ◆ ユーザースタンプの印字位置と原稿のセット方向

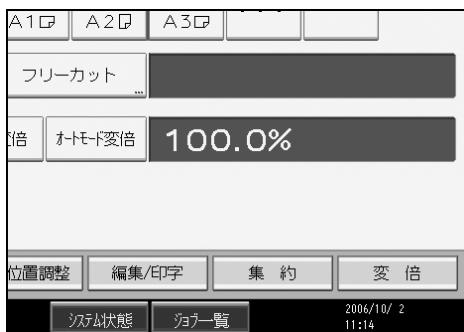
原稿のセット方向によって、ユーザースタンプを印字できる位置が違います。



画面内のキー	↖	↑	↗	←	*	→	↖	↓	↗
印字する位置	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

ATZ059D

## 1 [編集 / 印字] を押します。



2

## 2 [印字] を押します。

## 3 [ユーザースタンプ印字] を押します。

## 4 ユーザースタンプ印字の種類を選択します。

印字位置を変更できます。

## 5 印字するページを、[全ページ] または [先頭ページのみ] から選択します。



## 6 すべての設定が終わったら、[OK] を押します。

## 7 [OK] を押します。

## 補足

- ・ユーザースタンプは4種類まで登録できます。
- ・他のスタンプと組み合わせて印字することができます（4種類まで）。
- ・ユーザースタンプ印字を選択したとき、1枚目のコピーは排出されるまで少し時間がかかることがあります。
- ・一度登録したユーザースタンプを削除するときは、「ユーザースタンプを削除する」を参照してください。

## 参照

- ・P.106 「ユーザースタンプを登録する」
- ・P.108 「ユーザースタンプを削除する」
- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」
- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-印字編集設定」

## ユーザースタンプの印字位置を変更する

印字の位置を変更します。

- 1 [編集／印字] を押します。
- 2 [印字] を押します。
- 3 [ユーザースタンプ印字] を押します。
- 4 <印字位置>で [変更] を押します。
- 5 印字する位置を選択し、[OK] を押します。

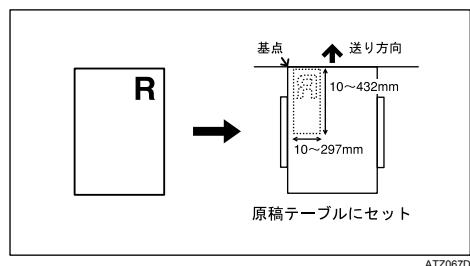
2



## ユーザースタンプを登録する

ユーザースタンプとして使用する画像を読み取ります。

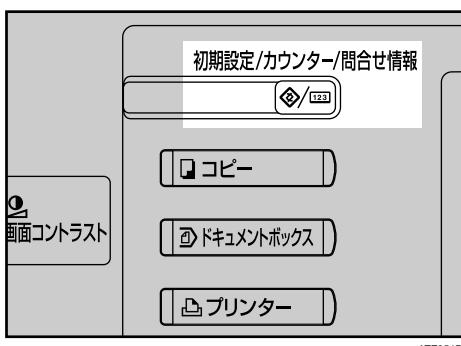
画像が読み取られる範囲は幅 10-297mm、高さ 10-432mm です。原稿の右上が読み取りの基点になります。ただし、幅×高さの値が 5000mm<sup>2</sup> を超えると自動的に補正されます。



2

1 コピーできる状態であることを確認します。

2 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



AT2061D

3 [コピー／ドキュメントボックス初期設定] を押します。



4 [印字編集設定] を押します。

5 [ユーザースタンプ] を押します。

6 [スタンプ登録 / 削除] を押します。

7 [登録] を押し、登録するスタンプ番号を押します。

**8** スタンプの名称を全角 5 文字、半角 10 文字以内で入力し、[OK] を押します。

**9** テンキーでスタンプの横幅を入力し、[#] を押します。

**10** テンキーでスタンプの高さを入力し、[#] を押します。

**11** 原稿テーブルの原稿ガイドを A3□または A4□の位置に合わせ、登録するスタンプの原稿をセットします。

**12** [読み取りスタート] を押します。

原稿が読み取られ、スタンプが登録されます。

**13** [閉じる] を押します。

**14** [終了] を押します。

初期設定のメニュー画面に戻ります。

**15** [終了] を押します。

初期設定値の変更が終了してコピーできる状態になります。

↓ 補足

- ・今が表示されているユーザースタンプ番号は、すでにユーザースタンプが登録されています。登録されていないユーザースタンプ番号には「未登録」と表示されています。
- ・すでに登録されているユーザースタンプ番号を押したときは、上書きの確認画面が表示されます。上書きする場合は [書き替える] を、登録しない場合は [中止] を押します。
- ・書き替えたユーザースタンプは元に戻すことはできません。
- ・朱または赤で押印した原稿は、きれいに読み取れないことがあります。登録には、モノクロ原稿を使用してください。
- ・ユーザースタンプは、4 種類まで登録できます。
- ・文字の入力方法については、『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」を参照してください。

目 参照

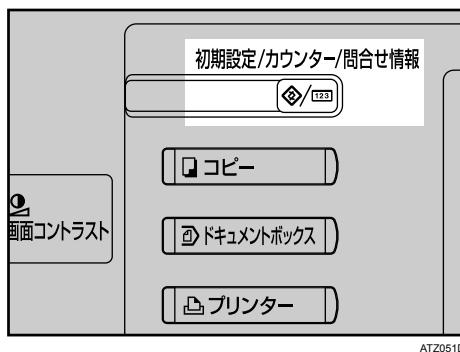
- ・『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」

## ユーザースタンプを削除する

ユーザースタンプ用に登録した画像を削除します。  
一度削除したスタンプは元に戻すことはできません。

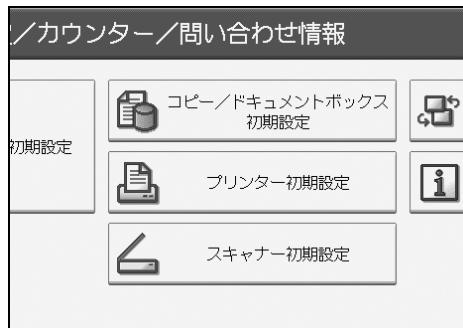
- 1 コピーできる状態であることを確認します。
- 2 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

2



ATZ051D

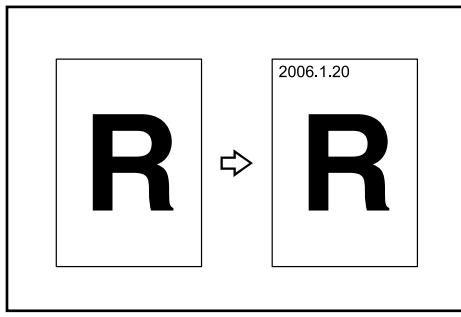
- 3 [コピー／ドキュメントボックス初期設定] を押します。



- 4 [印字編集設定] を押します。
  - 5 [ユーザースタンプ] を押します。
  - 6 [スタンプ登録 / 削除] を押します。
  - 7 [削除] を押し、削除するスタンプ番号を押します。
  - 8 [削除する] を選択し、[閉じる] を押します。
  - 9 [終了] を押します。
- 初期設定のメニュー画面に戻ります。
- 10 [終了] を押します。
- 初期設定値の変更が終了してコピーできる状態になります。

## 日付印字

日付をつけてコピーします。



2

### ★ 重要

- 手差しコピーはできません。

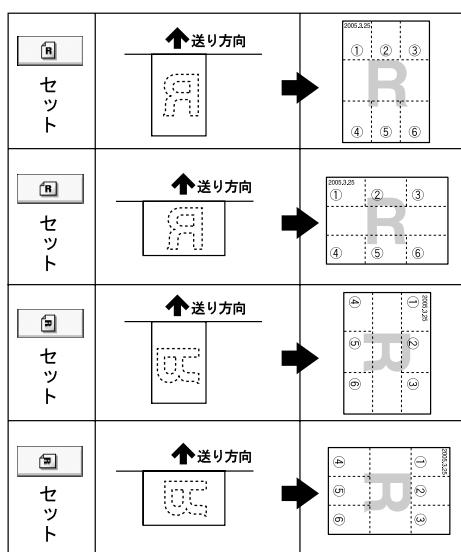
### ◆ 日付印字の書式

印字のパターンには次の7種類があります。

- MM/DD/YYYY
- MM.DD.YYYY
- DD/MM/YYYY
- DD.MM.YYYY
- YYYY.MM.DD
- DD.JUN.YYYY
- YYYY年 MM月 DD日

### ◆ 日付の印字位置と原稿のセット方向

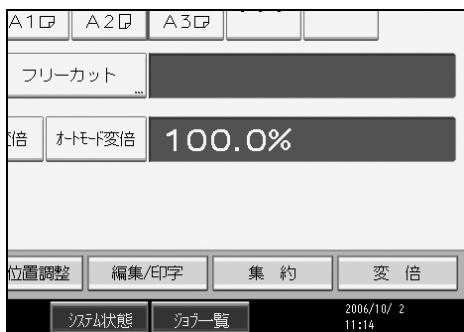
原稿のセット方向によって、日付を印字できる位置が違います。



画面内のキー | |  
印字する位置 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

ATZ061D

1 [編集 / 印字] を押します。



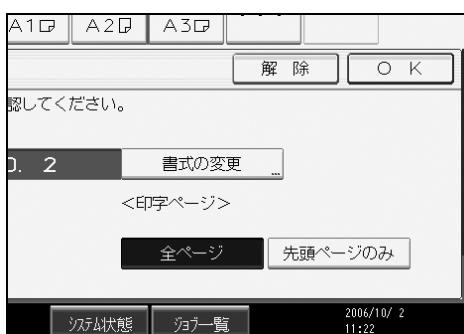
2

2 [印字] を押します。

3 [日付印字] を押します。

4 印字の種類を選択します。  
書式と位置を変更できます。

5 印字するページを、[全ページ] または [先頭ページのみ] から選択します。



6 すべての設定が終わったら、[OK] を押します。

7 [OK] を押します。

↓ 補足

- 他のスタンプと組み合わせて印字することができます (4種類まで)。

↓ 参照

- P.169 「各機能の仕様補足」
- P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」
- 『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-印字編集設定」
- 『初期設定編』「システム初期設定-時刻タイマー設定」

## 日付の書式を変更する

印字する日付の書式を変更します。

- 1 [編集／印字] を押します。
- 2 [印字] を押します。
- 3 [日付印字] を押します。
- 4 <今日の日付>で [書式の変更] を押します。
- 5 日付の書式を選択し、[OK] を押します。



2

## 日付の印字する位置を変更する

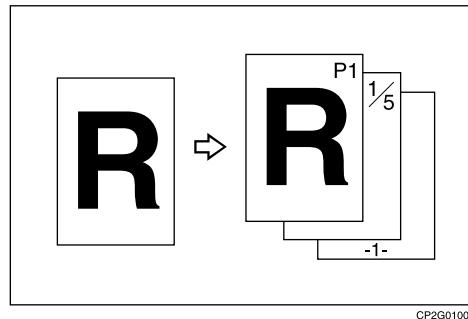
印字の位置を変更します。

- 1 [編集／印字] を押します。
- 2 [印字] を押します。
- 3 [日付印字] を押します。
- 4 <印字位置>の [変更] を押します。
- 5 印字する位置を選択し、[OK] を押します。



## ページ印字

ページをつけてコピーします。



2

★重要

- ・手差しコピーはできません。

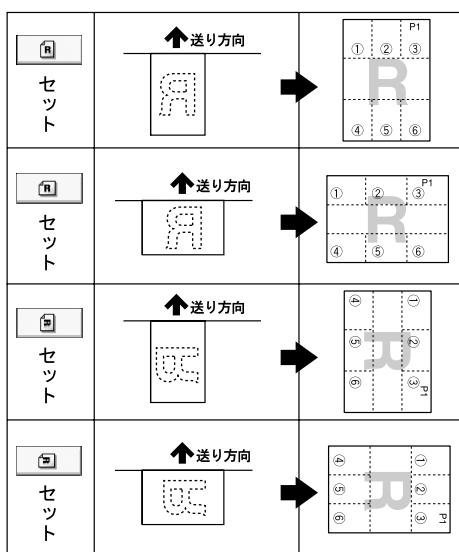
◆ページ印字の書式

ページ印字のパターンには次の7種類があります。

- ・P1, P2, ...
- ・1/5, 2/5, ...
- ・-1-, -2-, ...
- ・P1, P2, ...
- ・1, 2, ...
- ・1-1, 1-2, ...
- ・1ページ, 2ページ, ...

◆ページの印字位置と原稿のセット方向

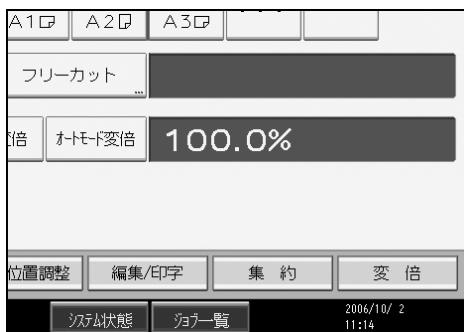
原稿のセット方向によって、ページを印字できる位置が違います。



画面内のキー	◀	↑	↗	↖	↓	↘
印字する位置	①	②	③	④	⑤	⑥

ATZ062D

1 [編集 / 印字] を押します。

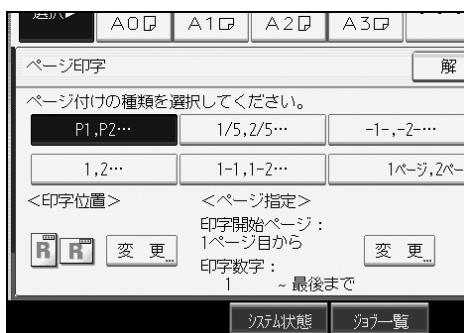


2

2 [印字] を押します。

3 [ページ印字] を押します。

4 ページ付けの種類を選択します。



位置の変更、印字するページと数字の設定ができます。

5 すべての設定が終わったら [OK] を押します。

6 [OK] を押します。

**補足**

- ・他のスタンプと組み合わせて印字することができます（4種類まで）。
- ・ページは、1-9999ページまで印字できます。

**参照**

- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」
- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-印字編集設定」

## ページの印字する位置を変更する

印字の位置を変更します。

- 1 [編集／印字] を押します。
- 2 [印字] を押します。
- 3 [ページ印字] を押します。
- 4 <印字位置>の [変更] を押します。
- 5 印字する位置を選択し、[OK] を押します。

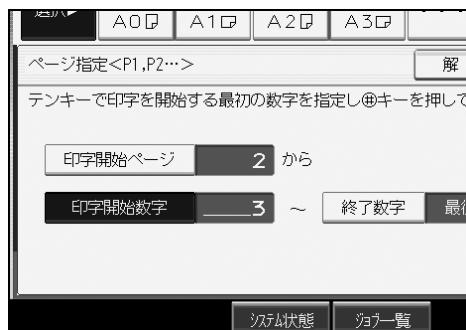


## 印字を開始するページ、数字を変更する（「P1、P2...」 「-1、-2...」「P.1、P.2...」「1、2...」「1ページ、2ページ ...」を選択したとき）

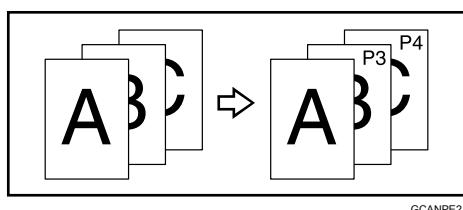
印字を開始するページと印字する数字を指定します。

ここでは、「P1、P2...」を選択した場合の画面例で説明します。操作方法は同じです。

- 1 [編集／印字] を押します。
- 2 [印字] を押します。
- 3 [ページ印字] を押します。
- 4 <ページ指定>の [変更] を押します。
- 5 [印字開始ページ] を押し、テンキーで印字を開始するページ数を入力して [#] キーを押します。
- 6 [印字開始数字] を押し、テンキーで印字を開始する数字を入力して [#] キーを押します。



印字開始ページを「2 ページ」、開始数字を「3」に設定したときの例。



- 7 [終了数字] を押し、テンキーで印字する最後の数字を入力して [#] キーを押します。
- 最後のページまで印字する場合は、[最後まで] を押します。
- 8 すべてのページ指定が終わったら、[OK] を押します。
- 9 [OK] を2回押します。

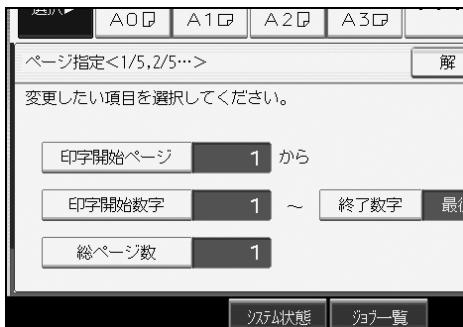
### 補足

- ・手順 5-7で間違えたときは、[クリア] を押して、入力し直します。

## 印字を開始するページ、数字を変更する（「1/5、2/5…」を選択したとき）

印字を開始するページと印字する数字を指定します。

- 1 [編集／印字] を押します。
- 2 [印字] を押します。
- 3 [ページ印字] を押します。
- 4 <ページ指定>の [変更] を押します。
- 5 [印字開始ページ] を押し、テンキーで印字を開始するページを入力して [#] キーを押します。

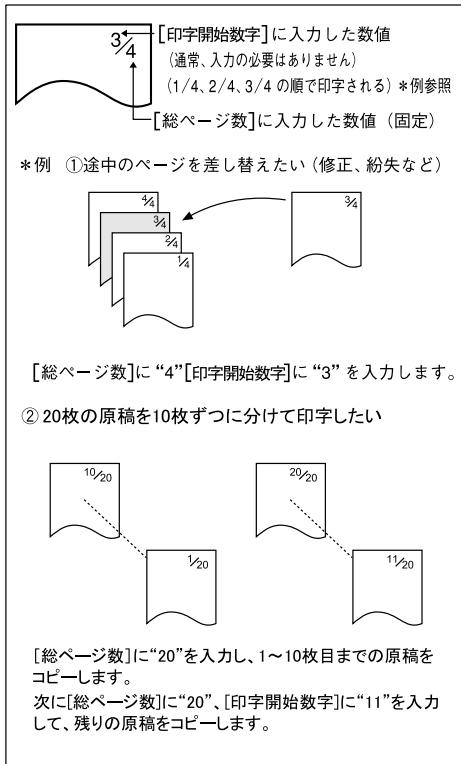


印字開始ページは、1-9999まで設定できます。

- 6 [印字開始数字] を押し、テンキーで印字を開始する数字を入力して [#] キーを押します。
- 7 終了数字を変更するときは [終了数字] を押し、テンキーで印字する最後の数字を入力して [#] キーを押します。  
変更しないときは手順 8 へ進みます。  
最後のページまで印字する場合は [最後まで] を押します。  
終了数字は、ページを印字する最後の数字です。たとえば「総ページ数」10ページで、7ページまで印字し、8ページ以降は印字しないときは、「終了数字」に「7」と入力します。通常は変更する必要はありません。

## 8 [総ページ数] を押し、原稿の総ページ数をテンキーで入力して [#] キーを押します。

印字ページの分子の数字を変更するときは [開始数字] を押し、数値をテンキーで入力します。



ATZ071D

## 9 すべてのページ指定が終わったら、[OK] を押します。

## 10 [OK] を2回押します。

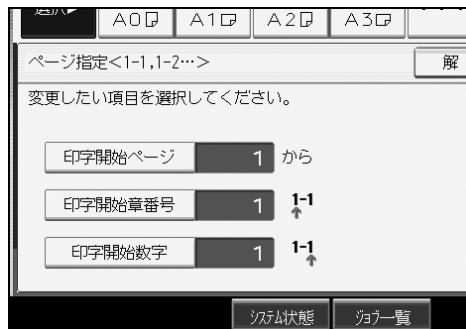
### 補足

- 手順 5-8 で間違えたときは、[クリア] を押して、入力し直します。
- 手順 9 で [OK] を押した後、印字開始ページや印字開始数字、総ページ数などを変更するときは、[変更] を押し、入力し直します。

## 印字を開始するページ、数字を変更する（「1-1,1-2…」を選択したとき）

印字を開始するページと印字する数字を指定します。

- 1 [編集／印字] を押します。
- 2 [印字] を押します。
- 3 [ページ印字] を押します。
- 4 <ページ指定>の [変更] を押します。
- 5 [印字開始ページ] を押し、テンキーで印字を開始するページを入力して [#] キーを押します。



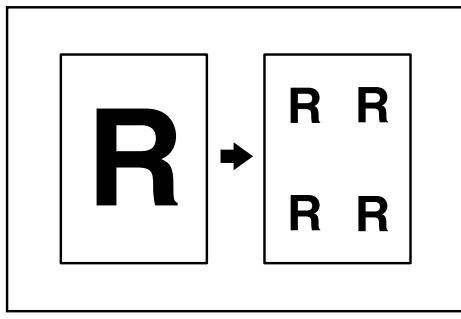
- 6 [印字開始章番号] を押し、テンキーで印字開始の章番号を入力して [#] キーを押します。  
章番号は、1-9999まで設定できます。
- 7 [印字開始数字] を押し、テンキーで開始数字を入力して [#] キーを押します。
- 8 すべてのページ指定が終わったら、[OK] を押します。
- 9 [OK] を2回押します。

### ↓ 補足

- ・手順 5-7で間違えたときは、[クリア] を押して、入力し直します。

## リピート

画像を1枚の用紙に繰り返してコピーします。

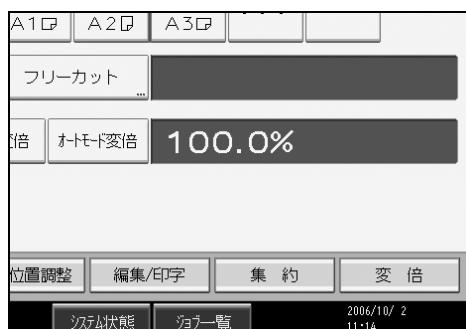


2

★ 重要

- ・手差しコピーはできません。
- 1枚の用紙にリピートできる個数は、原稿サイズ、用紙サイズ、変倍率によって自動的に決まります。たとえば、A4の原稿とA1の用紙を組み合わせると、リピート数は8になります。

1 [編集/印字] を押します。



2 [画像編集] を押します。

3 [リピート] を押します。

4 [OK] を押します。

5 用紙を選択します。

↓ 補足

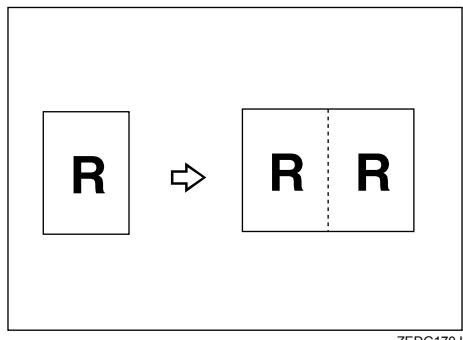
- ・画像を分ける仕切線（実線、破線、補助線）を付けることができます。
- ・リピートと移動を組み合わせると、リピートされた用紙全体に対して移動を行います。

目 参照

- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」
- ・『初期設定編』「コピー／ドキュメントボックス初期設定-基本編集設定」

## ダブルコピー

1枚の原稿を用紙の左右、または上下に2つコピーします。



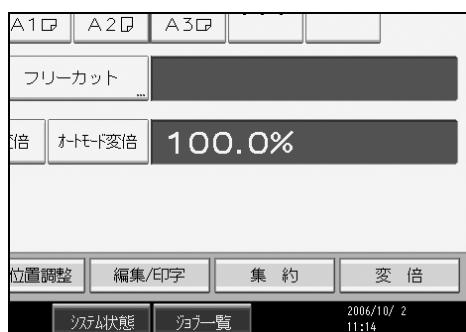
ZEDG170J

2

### ★重要

- ・手差しコピーはできません。

1 [編集/印字] を押します。



2 [画像編集] を押します。

3 [ダブルコピー] を押します。

4 [OK] を押します。

5 用紙を選択します。

### ↓ 補足

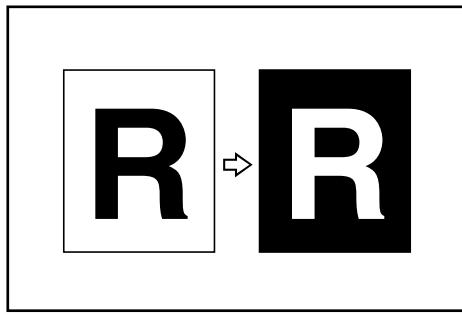
- ・画像を分ける仕切線（実線、破線、補助線）を付けることができます。
- ・ダブルコピーを行うとき、用紙の幅は原稿の2倍（等倍時）必要です。変倍をするときは、変倍率を考慮して用紙のサイズを選択してください。

### □ 参照

- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」
- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定・基本編集設定」

## 白黒反転

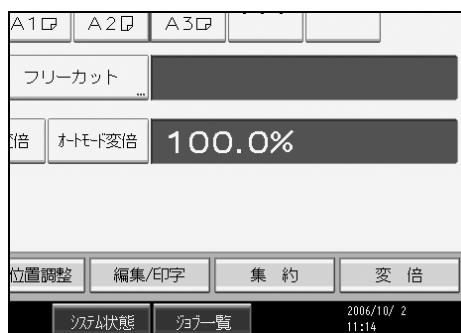
画像の白黒を反転してコピーします。



GCHATN1E

2

1 [編集 / 印字] を押します。



2 [画像編集] を押します。

3 [白黒反転] を押します。

4 [OK] を押します。

5 用紙を選択します。

↓ 補足

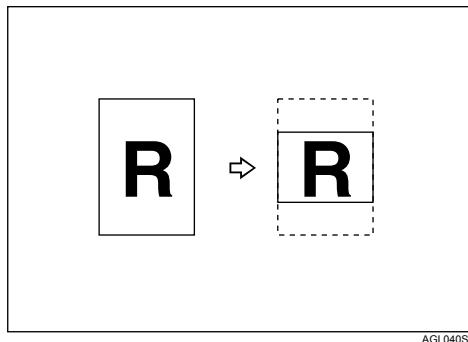
- ・連続してコピーすると、画像濃度が低下することがあります。

↓ 参照

- ・P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」

## 部分コピー

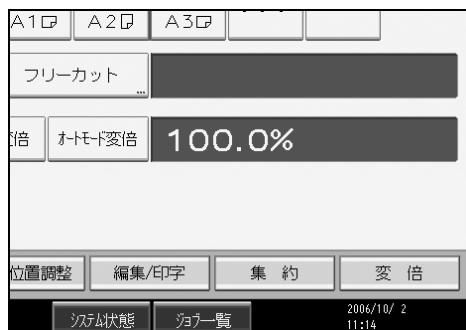
原稿の指定した部分のみコピーします。



AGL040S

2

1 [編集／印字] を押します。



2 [画像編集] を押します。

3 [部分コピー] を押します。

4 [Y1] を押して、読み込み開始位置（原稿の先端からの距離）をテンキーで入力し、[#] を押します。



5 [Y2] を押して、コピーする長さをテンキーで入力し、[#] を押します。

6 [OK] を2回押します。

**↓ 補足**

- ・間違えたときは【クリア】を押して入力し直します。
- ・Y2に入力できる最小値は210mmです。
- ・コピーサイズ(Y1+Y2)の最大値は15000mmです。
- ・Y1+Y2が15000mm以上になった場合は、Y1に入力した値を基準として、Y1+Y2の数値が15000mm以下になるようにY2の値が自動的に修正されます。
- ・Y1+Y2が279mmより小さい場合は、コピーの長さは279mmとなります。

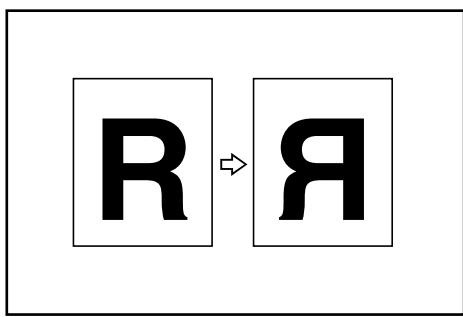
**目 参照**

- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定・基本編集設定」

2

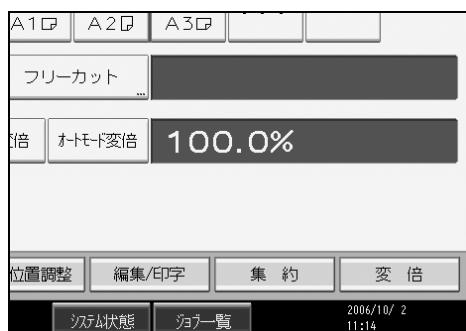
## ミラー

画像を鏡に映したように左右に反転させてコピーします。



GCMILL1J

**1** 【編集 / 印字】を押します。



**2** 【画像編集】を押します。

**3** 【ミラー】を押します。

**4** 【OK】を押します。

**目 参照**

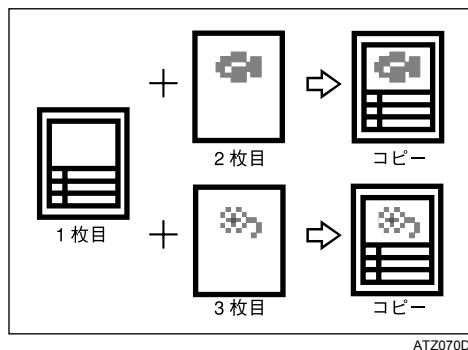
- ・P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」

## フォーマット合成

1枚目の原稿をフォーマット原稿（背景原稿）にして、2枚目以降の原稿と重ね合わせてコピーします。

フォーマット原稿を登録しておき、呼び出すこともできます。

2



★ 重要

- 手差しコピーはできません。

フォーマット合成の種類には、次の2種類があります。

◆ フォーマット合成

1枚目の原稿をフォーマット原稿にして、2枚目以降の原稿と重ね合わせてコピーします。

◆ 登録フォーマット合成

登録したフォーマット原稿を呼び出し、原稿と重ね合わせてコピーします。

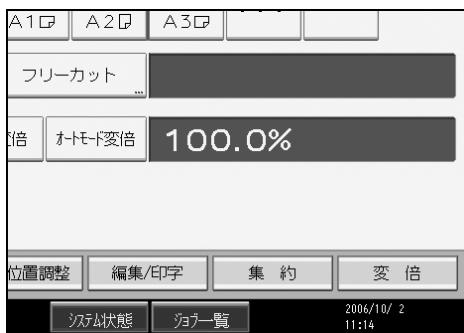
参考

- P.169 「各機能の仕様補足」
- P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」

## フォーマット合成

1枚目の原稿をフォーマット原稿にして、2枚目以降の原稿と重ね合わせてコピーします。

1 [編集／印字] を押します。

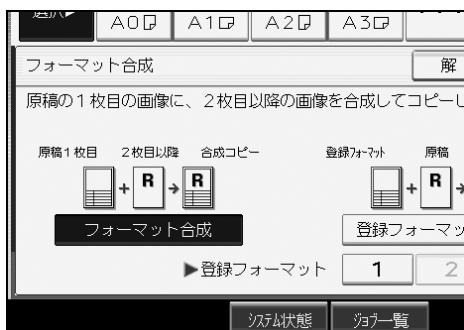


2

2 [画像編集] を押します。

3 [フォーマット合成] を押します。

4 [フォーマット合成] を押します。



5 機能を設定し、1枚目の原稿をセットして読み込みます。

6 2枚目の原稿をセットして読み込みます。

1枚目と2枚目の合成画像がコピーされます。

7 3枚目の原稿をセットして読み込みます。

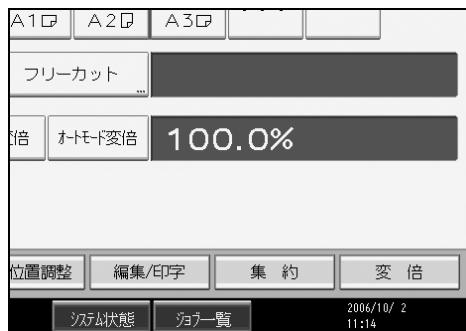
1枚目と3枚目の合成画像がコピーされます。

8 必要に応じて原稿の読み込みを繰り返します。

## 登録フォーマット合成

登録したフォーマット原稿を呼び出し、原稿と重ね合わせてコピーします。  
登録フォーマット合成をするには、事前にフォーマット登録が必要です。

1 [編集／印字] を押します。



2

2 [画像編集] を押します。

3 [フォーマット合成] を押します。

4 [登録フォーマット合成] を押します。



5 登録されているフォーマットを選択します。

6 機能を設定し、1枚目の原稿（登録フォーマットに合成する原稿）をセットして読み込みます。

登録フォーマットと1枚目の原稿の合成画像がコピーされます。

7 必要に応じて、原稿の読み込みを繰り返します。

登録フォーマットと読みませた原稿の合成画像がコピーされます。

### 参照

- ・P.127 「フォーマットを登録する」
- ・P.128 「登録したフォーマットを変更する」
- ・P.129 「登録したフォーマットを削除する」
- ・『初期設定編』「コピー／ドキュメントボックス初期設定-フォーマット登録／削除」

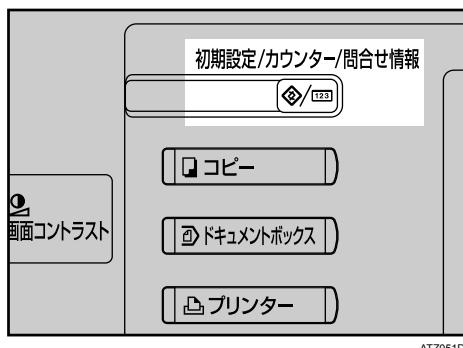
## フォーマットを登録する

登録フォーマット合成に使用するフォーマットを登録します。

登録できる原稿サイズはA0までです。長尺原稿をフォーマット登録することはできません。

1 コピーできる状態であることを確認します。

2 [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。



2

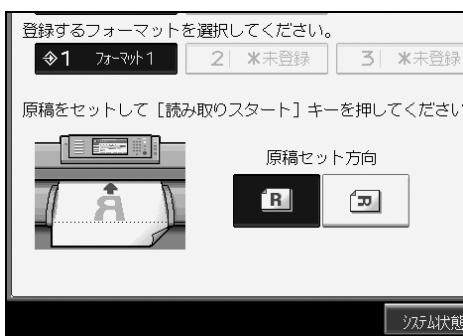
3 [コピー／ドキュメントボックス初期設定] を押します。



4 [基本編集設定] を押し、[フォーマット登録／削除] を押します。

5 登録するフォーマットのキー（1-4）を選択します。

フォーマットがすでに登録されているキーは※が表示されています。



6 原稿セット方向を選択します。

**7** 原稿をセットし、[読み取りスタート] を押します。  
原稿が読み取られ、フォーマットが登録されます。

**8** [閉じる] を押します。

**9** [終了] を押します。  
初期設定のメニュー画面に戻ります。

## 2

### 登録したフォーマットを変更する

登録したフォーマットを変更します。

★重要

- ・書き替えたフォーマットは元に戻すことはできません。

**1** コピーできる状態であることを確認します。

**2** [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

**3** [コピー／ドキュメントボックス初期設定] を押します。

**4** [基本編集設定] を押し、[フォーマット登録／削除] を押します。

**5** 変更するフォーマット番号を選択します。

**6** [書き替える] を押します。

書き替えないときは [中止] を押します。

**7** 原稿セット方向を選択します。

**8** 原稿をセットし、[読み取りスタート] を押します。

原稿が読み取られ、フォーマットが上書きされます。

**9** [閉じる] を押します。

**10** [終了] を押します。

初期設定のメニュー画面に戻ります。

## 登録したフォーマットを削除する

登録したフォーマットを削除します。

★ 重要

- ・削除したフォーマットは元に戻すことはできません。

- 1 コピーできる状態であることを確認します。
- 2 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。
- 3 [コピー／ドキュメントボックス初期設定] を押します。
- 4 [基本編集設定] を押し、[フォーマット登録／削除] を押します。
- 5 [削除] を押し、削除するフォーマット番号を選択します。
- 6 [削除する] を押します。  
削除しないときは [削除しない] を押します。
- 7 [閉じる] を押します。
- 8 [終了] を押します。

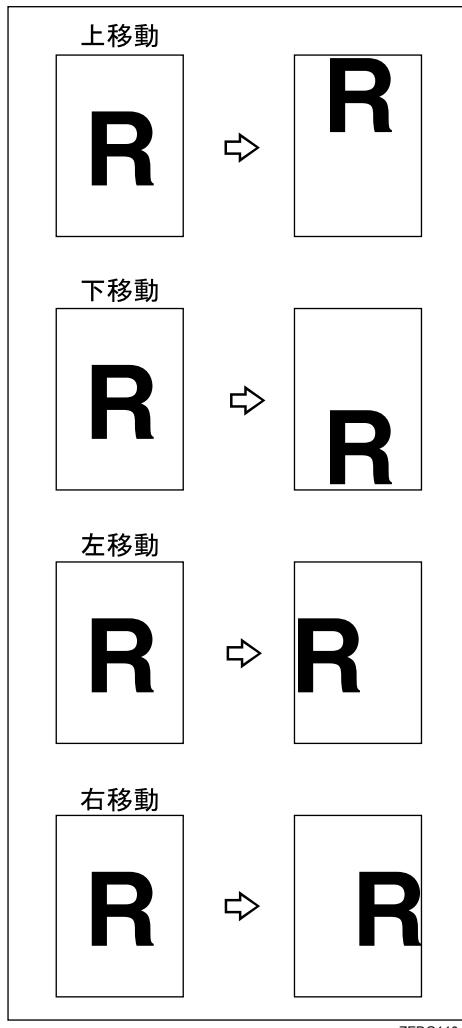
初期設定のメニュー画面に戻ります。

2

## 印刷位置調整

コピー画像を上下または左右にシフトしてコピーします。

2

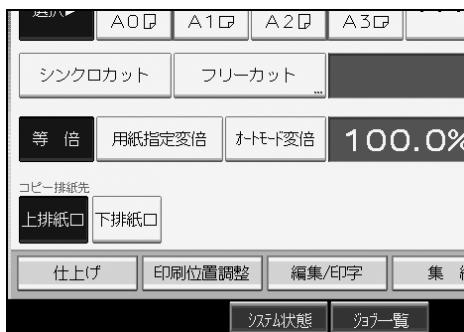


ZEDG110J

印刷位置調整では、4方向に画像の位置を調整できます。上下と左右を組み合わせて指定することもできます。

- ・[↑] (上)：原稿の画像を、用紙の先端に移動します。
- ・[↓] (下)：原稿の画像を、用紙の後端に移動します。
- ・[←] (左)：原稿の画像を、用紙の左に移動します。
- ・[→] (右)：原稿の画像を、用紙の右に移動します。

1 [印刷位置調整] を押します。



2

2 [←] [→] を押して左右の位置を調整します。



3 [↑] [↓] を押して上下の位置を調整します。

4 [OK] を2回押します。

↓ 補足

- ・移動幅の初期設定値は下 20mm、右 20mm です。

日 参照

- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・P.173 「機能別読み取りサイズ一覧」

## ソート

1部ずつページ順にそろえてコピーします。

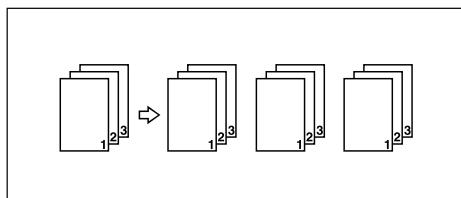
### ★ 重要

- ・回転ソートを行うときは、同じサイズ、同じ用紙種類設定、異なる方向（□□）にセットされている給紙トレイが2段必要です。
- ・手差しコピーは回転ソートできません。

2

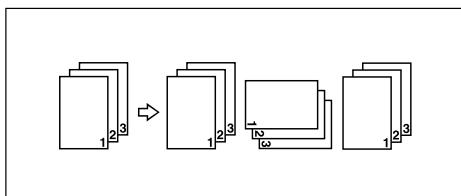
### ◆ ソート

1部ずつページ順にそろえてコピーします。



### ◆ 回転ソート

1部ずつ□□の向きを変えてコピーします。



1 使用する機能を設定します。

2 [仕上げ] を押します。

3 [ソート] を押します。

4 [ソート] または [回転ソート] を選択し、[OK] を押します。



5 テンキーでコピーする部数を入力します。

6 [OK] を押します。

## 7 原稿をセットし、読み込ませます。

最後の原稿の読み取りを終えるまで、読み取り操作を繰り返します。

すべての原稿の読み取りを終えたら [#] キーを押します。

コピーが始まります。

### 補足

- ・試しコピーをするには、事前にシステム初期設定の「原稿送り開始方法」を「スタートキー押下」に設定してください。「自動」に設定していると、試しコピーはできません。
- ・仕上がり状態を確認したいときは、手順7で [試しコピー] キーを押します。
- ・ソート、回転ソートを中止するときは [リセット] キーを押します。
- ・特殊用紙サイズの回転ソートはできません。

### 参考

- ・P.20 「オプションが必要な機能一覧」
- ・P.169 「各機能の仕様補足」
- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-基本コピー設定」
- ・『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定-周辺設定」
- ・『初期設定編』「システム初期設定-基本設定」

## 試しコピー

最初の1部のコピーで仕上がりを確認します。

### ★ 重要

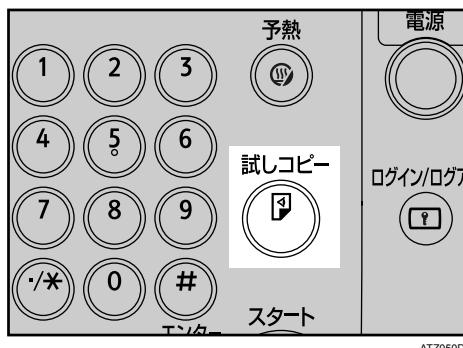
- ソートを設定しているときだけ使用できる機能です。
- 事前にシステム初期設定の「原稿送り開始方法」を「スタートキー押下」に設定してください。「自動」に設定していると、試しコピーはできません。

2

### 1 ソートと使用する各機能を設定し、原稿をセットします。



### 2 [試しコピー] キーを押します。



試しコピー 1部が排出されます。

### 3 仕上がりを確認後、よければ [継続] を押します。

試しコピー一分を引いた部数がコピーされます。

### ↓ 補足

- 仕上がり確認後、[中断] を押すと手順 1 に戻ります。コピー機能の再設定ができます。ただし、機能の組み合わせによっては再設定できないことがあります。

### □ 参照

- P.168 「機能組み合わせ一覧」
- 『初期設定編』「システム初期設定-基本設定」

## 部数変更

コピー中にコピー部数を変更します。

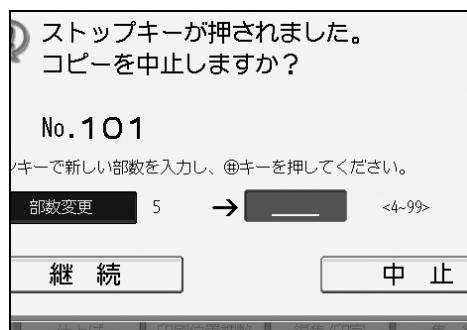
### ★ 重要

- ソートを設定しているときだけ使用できる機能です。

1 「コピー中です」と表示されている間に【クリア／ストップ】キーを押します。

2 【部数変更】を押します。

3 テンキーでコピー部数を入力し、【#】キーを押します。



4 【継続】を押します。

コピーが再開されます。

### ↓ 補足

- 手順 3 で入力できるコピー部数の範囲は【クリア／ストップ】キーを押すタイミングにより異なります。

## ドキュメントボックスに原稿を蓄積する

ドキュメントボックスを使うと、コピー機能で読み取った文書を本機のハードディスクに蓄積しておき、あとから必要な条件で印刷することができます。

### ★ 重要

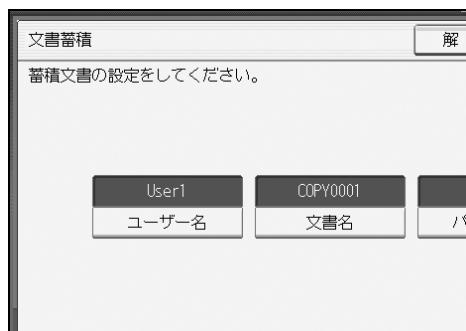
2

- ・万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

### 1 [文書蓄積] を押します。

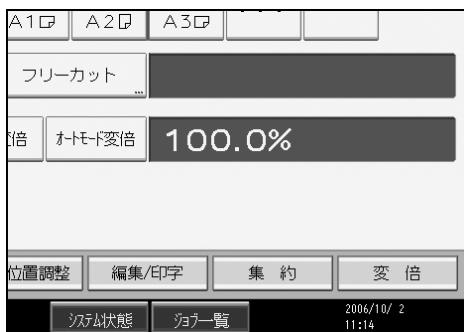


### 2 必要に応じてユーザー名、文書名、パスワードを設定します。



### 3 [OK] を押します。

## 4 コピー機能を設定します。



2

## 5 原稿ガイドを調節し、原稿を下向きにセットします。

原稿が搬送され、コピーが始まります。同時に、読み込んだデータをハードディスクに蓄積します。

### 補足

- 読み取りを中断するときは【クリア／ストップ】キーを押します。表示された確認画面で【継続】を押すと読み取りが再開され、【中止】を押すと読み取り済みの画像が消去され、原稿は排出されます。
- すべての原稿の読み取りを終えたら【#】キーを押します。
- 工場出荷時の設定では、ドキュメントボックスに蓄積された文書は、蓄積してから3日(72時間)後に消去されます。文書の自動消去をしない、あるいは一定日数経過後に自動的に消去するように設定を変えることができます。設定を変更するときは、『初期設定編』「管理者用設定-ドキュメントボックス蓄積文書自動消去」を参照してください。
- 文書が蓄積されたかどうかの確認は、【ドキュメントボックス】キーを押して、文書選択画面を表示させます。
- 文書を蓄積したあとに次の文書を蓄積したいときは、コピーが終了してから行ってください。
- ドキュメントボックスの詳細については「ドキュメントボックスを使う」を参照してください。
- 蓄積された文書を呼び出して印刷するときは、「文書を印刷する」を参照してください。
- ユーザー名、文書名、パスワードの設定のしかたは、「文書を蓄積する」を参照してください。
- セキュリティの設定によっては、【ユーザー名】が【アクセス権】と表示される場合があります。
- 【アクセス権】の設定手順について詳しくは、管理者にお問い合わせください。
- 文字の入力方法については、『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」を参照してください。

### 参照

- P.148 「ドキュメントボックスを使う」
- P.148 「文書を蓄積する」
- P.158 「蓄積文書を印刷する」
- 『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」
- 『初期設定編』「システム初期設定-管理者用設定」

## プログラム

よく使うコピー機能は、設定した内容を記憶させることによって繰り返し使うことができます。

プログラムは10件まで登録できます。

### 補足

2

- ・設定したプログラムを初期値として登録すると、[プログラム]キーを押して呼び出さなくても、電源を入れた直後、オートクリアしたとき、またはリセットしたときの初期画面の初期値となります。「初期画面の初期値を登録する」を参照してください。
- ・用紙はサイズで登録されるため、同じサイズの用紙がセットされているときは、コピー初期設定で優先設定した給紙トレイから順に選択されます。『初期設定編』「用紙設定-給紙トレイ優先設定：コピー」を参照してください。
- ・消去またはあらたに登録しない限り、電源を切ったり、[リセット]キーを押しても登録した内容は取り消されません。

### 参照

- ・P.142 「初期画面の初期値を登録する」
- ・『初期設定編』「システム初期設定-用紙設定」

## よく使う機能を登録する

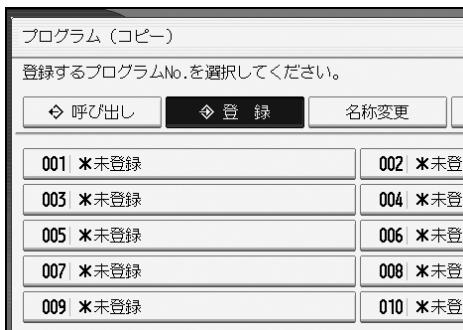
プログラムに機能を登録します。

1 登録する内容を設定します。

2 [プログラム]キーを押します。



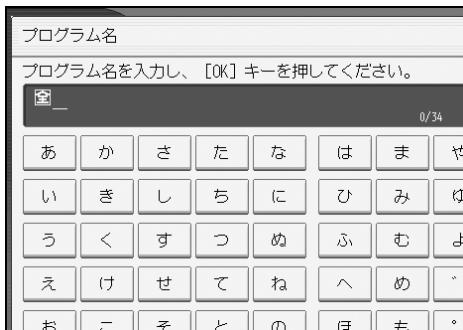
### 3 [登録] を押します。



### 4 登録するプログラム No. を選択します。

### 5 プログラム名を入力します。

プログラム名は全角 17 文字、半角 34 文字まで入力できます。



### 6 [OK] を押します。

プログラム画面に戻り、登録したプログラム No. の後ろにプログラム名が表示されます。しばらくするとコピー画面に戻ります。

#### 補足

- ◆が表示されている No. には、すでにプログラムが登録されています。
- 文字の入力方法については、『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」を参照してください。

#### 参照

- 『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」

## 登録した内容を変更する

プログラムの内容を変更します。

- 1 登録されている内容を確認します。
- 2 登録する内容を設定します。
- 3 [プログラム] キーを押します。
- 4 [登録] を押します。
- 5 変更するプログラム No. を選択します。
- 6 [登録する] を押します。
- 7 プログラム名を入力します。  
プログラム名は全角 17 文字、半角 34 文字まで入力できます。
- 8 [OK] を押します。  
プログラム画面に戻り、登録したプログラム No. の後ろにプログラム名が表示されます。しばらくするとコピー画面に戻ります。

### 補足

- ・登録されている内容を確認するときはプログラムを呼び出します。
- ・上書きをしたとき、登録されていたプログラムは消去されます。

## 登録した内容を消去する

プログラムの内容を消去します。

- 1 [プログラム] キーを押します。
- 2 [消去] を押します。



- 3 消去するプログラム No. を選択します。
- 4 [消去する] を押します。

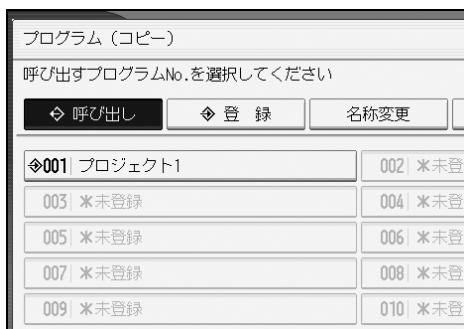
プログラムが消去されて、コピー画面に戻ります。

## 登録した内容を呼び出す

登録したプログラムの内容を呼び出して、その状態でコピーします。

1 [プログラム] キーを押します。

2 [呼び出し] を押します。



2

3 呼び出すプログラム No. を押します。

登録されているプログラムが呼び出され、内容が表示されます。



### 補足

- 手順 2 で、△が表示されていない No. にはプログラムは登録されていません。

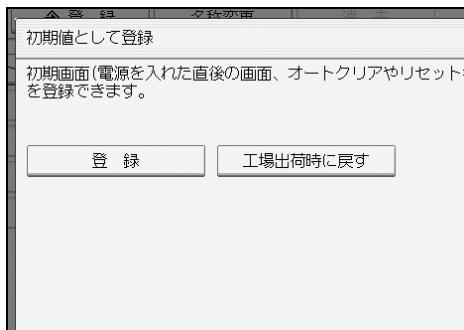
## 初期画面の初期値を登録する

電源を入れた直後、オートクリアしたとき、またはリセットしたときに表示される初期画面を設定します。

初期値として登録可能な設定は、給紙トレイ、原稿種類、濃度、特殊原稿設定、原稿セット方向、編集 / 印字、集約、変倍、仕上げ、印刷位置調整、カット長さ、コピー排紙先、コピー枚数です。

2

- 1 コピー画面で、登録する機能を設定します。
- 2 [プログラム] キーを押します。
- 3 [初期値として登録] を押します。
- 4 [登録] を押します。



- 5 確認画面が表示されますので、[登録する] を押します。

現在の設定が初期値として登録され、初期画面に戻ります。

### 補足

- ・[工場出荷時に戻す] を押すと、初期画面の初期値を工場出荷時の状態に戻すことができます。
- ・初期画面の初期値は、通常画面と簡単画面で別々に登録できます。

# 3. ドキュメントボックスの操作

ドキュメントボックスを使うと、文書を本機のハードディスクに蓄積しておき、あとから必要な条件で印刷することができます。

## 各機能とドキュメントボックスの関係

3

使用する機能によって、ドキュメントボックスの状態が変わります。

### ◆ コピー機能

- ・蓄積方法：コピー／ドキュメントボックス
- ・一覧表示：表示される
- ・印刷：可
- ・送信：不可

### ◆ プリンター機能

- ・蓄積方法：パソコン
- ・一覧表示：表示される
- ・印刷：可
- ・送信：不可

### ◆ スキャナー機能

- ・蓄積方法：スキャナー
- ・一覧表示：表示されない  
スキャナー機能から蓄積した文書はスキャナー機能画面で確認できます。
- ・印刷：不可
- ・送信：可  
スキャナー機能の蓄積文書送信を使って送信します。

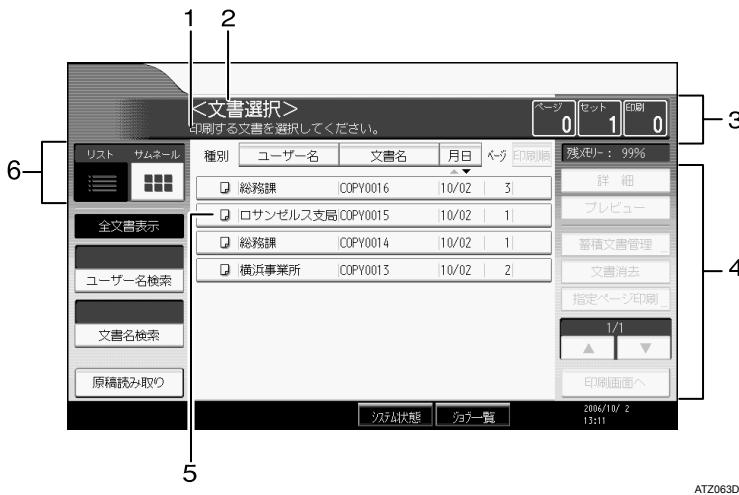
### 参考

- ・P.136 「ドキュメントボックスに原稿を蓄積する」
- ・『スキャナー機能編』「スキャナー機能を使って文書を蓄積する」
- ・『プリンター機能編』「ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する」

## ドキュメントボックス画面について

ドキュメントボックス機能で表示される画面とアイコンについて説明します。

### ◆ ドキュメントボックス初期画面



ATZ063D

- 操作の状態やメッセージが表示されます。
- 現在選択されている画面のタイトルが表示されます。
- メモリーで読み取った原稿枚数、セットした枚(部)数、コピーした枚(部)数が表示されます。
- 操作のためのキーが表示されます。
- 蓄積した機能が表示されます。
- 蓄積文書の表示方法を、リストまたはサムネールに切り替えます。サムネール表示では蓄積文書のイメージが縮小されて表示されるため、文書を確認するのに便利です。

ドキュメントボックスの一覧表示では、蓄積した機能によって、次のアイコンが表示されます。

機能	コピー	プリンター
アイコン		

#### 補足

- セキュリティ機能の設定によっては、すべての蓄積文書が表示されない場合があります。

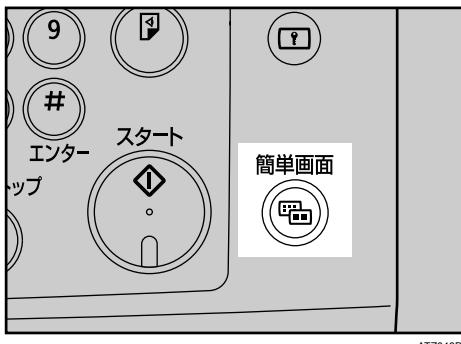
## 簡単画面について

簡単画面への切り替え方法や、表示されるキーについて説明します。

[簡単画面] キーを押すとドキュメントボックス初期画面から簡単画面に切り替わります。

簡単画面とは、主な機能のみを表示した画面です。

文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作することができます。



ATZ048D

### ◆ ドキュメントボックス簡単画面



ATZ064D

#### 1 [キー色反転]

キーの色を変更し、画面のコントラストを強めたいときに押します。

ドキュメントボックス初期画面には適用されません。

#### 補足

- ドキュメントボックス初期画面に切り替えたいときは、再度 [簡単画面] キーを押してください。
- 簡単画面では表示されないキーがあります。

## プレビュー画面について

プレビュー画面の表示方法や、表示される項目について説明します。

プレビュー画面とは、読み取った文書の内容を確認できる画面です。

プレビュー画面を表示するには、ドキュメントボックス初期画面でプレビューしたい文書を選択し、[プレビュー] を押します。詳しくは『スキャナー機能編』「蓄積した文書の一覧表示について」を参照してください。

### ◆ プレビュー画面

3



#### 1 [←] [→] [↑] [↓]

表示する部分を移動します。

#### 2 [縮小表示]、[拡大表示]

文書を縮小または拡大して表示します。

#### 3 [閉じる]

プレビュー画面を閉じます。

#### 4 表示文書

文書名が表示されます。

蓄積文書のプレビュー画面では [表示文書切り替え] が表示されます。複数の文書を選択してプレビュー表示したときに表示する文書を切り替えます。

#### 5 表示ページ

表示ページ番号と総ページ数、ページサイズが表示されます。

#### 6 [表示ページ切り替え]

選択した文書の表示ページを変更します。

#### 7 表示位置

画像を拡大したときに、プレビューに表示されている画像の位置を示します。

 **補足**

- ・他機能でプレビューを選択しているときに、プレビュー画面機能が利用できない場合があります。
- ・画像ファイルが壊れたり、A2 より大きな原稿を蓄積した場合はプレビュー表示されません。画像ファイルが壊れているときは、蓄積し直してください。

 **参照**

- ・『スキャナー機能編』「蓄積した文書の一覧表示について」

# ドキュメントボックスを使う

ドキュメントボックスの使用方法を説明します。

## 文書を蓄積する

ドキュメントボックスに文書を蓄積します。

### ★重要

3

- ・万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ・パスワード入力時やパスワードを忘れないために記録するときは、他人にのぞかれないように注意してください。また、記録紙の保管も十分注意してください。
- ・パスワードは、4桁から8桁までの間で入力してください。
- ・パスワード設定時は、「0000」などの同じ数字や「1234」などの連續した数字は使用しないでください。これらの番号は容易に想像されるため、適切なセキュリティ強度が得られないことがあります。
- ・正しいパスワードを入力して選択した文書は、操作後も選択が維持されるため、パスワードを知らなくても操作できてしまいます。操作後は必ず【リセット】キーを押して、文書の選択を解除してください。
- ・ドキュメントボックスの蓄積文書に登録するユーザー名は、文書の作成者や性質を区別するための機能です。機密文書保護として有効ではありません。
- ・スキャナーによる原稿読み取りを行うときは、全ての動作が完了したことを確認してください。

### ◆文書名

読み取った文書には「COPY0001」「COPY0002」と文書名が自動的に付けられます。文書名は変更することができます。

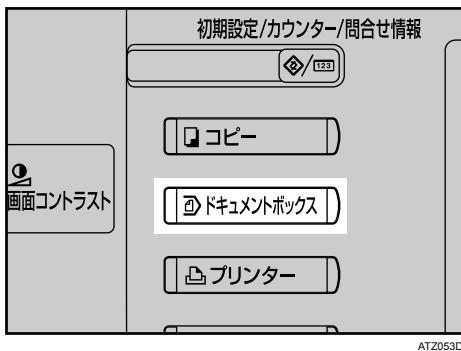
### ◆ユーザー名

蓄積した人や部門がわかるようにユーザー名を設定することができます。ユーザー名には「アドレス帳登録/変更/消去」で登録した名前を指定する方法と、名称を入力して設定する方法があります。

### ◆パスワード

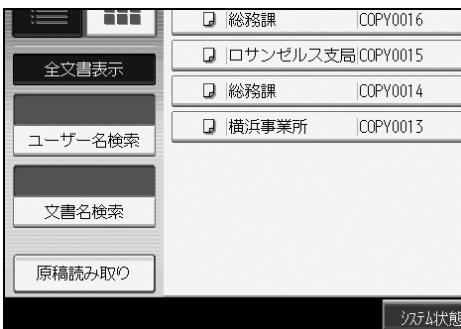
蓄積する文書にはパスワードを設定することができます。パスワードを設定した文書は、印刷するときにパスワードを入力する必要があります。そのため、不特定の人に印刷されることはありません。パスワードが設定されている文書には、カギマークが付きます。

1 [ドキュメントボックス] キーを押します。



3

2 [原稿読み取り] を押します。



3 必要に応じてユーザー名、文書名、パスワードの設定をします。  
文書名を変更しないときは、自動で文書名が設定されます。

4 原稿の読み取り条件を設定します。

5 原稿をセットします。

原稿が自動的に読み込まれます。

システム初期設定の「原稿送り開始方法」で「スタートキー押下」を設定しているときは、[スタート] キーを押します。

原稿が複数枚あるときは、続けて読み込みます。

6 原稿の読み取りが終了したら、[読み取り終了] を押します。



ドキュメントボックスに文書が保存されます。

 **補足**

- ・読み取りを中断するときは【クリア／ストップ】キーを押します。表示された確認画面で【継続】を押すと読み取りが再開され、【中止】を押すと読み取り済みの画像が消去され、原稿は排出されます。
- ・パスワードを設定すると、文書名の左側にカギマークが表示されます。
- ・工場出荷時の設定では、ドキュメントボックスに蓄積された文書は、蓄積してから3日(72時間)後に消去されます。文書の自動消去をしない、あるいは一定日数経過後に自動的に消去するように設定を変えることができます。『初期設定編』「管理者用設定-ドキュメントボックス蓄積文書自動消去」を参照してください。
- ・自動的に削除したくない文書をドキュメントボックスに蓄積したいときは、「管理者用設定-ドキュメントボックス蓄積文書自動消去」の設定を「しない」にしてから文書を蓄積してください。その後で「ドキュメントボックス蓄積文書自動消去」を「する」に設定すると、設定後に蓄積した文書に対しては「ドキュメントボックス蓄積文書自動消去」が有効になります。
- ・コピー機能で文書を蓄積したあとにドキュメントボックス機能で蓄積したいときは、コピーが終了してから行ってください。
- ・セキュリティの設定によっては、【ユーザー名】が【アクセス権】と表示される場合があります。
- ・【アクセス権】の設定手順について詳しくは、管理者にお問い合わせください。
- ・ユーザー名と文書名は全角10文字、半角20文字まで入力できますが、一覧で表示される文書名は全角8文字、半角16文字までです。文字数を超えると、全角7文字、半角15文字までしか表示されません。
- ・文字の入力方法については、『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」を参照してください。

 **参照**

- ・P.136 「ドキュメントボックスに原稿を蓄積する」
- ・『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」
- ・『初期設定編』「システム初期設定-管理者用設定」

## ユーザー名を登録／変更する（アドレス帳に登録されているユーザー名を使うとき）

蓄積文書に付けるユーザー名を登録、または変更します。

1 原稿読み取りの画面を表示させます。

2 [ユーザー名] を押します。



3

ユーザー名を入力する画面が表示されます。

3 ユーザー名を選択し、[OK] を押します。

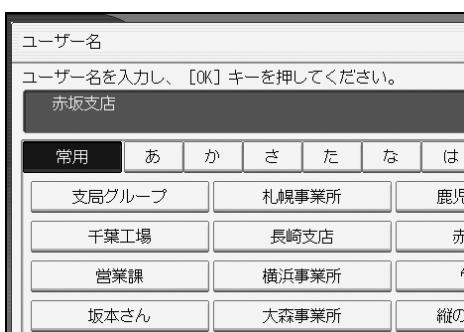
## ユーザー名を登録／変更する（アドレス帳に登録されていないユーザー名を使うとき）

蓄積文書に付けるユーザー名を登録、または変更します。

1 原稿読み取りの画面を表示させます。

2 [ユーザー名] を押します。

3 ユーザー名を選択し、[登録外文字列] を押します。



ユーザー名変更の画面が表示されます。

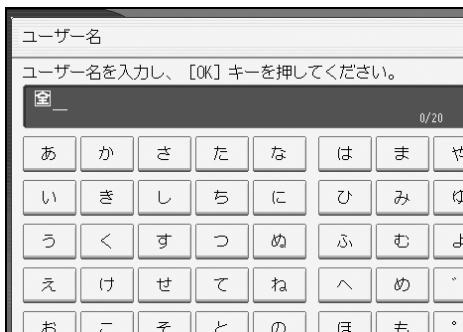
4 ユーザー名を入力し、[OK] を 2 回押します。

## ユーザー名を登録／変更する（アドレス帳にユーザー名が1件も登録されていないとき）

蓄積文書に付けるユーザー名を登録、または変更します。

- 1 原稿読み取りの画面を表示させます。
- 2 [ユーザー名] を押します。
- 3 ユーザー名を入力し、[OK] を押します。

3



## 文書名を変更する

蓄積文書に付ける文書名を変更します。

- 1 原稿読み取りの画面を表示させます。
- 2 [文書名] を押します。



文書名変更の画面が表示されます。

- 3 [全消去] を押して、自動的に設定される文書名を消去します。
- 4 文書名を入力し、[OK] を押します。

**補足**

- ・手順 3では、[後退] を押して、任意の箇所まで消去することもできます。

## パスワードを設定／変更する

蓄積文書に付けるパスワードを設定、または変更します。

1 原稿読み取りの画面を表示させます。

2 [パスワード] を押します。



3

3 テンキーでパスワードを入力し、[OK] を押します。

パスワードは 4 行から 8 行まで指定できます。

4 確認用にもう一度テンキーでパスワードを入力し、[OK] を押します。

## 蓄積文書のユーザー名、文書名、パスワードを変更する

ドキュメントボックスに蓄積されている文書に付いているユーザー名、文書名、パスワードを変更します。

- 1 [ドキュメントボックス] キーを押します。
- 2 ユーザー名、文書名、またはパスワードを変更する文書を選択します。

3



パスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。

- 3 [蓄積文書管理] を押します。
- 4 [ユーザー名変更]、[文書名変更]、または [パスワード変更] を押します。



- 5 それぞれの変更画面で新しいユーザー名、文書名、またはパスワードを入力して [OK] を押します。
- 6 [OK] を押します。

### 補足

- ・セキュリティの設定によっては、[ユーザー名] が [アクセス権] と表示される場合があります。
- ・[アクセス権] の設定手順について詳しくは、管理者にお問い合わせください。
- ・文字の入力方法については、『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」を参照してください。
- ・選択を取りやめる場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

### 参照

- ・『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」

## 蓄積文書の詳細を表示する

蓄積文書の詳細を表示して確認します。

### 1 詳細を表示する文書を選択します。

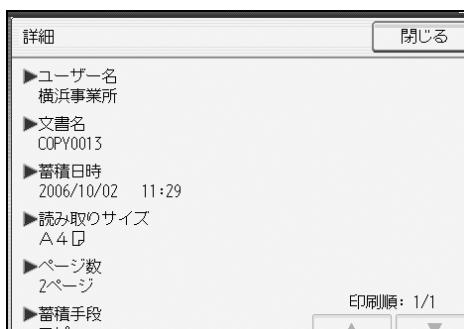


3

パスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。

### 2 [詳細] を押します。

文書の詳細が表示されます。



#### 補足

- 複数の文書を選択しているときは [▲] [▼] で順番に文書の情報を見ることができます。
- [閉じる] を押すと、文書選択画面に戻ります。
- 選択を取りやめる場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

## 蓄積文書を検索する

蓄積されている文書を、文書名またはユーザー名から検索します。

蓄積された順で並んでいる文書データ一覧を好みの順番に並び替えることもできます。

### ◆文書名で検索する

蓄積されている文書を、文書名から検索します。

### ◆ユーザー名で検索する

蓄積されている文書を、ユーザー名から検索します。

3

#### 補足

- ・文字の入力方法については、『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」を参照してください。

#### 参照

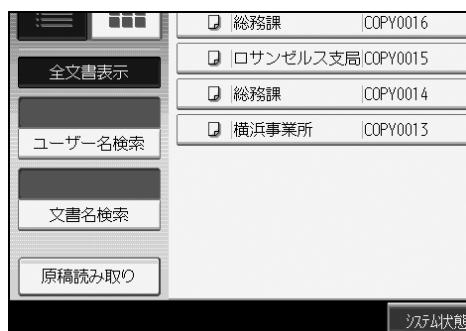
- ・『本機のご利用にあたって』「文字の入力のしかた」

## 文書名で検索する

蓄積されている文書を、文書名から検索します。

1 [ドキュメントボックス] キーを押します。

2 [文書名検索] を押します。



3 検索する文書名を入力し、[OK] を押します。

先頭文字から完全一致する文書名を検索し、文書選択の画面に表示します。

#### 補足

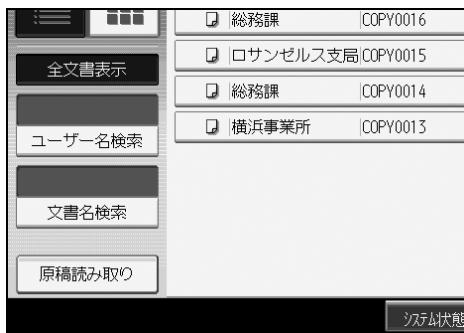
- ・[全文書表示] を押すと、蓄積されているすべての文書が表示されます。

## ユーザー名で検索する

蓄積されている文書をユーザー名から検索します。

1 [ドキュメントボックス] キーを押します。

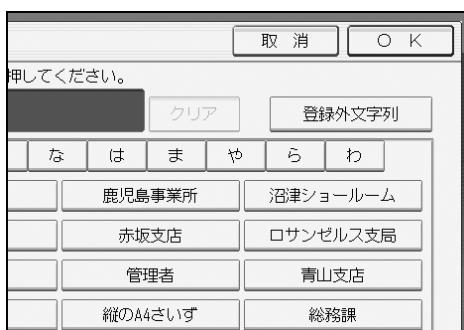
2 [ユーザー名検索] を押します。



3

3 登録されているユーザー名を指定するときは、ユーザー名を選択します。  
登録されていないユーザー名のときは、次の手順に進んでください。

4 登録されていないユーザー名のときは、[登録外文字列] を押し、表示される入力画面でユーザー名を入力して [OK] を押します。



5 [OK] を押します。

先頭文字から完全一致する文書名を検索し、文書選択の画面に表示します。

補足

- ・[全文書表示] を押すと、蓄積されているすべての文書が表示されます。

## 蓄積文書を印刷する

蓄積されている文書を印刷します。

### 1 印刷する文書を選択します。

パスワードが設定されているときは、パスワードを入力して [実行] を押します。

### 2 複数の文書をまとめて印刷するときは、印刷する順に手順 1 の操作を繰り返します。

30 文書まで指定できます。

3

### 3 印刷条件を設定するときは [印刷画面へ] を押します。

印刷条件の画面が表示されます。文書のユーザー名、文書名、およびこの文書の印刷順が表示されます。



### 4 印刷部数をテンキーで入力します。



99 部まで指定できます。

### 5 [スタート] キーを押します。

印刷が始まります。

▼ 補足

- 手順 1 で、画面左上の [ユーザー名検索] または [文書名検索] で目的の文書を検索することができます。
- 手順 1 で、表示順欄で文書を [ユーザー名]、[文書名]、[月日] ごとにソートすることができます。ソートしたい項目を押してください。
- 手順 1 で選択を取りやめる場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。
- 選択した複数の文書でサイズや解像度が異なっていると、印刷できない場合があります。
- 順番を変えたいときは、反転表示を解除させてから正しい順番で指定し直してください。
- [リセット] キーを押すと、すべての選択が解除されます。
- [印刷順] を押すと選択した文書が印刷順に並んで表示されます。
- コピー、プリンター機能では、設定した印刷条件が印刷終了後も記憶され、次の印刷時に適用されます。
- 複数の文書を指定した場合、最初の文書には印刷条件が記憶されますが、それ以外の文書には印刷条件が記憶されません。
- 印刷条件には次の設定項目があります。それぞれの印刷結果については「コピー機能」を参照してください。
  - 変倍（ズーム、微調変倍、用紙指定変倍）
  - 印字（機密管理ナンバーリング、スタンプ印字、ユーザースタンプ印字、日付印字、ページ印字）
  - 印刷位置調整
  - 仕上げ（ソート、回転ソート）
  - フリーカット
  - 印刷排紙先
  - 印刷濃度
- ソート機能を選択して複数部数を印刷するときは、1 部だけ印刷して仕上がりを確認することができます。
- 複数の文書を一度に印刷するときは、印刷の順番を指定すると一つにまとめて印刷することができます。
- 複数の文書を一度に印刷するときは、最初に印刷される文書の印刷条件がすべての文書に対して適用されます。
- 複数の文書を選択した場合、[▲] [▼] を押して手順 1 で選択した文書のユーザー名、文書名、印刷順を確認することができます。
- [文書選択] を押すと文書選択の画面に戻ります。
- ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスの文書を印刷することもできます。Web Image Monitor の立ち上げ方については「ドキュメントボックスの文書を Web Image Monitor で表示する」を参照してください。

■ 参照

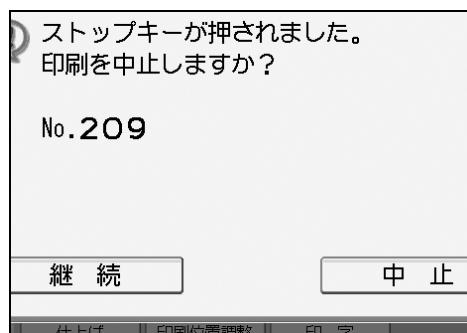
- P.64 「コピー機能」
- P.156 「蓄積文書を検索する」
- P.165 「蓄積文書を Web Image Monitor で表示する」

## 印刷を中止する

印刷を途中で止めます。

1 印刷中に [クリア／ストップ] キーを押します。

2 [中止] を押します。



## 印刷中に印刷部数を変更する

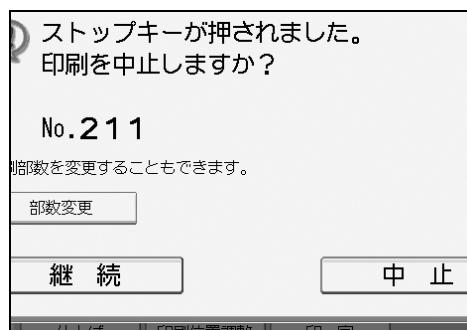
印刷を開始してから、印刷部数を変更します。

★重要

- 印刷条件で、ソート機能を選択している場合に有効です。

1 印刷中に [クリア／ストップ] キーを押します。

2 [部数変更] を押します。



3 テンキーで新たに印刷部数を入力します。

4 [#] キーを押します。

5 [継続] を押します。

印刷が再開します。

↓ 補足

- 手順 3で入力できるコピー部数の範囲は、[クリア／ストップ] キーを押すタイミングにより異なります。

## 試し印刷

印刷部数が多いときは、選択した文書の順番や印刷条件が適切かどうかを確認するために、1部だけを先行して印刷できます。

### ★重要

- 印刷条件で、ソート機能を選択している場合に有効です。

### 1 印刷する文書を選択します。

3

パスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。

### 2 [試しコピー] キーを押します。

1部だけ印刷されます。

### 3 [継続] を押します。

印刷が再開します。

### ↓ 補足

- 印刷を中止するときは、[中断] を押してください。印刷画面が表示されますので、設定し直してください。

## 先頭ページ印刷

文書選択画面で選択した文書の1ページ目だけを印刷して内容を確認できます。複数の文書を選択したときは、各文書の1ページ目が印刷されます。

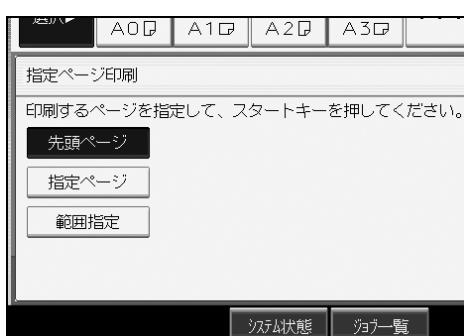
### 1 印刷（確認）する文書を選択します。

パスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。

### 2 [指定ページ印刷] を押します。

### 3 [先頭ページ] を押します。

3



### 4 [スタート] キーを押します。

## 指定ページ印刷

文書選択画面で選択した文書の指定したページだけを印刷できます。

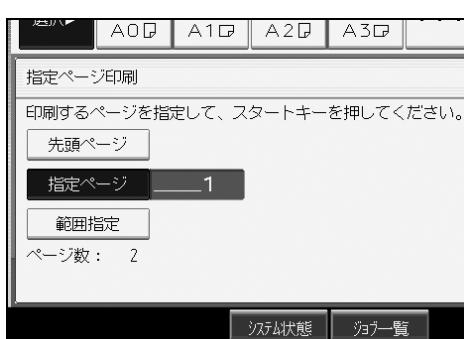
### 1 印刷する文書を選択します。

パスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。

### 2 [指定ページ印刷] を押します。

### 3 [指定ページ] を押します。

### 4 印刷するページをテンキーで指定し、[#] を押します。

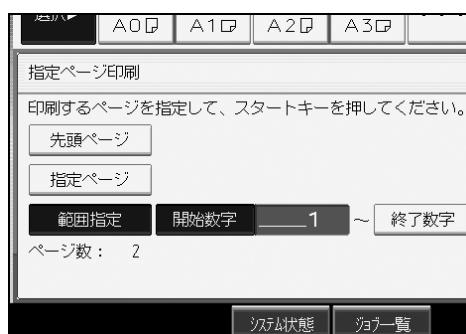


### 5 [スタート] キーを押します。

## 範囲指定印刷

文書選択画面で選択した文書の指定した範囲のページだけを印刷できます。

- 1 印刷する文書を選択します。  
パスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。
- 2 [指定ページ印刷] を押します。
- 3 [範囲指定] を押します。
- 4 印刷を開始するページをテンキーで指定し、[#] を押します。



- 5 印刷を終了するページをテンキーで指定し、[#] を押します。
- 6 [スタート] キーを押します。

3

## 蓄積文書を消去する

蓄積されている文書を消去します。

### ★ 重要

- ドキュメントボックスに蓄積できる文書数は3000件までです。蓄積している文書が3000件に達すると、新しい文書が蓄積されなくなりますので、不要になった文書はできるだけ削除してください。

3

1 [ドキュメントボックス] キーを押します。

2 消去する文書を選択します。

パスワードが設定されているときは、パスワードを入力して [実行] を押します。

3 [文書消去] を押します。



4 [消去する] を押します。

### ↓ 補足

- 保存されている文書をすべて一括して削除できます。『初期設定編』「管理者用設定-ドキュメントボックス蓄積文書一括消去」を参照してください。
- 複数の文書を選択して、消去することもできます。
- 画面左上の「文書名検索」、または「ユーザー名検索」で目的の文書を検索することができます。
- 表示順欄で文書を「ユーザー名」、「文書名」、「月日」ごとにソートすることができます。ソートしたい項目を押してください。
- 文書名から目的の文書が判別できないときは、文書の1ページ目だけを印刷して確認できます。
- 選択を取りやめる場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。
- ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスの文書を削除することができます。Web Image Monitor の立ち上げ方については「ドキュメントボックスの文書を Web Image Monitor で表示する」を参照してください。

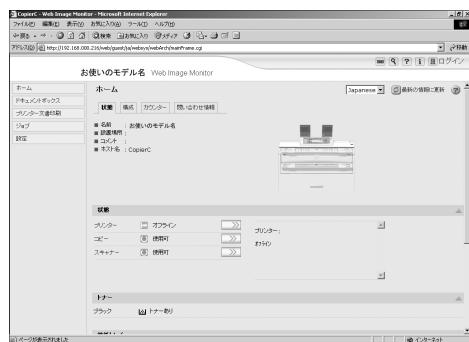
### 参照

- P.165 「蓄積文書を Web Image Monitor で表示する」
- 『初期設定編』「システム初期設定-管理者用設定」

# 蓄積文書を Web Image Monitor で表示する

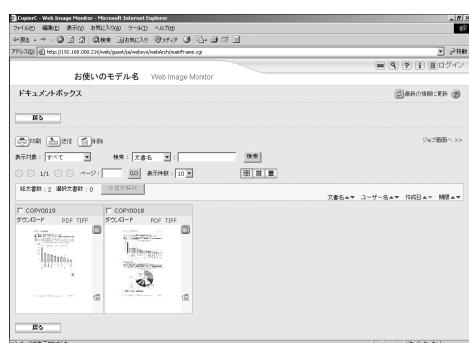
Web Image Monitor を使用して、蓄積文書の内容をパソコンの画面で確認します。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 アドレスに「[http://\(本機のIPv4アドレス\) /](http://(本機のIPv4アドレス)/)」と入力します。  
Web Image Monitor のトップページが表示されます。



3

- 3 [ドキュメントボックス] をクリックします。  
ドキュメントボックスの文書一覧が表示されます。
- 4 確認したい文書の (プロパティ) アイコンをクリックします。  
文書の情報が表示されます。



- 5 文書の内容を確認します。



 **補足**

- 手順 3 で、文書の一覧は表示形式を変更できます。 (サムネール)、 (アイコン)、 (詳細) から選択してください。
- 手順 5 でさらに大きくプレビュー表示したいときは、[拡大表示] をクリックします。

---

## 蓄積文書をダウンロードする

---

Web Image Monitor を使用して、蓄積文書をパソコンにダウンロードします。

**3**

 **重要**

- コピーで蓄積した文書のダウンロードには、拡張データ変換ボードが必要です。

**1** Web ブラウザを起動します。

**2** アドレスに「[http://\(本機のIPv4アドレス\)/](http://(本機のIPv4アドレス)/)」と入力します。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

**3** [ドキュメントボックス] をクリックします。

ドキュメントボックスの文書一覧が表示されます。

**4** ダウンロードしたい文書の (プロパティ) アイコンをクリックします。

**5** ファイル形式を、[PDF] または [TIFF] から選択し、[ダウンロード] をクリックします。

データがダウンロードされます。

**6** [OK] をクリックします。

 **補足**

- 手順 3 で、文書の一覧は表示形式を変更できます。 (サムネール)、 (アイコン)、 (詳細) から選択してください。

- ドキュメントボックスの文書一覧で、ダウンロードしたい文書名の右下にある [PDF] か [TIFF] をクリックすると、選択した文書の全ページをまとめてダウンロードできます。

# 4. 付録

コピー機の仕様や機能組み合わせ一覧について説明します。

## 仕様

コピー機能の仕様について説明します。

4

形式	デスクトップ
複写方式	デジタル乾式静電転写方式
原稿種類	シート原稿
原稿サイズ（幅×長さ）	210×210mm～914×15000mm
複写サイズ（幅×長さ）	A4口～A0口 手差しテーブル：210×257mm～914×2000mm 給紙ユニット：210×279mm～914×15000mm <sup>*1</sup>
複写倍率	等倍：100% 縮小：25.0、35.4、50.0、70.7% 拡大：141.4、200.0、282.8、400.0% ズーム：25.0～400.0%、0.1% 刻み
連続複写速度（等倍時）	2cpm (A0口)、4cpm (A1口) / 3cpm (A0口)、6cpm (A1口)
ウォームアップタイム	2分以内 (23°C、100V)
ファーストコピータイム <sup>*2</sup>	給紙ユニット <sup>*3</sup> ：18秒以下 手差しテーブル：31秒以下
画像欠け幅	先端：8mm 後端：8mm 左右：2±2mm (左右合計5mm以下)
連続複写	1～99枚
給紙方法	手差しテーブル、給紙ユニット1段または2段、カセット

<sup>\*1</sup> 841mm 幅以上の普通紙 70g/m<sup>2</sup>(60kg) の場合は 15000mm まで、それ以外の用紙の場合は 3600mm までです。

<sup>\*2</sup> 原稿の動き出し再スタートから測定を開始

<sup>\*3</sup> A1口、下排紙選択時

# 機能組み合わせ一覧

コピー機能は、設定する順番によって、組み合わせの可能・不可能が変わります。

空欄：組み合わせ可

×：組み合わせ不可（先に設定した機能が優先）

●：組み合わせ不可（後に設定した機能が優先）

機能の組み合わせは次のとおりです。

後に設定する機能名	先に設定する機能名																																		
	不特定原稿	最大幅読み取り	原稿方向（読みない方向）	自動濃度	手動濃度	自動用紙選択	手動用紙選択	自動用紙選択	手動用紙選択	手差しコピー	シンクロカット	フリーカット	定寸カット	用紙指定変倍	ズーム/独立変倍%/独立変倍mm	オートモード変倍	集約	ダブルコピー	リピート	印刷位置調整	白黒反転	枠消去	内消去	外消去	ミラー	余白	フォーマット合成/登録フォーマット合成	部分コピー	機密管理ナンバリング	スタンプ印字	ユーザースタンプ印字	日付印字	ページ印字	ソート	回転ソート
不特定原稿	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
最大幅読み取り	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
原稿方向（読みない方向）																																			
自動濃度																																			
手動濃度																																			
自動用紙選択	●●																																		
手動用紙選択：ロール紙		●																																	
手動用紙選択：カット紙			●																																
手差しコピー	×			●																															
シンクロカット	×				●																														
フリーカット						●																													
定寸カット							●																												
用紙指定変倍	×						●																												
ズーム/独立変倍%/独立変倍mm								●																											
オートモード変倍	×	×						●																											
集約									●																										
ダブルコピー									●																										
リピート										●																									
印刷位置調整											●																								
白黒反転												●																							
枠消去												●																							
内消去													●																						
外消去													●																						
ミラー														●																					
フォーマット合成/登録フォーマット合成														●																					
余白														●																					
部分コピー															●																				
機密管理ナンバリング																●																			
スタンプ印字																	●																		
ユーザースタンプ印字																		●																	
日付印字																		●																	
ページ印字																			●																
ソート																			●																
回転ソート																				●															
文書蓄積（ドキュメントボックス）																					●														

\*1 選択されているトレイに該当する定寸サイズがない場合は、先に設定した機能が優先されます。

\*2 独立変倍%または独立変倍mmを選択した場合は、先に選択した機能が優先されます。

\*3 独立変倍%または独立変倍mmを選択した場合は、後に選択した機能が優先されます。

# 各機能の仕様補足

各機能の詳細仕様を説明します。

## ◆ 予約コピー

- ・予約コピーで読み取りが可能な原稿枚数はコピー中の原稿と同一サイズの場合、次のとおりです。

用紙サイズ	可能枚数
A0	100 枚
A1	100 枚
A2	200 枚
A3	400 枚
A4	400 枚

- ・予約は最大 8 件できます。
- ・原稿によっては、予約件数が最大になっていなくても、予約できないことがあります。

## ◆ 手差しコピー

- ・選択できる用紙サイズは 210-914mm×257-2,000mm です。

## ◆ 用紙選択

- ・用紙選択の種類を変更したときは、コピーできるまでに時間がかかることがあります。
- ・自動用紙選択では、原稿を読み取った後に用紙を選択するため、コピー終了までの時間が多少長くなります。

## ◆ 拡大 / 縮小コピー

- ・指定できる倍率は 25.0-400.0% です。
- ・8 つの固定倍率（4 つの拡大率と 4 つの縮小率）があります。
- ・固定倍率と原稿、用紙サイズの関係は次のとおりです。

倍率 (%)	原稿→用紙
400 (面積比 16 倍)	A4 → A0
282.8 (面積比 8 倍)	A3 → A0、A4 → A1、B4 → B1
200.0 (面積比 4 倍)	A2 → A0、A3 → A1、A4 → A2、B3 → B1、B4 → B2
141.4 (面積比 2 倍)	A1 → A0、A2 → A1、A3 → A2、A4 → A3、B2 → B1、B3 → B2、B4 → B3
70.7 (面積比 $1/2$ 倍)	A0 → A1、A1 → A2、A2 → A3、A3 → A4、B1 → B2、B2 → B3、B3 → B4
50 (面積比 $1/4$ 倍)	A0 → A2、A1 → A3、A2 → A4、B1 → B3、B2 → B4
35.4	A0 → A3、A1 → A4、B1 → B4
25	A0 → A4

- ・原稿サイズ、用紙サイズやロール紙のカット方法に関係なく倍率を指定できますが、倍率によっては画像が欠けたり、余白ができることがあります。

#### ◆ ズーム

- ・指定できる倍率は 25.0-400.0% です。
- ・原稿サイズ、用紙サイズやロール紙のカット方法に関係なく倍率を指定できますが、倍率によっては画像が欠けたり、余白ができることがあります。

#### ◆ 寸法変倍

- ・倍率は 25.0-400.0% の範囲で設定されます。
- ・計算された倍率が 25% 未満のときは 25.0% に、400% を超えるときは 400.0% に補正されます。

#### ◆ 独立変倍%

- ・指定できる倍率は 25.0-400.0% です。
- ・原稿や用紙サイズに関係なく倍率を指定できますが、設定や状態によっては画像が欠けたり、余白ができることがあります。
- ・自動用紙選択を指定しているときは、独立変倍は設定できません。

4

#### ◆ 独立変倍 mm

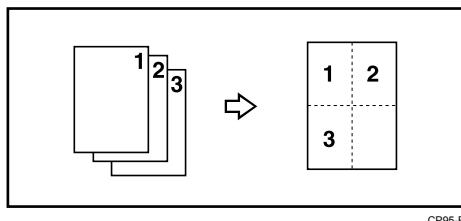
- ・長さを入力して指定できる倍率は 25.0-400.0% です。
- ・計算された倍率が 25% 未満のときは 25.0% に、400% を超えたときは 400.0% に補正されます。このとき画像が欠けたり、余白ができることがあります。
- ・自動用紙選択を指定しているときは、独立変倍は設定できません。

#### ◆ 微調変倍

- ・微調変倍を設定したとき、原稿の画像パターンによっては、モアレが目立ったり、画像の再現性が低下することがあります。

#### ◆ 集約

- ・用紙サイズと集約数に合わせて自動的に倍率を設定しコピーします。
- ・計算された縮小率が指定できる最小倍率以下のときは、最小倍率に補正されます。このとき画像が欠けることがあります。
- ・不定形サイズの原稿は使用できません。
- ・用紙の方向と原稿の方向が異なるときは、自動的に画像を 90 度回転してコピーします。
- ・原稿枚数が設定した集約数より少ないとときは、次のように空白になります。



CP95-B

#### ◆ 枠消去

- ・消去幅は 2-99mm の範囲内で 1mm 単位で指定します。

#### ◆ 内消去

- ・「内消去 1」-「内消去 5」を組み合わせて、同時に 5 力所消去することができます。

#### ◆ 余白

- ・余白は、0-200mm の範囲で 1mm 単位で指定します。
- ・設定した余白幅が大きすぎると画像が欠けてコピーされることがあります。

#### ◆ 機密管理ナンバリング

- 原稿の画像と重なった部分に模様のような画像が現れることがあります。

#### ◆ スタンプ印字

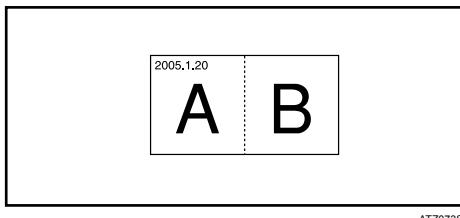
- A0までの用紙に印字します。
- 印字するスタンプの大きさや透かしのパターンを変更することができます。設定によっては、画像の濃さが変わることがあります。
- スタンプのサイズを変更したときは、用紙サイズによってはスタンプが正しく印字されないことがあります。
- スタンプ位置を「左下」／「中央下」／「右下」に設定して回転コピーまたは回転ソートをすると、スタンプ位置がずれことがあります。

#### ◆ ユーザースタンプ印字

- A0までの用紙に印字します。

#### ◆ 日付印字

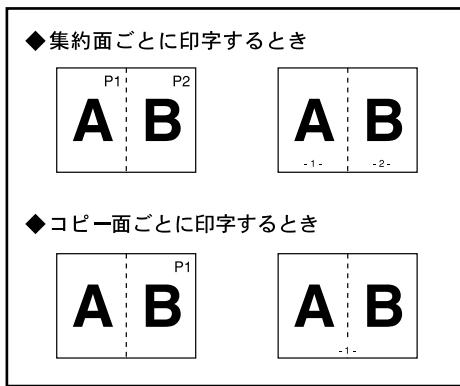
- A0までの用紙に印字します。
- 集約と組み合わせたときは、次のように印字されます。



ATZ073S

#### ◆ ページ印字

- A0までの用紙に印字します。
- 集約と組み合わせたときは、次のように印字されます。



ATZ072S

#### ◆ リピート

- 用紙サイズ、変倍率、用紙の方向によって、リピートした画像が欠けることがあります。
- A0までのコピーができます。
- リピートと印刷位置調整を組み合わせると、リピートされた用紙全体に対して移動を行います。

#### ◆ ダブルコピー

- A1までの画像をコピーできます。使用できる用紙はA0口までです。

#### ◆ フォーマット合成

- ・フォーマット原稿（背景原稿）と、合成する原稿のサイズが異なっているときには、合成する原稿の読み込み原稿画像サイズに合わせて合成されます。
- ・合成可能な用紙サイズは A0 までです。
- ・フォーマット原稿（背景原稿）は読み取りのときに画像がかずれることができます。かずれるときは原稿をコピーし、コピー出力したものを原稿にしてください。
- ・フォーマット合成を行うと、画像の再現性が低下することがあります。かずれてコピーされるときは、原稿をコピーし、コピー出力したものを原稿にしてください。

#### ◆ 印刷位置調整

- ・移動幅は 0-200mm の範囲で 1mm 単位で指定します。
- ・印字と印刷位置調整を組み合わせて設定している場合、印字位置は移動しません。
- ・印刷位置調整できる用紙サイズは、A0 までです。
- ・設定した移動幅が大きすぎると画像が欠けてコピーされることがあります。

4

#### ◆ ソート、回転ソート

- ・ソートできる用紙サイズは、A0 までです。
- ・回転ソートできる用紙サイズは、A1 までです。
- ・回転ソートで使用できる用紙は次の組み合わせです。
  - ・420mm×297mm (A3)
  - ・594mm×420mm (A2)
  - ・841mm×594mm (A1)
  - ・515mm×364mm (B3)
  - ・728mm×515mm (B2)
- ・ソート、回転ソートで読み取りが可能な原稿枚数は次のとおりです。

用紙サイズ	可能枚数
A0 *1	100 枚
A1	100 枚
A2	200 枚
A3	400 枚

\*1 回転ソートはできません。

## 機能別読み取りサイズ一覧

印刷位置調整、余白、編集、印字機能を設定したときの、読み取りサイズの制限は次のとおりです。

印刷位置調整		A0 以下
余白		15m 以下
フォーマット合成		A0 以下
消去	内消去	A0 以下、5 力所まで
消去	外消去	A0 以下
消去	枠消去	A0 以下
消去	内、枠消去とフォーマット合成との組み合わせ	A0 以下
消去	外消去とフォーマット合成との組み合わせ	A0 以下
白黒反転		15m 以下
ミラー		15m 以下
ダブルコピー		A1 以下 (A0 用紙選択時)
リピート	他との組み合わせなし	A0 以下
リピート	枠消去と組み合わせ	A0 以下
リピート	フォーマット合成と組み合わせ	A0 以下
印字		A0 以下

# 登録控えフォーマット

本機に登録したプログラム、ユーザースタンプ、フォーマットの詳細を記録するために使用します。

## ◆ プログラム登録控え

プログラム No.	原図名称		機能 1	機能 2	機能 3	機能 4	機能 5			
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

※このフォーマットを印刷してご使用ください。

## ◆ フォーマット登録控え

フォーマット No.	原図名称	備考	登録年月日	登録者
1				
2				
3				
4				

※このフォーマットを印刷してご使用ください。

## ◆ ユーザースタンプ登録控え

登録No.	会社名／部署名／プロジェクト名等	登録した印	登録年月日	登録者
1				
2				
3				
4				

※このフォーマットを印刷してご使用ください。

# 倍率表

定形倍率表と定形用紙のサイズ一覧表です。

## 定形倍率表

		用紙サイズ (%)									
		A 系					B 系				
		A0	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	
原稿 サイズ (%)	A 系	A0	100.0	70.7	50.0	35.4	25.0	86.6	61.2	43.3	30.6
		A1	141.4	100.0	70.7	50.0	35.4	122.5	86.6	61.2	43.3
		A2	200.0	141.4	100.0	70.7	50.0	173.3	122.5	86.6	61.2
		A3	282.8	200.0	141.4	100.0	70.7	244.9	173.3	122.5	86.6
		A4	400.0	282.8	200.0	141.4	100.0	364.4	244.9	173.3	122.5
	B 系	B1	115.5	81.5	57.7	40.8	28.9	100.0	70.7	50.0	35.4
		B2	163.3	115.5	81.5	57.7	40.8	141.4	100.0	70.7	50.0
		B3	230.9	163.3	115.5	81.5	57.7	200.0	141.4	100.0	70.7
		B4	326.6	230.9	163.3	115.5	81.5	282.8	200.0	141.4	100.0

ATZ094D

4

## 紙加工品仕上がり寸法

	幅 × 長さ (mm)
A0	841 × 1,189
A1	594 × 841
A2	420 × 594
A3	297 × 420
A4	210 × 297
B1	728 × 1,030
B2	515 × 728
B3	364 × 515
B4	257 × 364

ATZ069D

### 補足

- 定形倍率表の値は規準倍率です。

# 索引

## アルファベット索引

Web Image Monitor ..... 165, 166

## あ行

移動 ..... 6  
印刷位置 ..... 130  
印刷位置調整 ..... 6, 130, 169  
印刷順序の入れ替え ..... 55  
印刷の中止 ..... 160  
印刷の保留 ..... 56  
印字 ..... 12  
印字位置  
  ..... 100, 102, 103, 105, 109, 111, 114  
印字開始数字 ..... 115, 116, 118  
印字開始ページ ..... 115, 116, 118  
印字サイズ ..... 102  
印字設定 ..... 23  
上排紙 ..... 30, 31  
上排紙ガイド ..... 27, 28, 31  
上排紙スタッカー ..... 28, 31  
上余白 ..... 96  
内消去 ..... 6, 92, 169  
オートスタート ..... 50  
オートモード変倍 ..... 4, 79  
折って保管しているような原稿 ..... 45  
オプション ..... 19, 20

## か行

回転コピー ..... 69  
回転ソート ..... 3, 132, 169  
拡大コピー ..... 4, 169  
拡大／縮小コピー ..... 73  
拡大率 ..... 73  
拡張データ変換ボード ..... 19  
カセット ..... 19, 20  
画像欠け範囲 ..... 36  
片面2枚→片面1枚 ..... 87  
片面4枚→片面1枚 ..... 87  
片面8枚→片面1枚 ..... 87  
画面 ..... 21  
簡単画面 ..... 22, 145

簡単画面キー ..... 22, 145  
管理者用設定 ..... 23  
機能組み合わせ一覧 ..... 168  
機能別読み取りサイズ一覧 ..... 173  
基本コピー設定 ..... 23  
基本的なコピーのとりかた ..... 47  
基本編集設定 ..... 23  
機密管理ナンバリング ..... 12, 98, 169  
キャリアシート ..... 19, 34, 44  
キャリアシートを使用する原稿 ..... 34  
給紙ユニット1段 ..... 19, 20  
給紙ユニット2段 ..... 19, 20  
切り張り原稿 ..... 64  
組み合わせ濃度調整 ..... 66, 67  
繰り返し ..... 119  
ケイ線消去 ..... 64  
原稿 ..... 34, 37  
原稿上排紙 ..... 27  
原稿ガイド ..... 38  
原稿切り替えレバー ..... 45  
原稿後方排紙 ..... 28  
原稿サイズ ..... 34, 177  
原稿種類選択 ..... 64  
原稿スタッカー ..... 27  
原稿トップキー ..... 39  
原稿テーブル ..... 38  
原稿のセット ..... 38  
原稿のセット方向 ..... 40  
原稿の排出先 ..... 27  
原稿排紙ガイド ..... 28  
原稿搬送の中止 ..... 39  
原稿プレスタッカー ..... 19, 46  
原稿枚数のカウント ..... 50  
原稿枚数のリセット ..... 50  
後方排紙 ..... 32  
後方排紙スタッカー ..... 19, 32  
この本の読みかた ..... 18  
コピー機能 ..... 64, 143  
コピー濃度調整 ..... 66

---

## さ行

---

最大幅読み取り	42
左右反転	123
下排紙	30, 32
下排紙スタッカー	32
下排紙トレイ	32
下排紙補助ガイド	32, 45
下余白	96
指定ページ印刷	162
自動濃度	66
自動用紙選択	68
地肌が濃い原稿	67
地紋	98
写真	64
周辺設定	23
集約	9, 87, 169
終了数字	115, 116, 118
縮小コピー	4, 169
縮小率	73
出力紙の排出先	30
仕様	167
消去	6
使用説明書について	1
使用できない原稿	35
仕様補足	169
初期画面	21, 47, 142, 144
初期画面の登録	142
初期値	142
ジョブ	53
ジョブ一覧	52
ジョブ一覧画面	53
ジョブ内容の確認	54
ジョブの削除	56
ジョブの並び替え	55
ジョブの保留	56
ジョブ履歴の確認	57
白黒反転	10, 121
シンクロカット	70, 96
ズーム	4, 75, 76, 169
透かし	102
スキャナー機能	143
スタンプ	100, 102
スタンプ印字	12, 100, 169
寸法変倍	4, 80
設定確認	49

設定確認キー	49
--------	----

セットできる原稿	34
セット方向	100, 103, 109, 112
線画	64
先頭ページ印刷	162
専用テーブル	19, 20
ソート	3, 132, 169
外消去	6, 94, 169

## た行

---

ダブルコピー	10, 120, 169
試し印刷	161
試しコピー	134
蓄積文書	154, 155
蓄積文書の印刷	158
蓄積文書の検索	156
蓄積文書の消去	164
蓄積文書の詳細	155
蓄積文書のダウンロード	166
蓄積文書の表示	165
定形原稿	34
定形サイズ	60, 71
定形サイズへのコピー	60
定寸カット	71
手差し	61
手差しコピー	58, 60, 61, 169
手差しテーブル	58
テンキー	76, 81
登録控えフォーマット	174
登録フォーマット合成	126
ドキュメントボックス	

.....	136, 143, 148, 165, 166
ドキュメントボックス画面	144
独立変倍 mm	4, 84, 169
独立変倍%	4, 81, 82, 169
トレーシングペーパーへのコピー	63

## な行

---

濃度調整	66, 67
------	--------

## は行

---

ハードディスク	136
排紙方向切り替えレバー	27, 28
排出先	27
倍率表	177

---

パスワードの設定	153
パスワードの変更	153, 154
範囲指定印刷	163
微調変倍	4, 85, 169
日付	109, 111
日付印字	12, 109, 169
日付の書式	109, 111
フィルムへのコピー	63
フォーマット	174
フォーマット原稿	124, 125, 126, 127
フォーマット合成	10, 124, 125, 169
フォーマットの削除	129
フォーマットの登録	127
フォーマットの変更	128
複写原稿	64
部数変更	135, 160
不定形原稿	34, 41
不定形サイズ	41, 42, 61, 62
不定形サイズの登録	62
不定形サイズの呼び出し	62
不定形サイズへのコピー	61
部分コピー	10, 122
フリーカット	72
プリンター機能	143
プレビュー画面	146
プログラム	138, 174
プログラムの消去	140
プログラムの登録	138
プログラムの変更	140
プログラムの呼び出し	141
文書の蓄積	136, 148
文書名での検索	156
文書名の変更	152, 154
ページ印字	12, 112, 114, 115, 116, 118, 169
ページの書式	112
編集	10
変倍	4
変倍率設定	23
補正率	85

---

## ま行

マーク	18
マニュアル一覧表	2
ミラー	10, 123
文字	64
文字・写真	64

## や行

やりたいこと目次	3
ユーザースタンプ	103, 105, 106, 108, 174
ユーザースタンプ印字	12, 103, 169
ユーザースタンプの削除	108
ユーザースタンプの登録	106
ユーザー名での検索	157
ユーザー名の登録	151, 152
ユーザー名の変更	151, 152, 154
用紙サイズ	68, 77, 177
用紙指定変倍	4, 77
用紙選択	69, 169
よく使う機能の登録	138
よく使う機能の呼び出し	141
余白	6, 96, 169
読み取りサイズ	173
予約コピー	52, 169
予約内容の確認	54

## ら行

リピート	10, 119, 169
略称	19
ロール紙	70
ロール紙のカット	70
ロール状の原稿	45

## わ行

枠消去	6, 89, 90, 169
割り込みキー	51
割り込みコピー	51



## 商標

- Adobe Acrobat / Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- ドキュメントボックス、RPCS、RPDL、RP-GL/2、RTIFF は株式会社リコーの商標または登録商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。



- 本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- 本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

### おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品 (ハードウェア、ソフトウェア) および使用説明書 (本書・付属説明書) を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

## ■ 消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

## ■ 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。  
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。

## ■ 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。